

継承と改革

～地域と共に創るにぎわいスポーツ拠点～

横浜市南スポーツセンター 指定管理者 提案書

みなみスポーツ共創パートナーズ

令和3年7月2日



■南スポーツセンター 提案書 目次

- 1 団体の状況(様式8)
 - P1 はじめに
 - P3 施設の管理運営の基本方針
 - P8 基本方針を実施する為の目標及び実施策
 - P10 安定的な経営体力と適正な経営情報開示(経営の透明性)
 - 2 施設の平等・公平な利用の確保(様式9)
 - P22 公共性・公平性に基づいた利用の確保
 - P27 多言語化に関する取組
 - P29 障害者の利用支援に関する取組
 - 3 施設の効用の最大限発揮(様式10)
 - P33 利用者本位のサービス提供・利用者の支援
 - P43 広報・利用促進活動
 - P49 スポーツ教室等の計画
 - P61 自主事業の計画
 - P68 業務履行体制
 - 4 本市の重要施策を踏まえた取組(様式11)
 - P76 個人情報保護・情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業優先発注など、本市の重要施策を踏まえた取組
 - 5 管理運営経費(様式12)
 - P84 利用料金等収入増への取組
 - P89 施設の課題等に応じた費用配分
 - P94 適正な委託・調達・雇用
 - P95 指定管理料の額
 - 6 施設管理(様式13)
 - P96 メンテナンス及び環境保持・環境配慮
 - P102 修繕等への取組
 - 7 安全管理(様式14)
 - P103 平常時の体制
 - P109 緊急時の体制
 - 8 地域との協力(様式15)
 - P113 地域支援
 - P117 地域連携・地域貢献
 - 9 モニタリング(様式16)
 - P125 自己評価・第三者評価
 - 10 新型コロナウイルス対策感染症等の対策に関する取組(様式17)
 - P129 新型コロナウイルス対策感染症等への対策
 - 11 その他(様式18)
 - P134 関心表明書
- P135 収支計画について(様式19)
- P136 収支計画書(様式20～24)



(様式 8)

共同事業体名 みなみスポーツ共創パートナーズ
施設名 横浜市南スポーツセンター 提 案 書

団体の状況

はじめに

【変化の時代に】

今般、全世界が直面した新型コロナウイルスの拡大により、新たな生活様式が提唱される等、今日を生きる我々は**大きな変化の時代に直面**しています。



スポーツ施設においても、スポーツ庁や業界団体により、徹底した衛生対策を施した新型コロナウイルス対応ガイドラインが定められ、これまでの運営の在り方が大きく見直されています。

また、コロナに限らず、災害の頻発・AIの急速な進化等、社会の変化を予測しづらい現代において、これまでの価値観に固執することなく、その**変化に対応できることが何より重要**です。

変化に対応するにあたり、保有する事例の数や種類は、対応の引き出しの数、対応スピード、対応の正確性に大きな差を生み出します。

つまり、この変化の時代には、**保有する事例自体が、大きな強み**になることは明らかです。

【南区を取り巻く環境の変化】

南区人口は、約 50 年の間、19 万人台で安定した推移となっていますが、世帯数は右肩下がり、老年人口の増加や単身世帯の転入、それらに伴う少子化等、人口構成は大きく変化しています。



また、南区を代表する 4 大まつりも、新型コロナウイルス対策により中止となったことで、南区の特徴である地域の強固なつながりや活気も少なくなってきました。

一方で、外国人人口が年々増加していることや、**東京 2020 オリンピック・パラリンピック**を契機としたスポーツ・健康の機運醸成、そして 2023 年度の区制 80 周年等、南区を盛り上げる要因も多くあります。

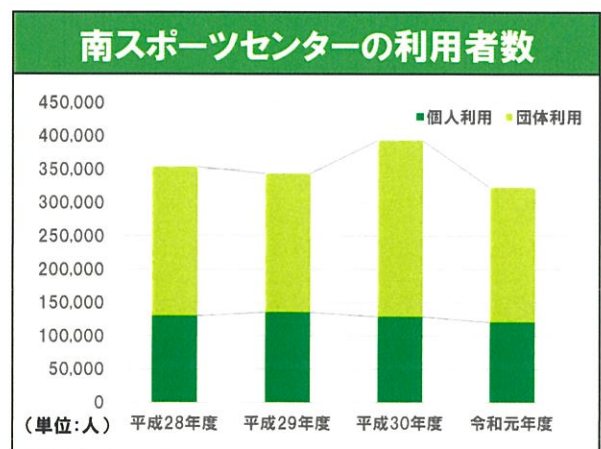
様々な環境の変化を理解し、この時代に即した取組みを行うことが必要不可欠です。

【横浜市南スポーツセンターに必要な変化】

このような変化の時代に、横浜市南スポーツセンター（以下、「本施設」という。）は、20 年以上、同一事業者により管理運営がなされている弊害が顕在化していることが見て取れます。

サービスのマンネリ化や管理者目線の施設運営が見受けられ、直近 4 年間の利用者数は事業者の関与度の少ない団体利用者の増減はあるものの、右図の通りの横這い傾向です。

南区のスポーツ推進においても、積み上げてきた財産は継承しつつも、オリパラというまたとないスポーツ推進の機会を、現在の延長線上で過ごすのではなく、**新たな変化・改革が必要な時期**に差し掛かっているのではないのでしょうか。



(様式 8)

共同事業体名 みなみスポーツ共創パートナーズ
施設名 横浜市南スポーツセンター 提 案 書

団体の状況

【南区に変化をもたらす、日本を代表する企業によるチーム組成】

今般、本施設の改革のため、日本を代表する企業グループに所属している、業界のリーディングカンパニー2社が共同事業体を結成しました。

代表企業は、**スポーツクラブ業界のリーディングカンパニー**として、全国 372 施設の管理運営を通じて、長年、日本のスポーツ振興に貢献してきました。

横浜市においては、直営スポーツクラブを 7 施設運営しているほか、「**青葉スポーツセンター**」、「**横浜国際プール**」の指定管理者として市民の健康増進に貢献しています。

また、日本有数の IT 企業である親会社は、コロナ禍においても過去最高益をあげており、安定した経営体力を有しています。

構成企業は、世界展開する流通グループのファシリティ会社であり、ビルメンテナンス業界のリーディングカンパニーです。

横浜市内に 2 支店を構え、**市内で 24 施設以上の施設管理**を行う等、市内企業活動や市民生活を支えています。

私たち 2 社が、『**みなみスポーツ共創パートナーズ**』を組成し、全国で培った豊富なノウハウを南区に還元し、本施設そして南区のスポーツ推進に変化をもたらすため、本施設の指定管理者に応募いたします。

新たな未来を創造するパートナーとして、区と共に変化の時代を歩んでいければ幸いです。

【パートナーとの共創・協働による管理運営】

私たち 2 社と共に、南区の未来、そして本施設の設置目的の実現に向けて、様々な企業・団体との協働の基、事業を行います。

横浜市を代表するプロスポーツチームである**横浜ビー・コルセアーズ・横浜 DeNA ベイスターズ・横浜 F マリノス**。

本施設周辺の活性化の鍵である**弘明寺商店街**や、区内総合型地域スポーツクラブである**弘明寺クラブ**、地域に根差した情報を発信する**榊タウンニュース社**。

東京 2020 オリンピックのワールドワイドパートナーである日本コカ・コーラ株式会社や、公共スポーツ施設としての魅力を高め、ポテンシャルを最大限に発揮する株式会社セノー、株式会社ジェスコ、株式会社 RIGHTS.等のグローバルパートナー。

区・市内の団体及び私たちの全国のネットワークによるパートナーとの共創・協働により、本施設の管理運営に取組み、**圧倒的な総合力**を発揮し、施設の設置目的達成に貢献します。

みなみスポーツ共創パートナーズ

代表企業（運営業務）

- ・スポーツクラブ業界売上No.1
- ・全国372施設を運営
- ・約3,200名もの公共事業従事者

構成企業（維持管理業務）

- ・国内ビルメンテナンス業界No.1
- ・横浜市内に2支店配置
- ・安定した財務基盤・人的基盤

ローカルパートナー

横浜市スポーツ協会 (スポーツ振興事業連携)	南区スポーツ協会 (事業・大会連携)	南区各競技連盟 (大会・教室連携)	横浜ビー・コルセアーズ (イベント・教室)	横浜DeNAベイスターズ (イベント・教室)
横浜Fマリノス (イベント・教室)	タウンニュース社 (広報)	弘明寺商店街 (支援・事業連携)	弘明寺くらぶ (事業連携)	区民利用施設 (地域コミュニティ事業)

グローバルパートナー

セノー Senoh (トレーニング機器設置)	RIGHTS. (トップアスリート派遣協力)	コカ・コーラ (オリハラ自動販売機設置)	タイムズ Times (駐車場サービス)	レスミルズジャパン (スポーツ教室)
---------------------------	---------------------------	-------------------------	-------------------------	-----------------------

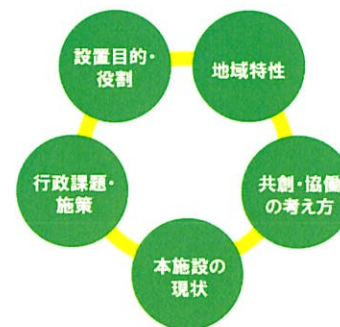
団体の状況

(1) 施設の管理運営の基本方針

本事業計画の策定にあたり、**5つの視点**から、区の将来に貢献するためにはどうしたら良いのか何度も何度も検討を重ねました。

設置目的・地域特性・行政課題等の理解はもちろんのこと、区民サービスの最大化を行うために、**利用者の目線**に立ち、施設利用や視察を積み重ね、現状の理解に努めました。

これらの活動に基づく基本方針で管理運営を行い、設置目的や、南区の基本方針「**区民の皆さまとの協働のもとで「あったかい」南区をつくりま**す」に貢献します。



基本方針策定にあたり

■ 設置目的・役割の理解

【設置目的の確認】

スポーツセンターの設置目的は、「**市民のスポーツ及びレクリエーション等の振興を図り、市民の心身の健全な発達に寄与する**」ことです。

スポーツ及びレクリエーション等の振興のために、市民の自発的な活動を支援しつつ、これまで足を運ぶことの無かった方々にも輪を広げます。

現在、積み上げられた**レガシーを継承**しつつ、私たちの**全国におけるノウハウ**を結集し、市民の心身の健全な発達に寄与すべく、さらなる進化を図ります。

【区内スポーツ施設の中での役割の理解】

南区には、本施設以外にも、六ツ川スポーツ会館、大岡地区センターを除く3つの地区センターに体育室、清水ヶ丘公園内の体育館と、市内18区で2番目に小さい区ながら、多くのスポーツ施設（体育室）を有しているという特徴があります。

その中で本施設は、スポーツ教室や大会開催、トレーニング指導等、**区のスポーツの中核拠点**の役割を担うと認識しています。また、他施設との共存共栄を図るべく、日常的な利用に当たっては、特に**区南西部エリアの利用を意識した**運営が必要と考えます。

また、区内全域のスポーツ推進のために、NPO 法人みなみ区民利用施設協会や㈱アクティオ、横浜緑地・協栄パートナーズ等の体育室を有する施設の指定管理者と連携・協働します。

■ 地域特性の理解

【地域特性の理解】

南区は、横浜開港以来、住宅地として栄えてきており、下町情緒あふれる商店街や大岡川沿いに並ぶ桜等の資源を活かし、**温かみや賑い**を創出しています。

近隣の弘明寺商店街は、独自ポイントカード運用等、地域に根差した取組みをされています。

本施設の運営にあたっては、地域に根付いた団体と連携し、人と人をつなぐ教室やイベントを実施することで、**区民のコミュニティを醸成**することが大切と考えています。

団体の状況

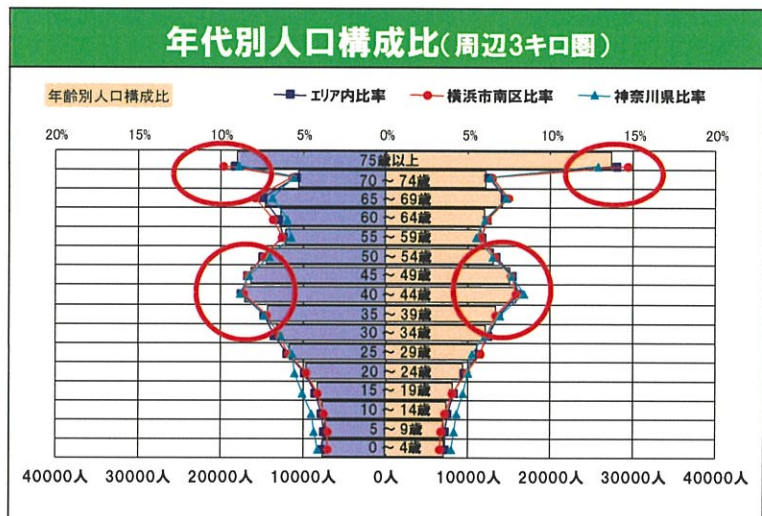
【施設周辺のマーケット分析】

地域特性を踏まえた事業を行うため、本施設周辺のマーケット分析を行いました。

本施設周辺の年代別人口構成比は、南区全体比率と大きな相違はなく、高齢者と団塊ジュニア層が多くなっています。

また、**外国人人口が 10,520 名**（令和 3 年 5 月末）と、中区・鶴見区に次いで多く、中国・韓国・フィリピン国籍の方が各 1,000 名を超えています。

この特徴的なマーケットに対して、そのニーズに対応していくことは指定管理者の責務です。



■ 行政課題及び施策の理解

【行政課題・施策の理解】

区の基本方針は、**「区民の皆さまとの協働のもとで「あったかい」南区をつくりたい」**であり、区制運営方針では 4 つの重点施策を掲げられています。

また、横浜市スポーツ推進計画や第 2 期健康横浜 21 等の、横浜市の施策を常に意識した運営に取り組む必要があると考えています。

指定管理者としての公民連携を超え、横浜市のパートナーとして、多様化する市民ニーズや地域課題の解決を目指す**「共創」に積極的に取り組み**ます。

各種施策に対する当グループの計画		
計画名	目標・施策	当グループの計画
区制方針	減災	・地域と一体になった防災訓練等の実施 ・防災イベントの開催
	賑わい	・トップアスリートイベント等、各種イベントの開催
	健やか	・あらゆる世代が参加できる幅広い教室
	こども	・マタニティチケット ・託児付教室
横浜市スポーツ推進計画	子どもの体力向上方策の推進	・豊富な子ども向け教室
	地域スポーツの振興	・スポーツ協会や各競技団体、弘明寺くらぶとの連携
	高齢者・障がい者スポーツの推進	・ユニバーサルデザインでの案内(館内サイン・多言語対応) ・インクルーシブスポーツの教室やイベント
第2期健康横浜21	高齢者・障がい者スポーツの推進	・横浜ビー・コルセアーズ、横浜DeNAベイスターズ、横浜Fマリノス等による教室やイベント
	健康寿命を延ばす	・トレーニング機器の全台更新 ・低体力者向け油圧式トレーニング機器設置

■ 共創や協働の考え方の理解

【共創・協働の考え方の理解】

横浜市では、多くの人と双方向の対話を通じて目標を共有し、それぞれの持つ知識やノウハウを最大限活用して新たな価値を共に創るといふ、「共創」の取組みが行われています。

指定管理者そのものが共創の取組みの最たる例であり、仕様を遵守するだけでなく、私たちの持てる知識やノウハウを最大限に発揮していきます。

また、私たちだけでなく、地域団体との協働を通じ、**本施設の新たな価値を共に創ります。**



(様式 8)

共同事業体名 みなみスポーツ共創パートナーズ
施設名 横浜市南スポーツセンター 提案書

団体の状況

【地域団体との対話】

私たちは、南区に根差した事業を展開するため、横浜ビー・コルセアーズ等の**横浜市内のプロスポーツ**



市内プロスポーツチーム



弘明寺くらぶ



タウンニュース社

ツチームや、**弘明寺くらぶ**等の区内活動団体、区内で地域情報を発信する**タウンニュース社**等、様々な角度から地域団体と面談を実施しました。

私たちは、全国でのノウハウを活かすだけでなく、横浜市・南区に根差した地域団体と共創・協働して、本施設の設置目的の達成に向けて取組みます。

【現指定管理者との共創・協働】

仮に指定管理者が変更となる場合も、現指定管理者である横浜市スポーツ協会は、横浜市・南区のスポーツ振興には欠かせない団体であり、積極的な協働を図る関係と認識しています。

代表企業は、過去に何度も、外郭法人からの事業継承を経験し、その全てにおいて、当該法人との折り合いをつけ、中には、川崎市とどろきアリーナのように、現在では共同事業体として運営をしているケースもあります。

私たちは、過去の他自治体の事例と同様に、**横浜市スポーツ協会とパートナーとして共創・協働**していくことをお約束します。

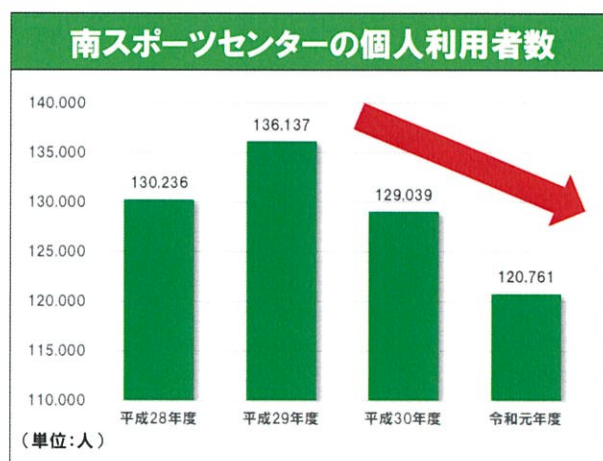
■ 現状の理解

【利用者数実績の確認】

利用者数のうち、団体利用は利用団体自体の人数に左右されるため、指定管理者の実力は個人利用者数で推し量るものです。

令和元年度は新型コロナウイルスに伴う約1ヶ月の休館等の影響があるものの、本施設の個人利用者数は、**右肩下がり**となっています。

地域ニーズへの対応、マンネリ化したサービス等、改善の余地があることが分かります。



【各種関連資料の入手】

本公募にあたり、区のHPに公開されている、現指定管理者の前回公募時の事業計画書、年度報告書、その他様々な資料を隅々まで確認しました。

年度報告書からは、収支の実績を確認し、どのような費用が上昇・下降傾向にあるかを確認しました。また、本施設で実施されている事業や、活動されている団体を把握しました。

現指定期間の**生きた情報を丁寧に確認**することで、本事業の詳細把握を行いました。

団体の状況

【施設の視察・利用】

私たちは、客観的かつ複数の目線で施設の実態を確認するため、何人もの担当者が時間帯・曜日を変え、**延べ 10 回以上**施設に足を運びました。

施設の利用、施設職員の方からのヒアリング、図面の確認等、代表企業の独自サービスを発揮できる余地や、老朽化が進む施設に対し、構成企業の持つノウハウを最大限に発揮できる可能性を確信しました。

経験を活かした運営者の目線はもちろん、自分自身が施設を訪れ、**利用者の目線**を持ち、何が良くなれば利用者に喜ばれるのかを考え抜きました。

視察で得た情報・感じた事 (一部抜粋)	
①	課題 トレーニング室に、荷物置き場がない 対応策 → 荷物ラックを設置
②	課題 トレーニング室スタッフが業務中にトレーニング・飲食をしていた 対応策 → 従業員への研修を徹底して実施
③	課題 施設を利用を通しての意見を伝えなかったが、意見箱等がなかった 対応策 → ご意見箱を設置し、お客様からの声を反映させた運営を実施
④	課題 トレーニング室のマシンがかなり古い 対応策 → マシンの全入れ替えを実施し、利用環境の向上を図る
⑤	課題 トレーニング室のマシンの配置が複雑で、使いづらい 対応策 → 利用者目線で使いやすいマシンレイアウトに変更
⑥	課題 外国人利用者のマナーが気になった 対応策 → 館内の案内や掲示物を外国語でも掲載
⑦	課題 施設のリーフレットが設置されていない 対応策 → リーフレットを作成し、認知度の向上を図る

【口コミ等の利用者情報の確認】

私たちは、SNS、Google クチコミ、スポーツ施設ポータルサイト等を通じて、本施設の利用者の声を確認しました。

あくまでインターネット上でのレビューのため、全てを映し出すものではありませんが、どのような点を評価され、またどのような点に不満を持たれているかという、**利用者目線の評価を確認**することができました。

改善が可能な点は、本事業計画に反映し、利用者満足度を高めていきます。



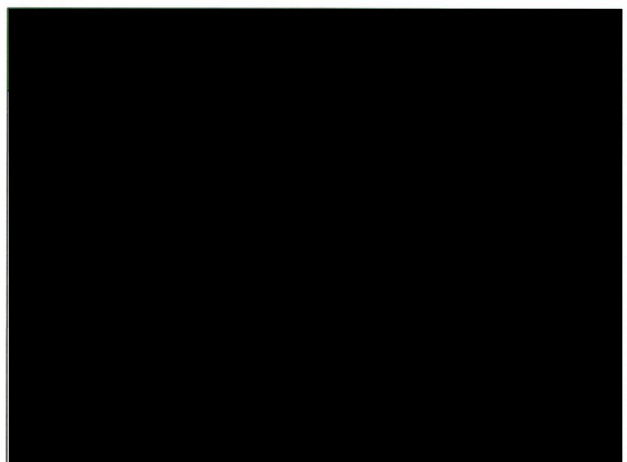
Google クチコミの確認

【他区スポーツセンターとの比較(財政貢献)】

公共施設の管理運営の効率性を表す指標として、利用者一人当たりの管理運営経費(指定管理料)が用いられます。

この指標をコロナ影響のない平成 30 年度実績で他区スポーツセンターと比較すると、代表企業の運営する青葉スポーツセンターの**2 倍のコスト**になっています。

単純比較はできませんが、**費用対効果を高める余地**があると考えています。



(様式 8)

共同事業体名 みなみスポーツ共創パートナーズ
施設名 横浜市南スポーツセンター 提 案 書

団体の状況

基本方針

【導き出した基本方針】

私たち“みなみスポーツ共創パートナーズ”は、変化の時代に対応し、停滞する現状を打破し、地域と共に、本施設の新たなスタートを切るという強い思いの基、本施設の基本方針・運営方針を、以下の通り導き出しました。

区のため、区民のため、施設のために、これまでの私たちが蓄えてきたノウハウを基に、地域と共創・協働することで、**あったかい南区、あったかい施設**をつくります。





【基本方針】

継承と改革

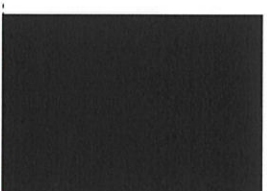


～地域と共に創るにぎわいスポーツ拠点～

【運営方針】

1. 現事業の継承とサービス向上改革

			
現在の教室継承	職員・講師の継承	接客レベルの向上	オンラインサービス

2. 全国でのノウハウを活かした事業展開

現状 ～21:00 時間延長 提案 ～23:00			
開館時間延長	新たな教室	館内サイン	多言語対応

3. にぎわいを創るあったかい地域連携

			
弘明寺くらぶ 弘明寺商店街連携	トップスポーツ チームによる教室	タウンニュースに よる広報	地域還元イベント

4. 安心・安全の施設管理

			
トレーニング機器 全台更新	ウォシュレット化	万全のコロナ対策	防災イベント

団体の状況

(2) 基本方針を実施する為の目標及び実施策

基本方針を踏まえた当該施設分野等の目標及び実施策

【利用者人数目標】

私たちは、本施設の設置目的の達成に向けて、基本方針に基づく各種取組みを通じて、右図の目標を達成します。

また、with コロナにおいて、量的な増加目標だけでなく、**定性的な部分にも着目**します。

利用者数は単純な増加だけでなく、これまで足を運んだことの無かった方を一人でも多く利用頂けるよう努めます。

【目標】

- ・利用者人数 **38万人**
(平成30年度実績 338,368人)
- ・利用者満足度 **90%**
- ・パラスポーツ教室参加者数 **年間100人**



【方針1:現事業の継承とサービス向上改革】

まずは、現在の利用者の継続利用を促すため、現在行われている**事業は原則継承**します。

それに加えて、利用者サービス向上施策に取組み、利用者満足度の向上に取組みます。

現事業の継承とサービス向上改革

取組み	目標
現在のスポーツ教室継承	90%以上
接客レベルの向上	研修年4回
キャッシュレス対応券売機	初年度設置

【方針2:全国でのノウハウを活かした事業展開】

代表企業・構成企業の全国でのノウハウを活かした管理運営を行います。

5年間の時代の変化の中で、**利用者ニーズを的確に捉えた事業**で、区民のスポーツ振興に取組みます。

全国でのノウハウを活かした事業展開

取組み	目標
新たな教室実施	10教室
館内サイン設置	初年度実施
多言語対応ホームページ	初年度設置

【方針3:にぎわいを作るあったかい地域連携】

地域の特性や本施設の特性を踏まえて、スポーツ振興だけでなく、地域の拠点となることが大切と考えています。

私たちは、指定管理者だけでなく、地域団体やタウンニュース等の協働を通じて、地域の方が集まる様々な機会を作り、**あったかい地域連携**を行います。

にぎわいを創るあったかい地域連携

取組み	目標
地域連携イベント	年4回
トップスポーツチーム・アスリートによる教室・イベント	年6回以上
タウンニュースによる広報	初年度から開始

【方針4:安心・安全の施設管理】

老朽化が進行する本施設の状況を鑑み、安心・安全な施設管理は、取り組むべき大きな課題です。

業界のリーディングカンパニーである構成企業の施設管理により、**安心して利用できる環境**を創出します。

安心・安全の施設管理

取組み	目標
トレーニング機器の全台更新	初年度実施
指定管理者責による事故	0件
ユニバーサル防災訓練	年1回

団体の状況

【目標実現に向けた計画(初年度)】

前述の目標達成に向けては、初年度の動きが最重要です。

私たちは、現時点で、**既に本施設の調査や関連団体との下準備**を進めており、選定を頂いた場合、速やかに実現に向けての準備を開始することが可能です。

特に、トレーニング機器等のハード面の整備においては、4月1・2日を臨時休館日とし、一気に本施設に導入する具体的な計画を立てており、**初年度で本事業計画のほぼ全ての提案事項を着手**する計画です。

準備期間・初年度スケジュールイメージ						
	現時点	準備期間	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
引継ぎ	現状把握 (視察・利用・ 報告書等)	引継ぎ	実施	→	→	→
提案(ハード)	内容・金額 確定済	発注	設置 ※4/1,2	→	→	→
提案(ソフト)	内容確定済	準備 研修	無料開放	アスリート イベント	時間延長	—
地域連携	打診・協力 同意済	詳細調整	タウン ニュース SNS	地域との 取組協議	地域との 取組実行	地域還元 イベント

【目標実現に向けた計画(5か年)】

目標達成に向けて、5か年でPDCAサイクルを回しながら、**計画的・発展的に本事業計画を推進**します。

初年度は、現指定管理者からの継承とハードの設置がメイン業務となりますが、初年度終了時点で、代表企業の担当役員・企画開発

指定期間スケジュールイメージ					
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
位置づけ	継承期	改善期	発展期	→	見直し期
モニタリング	本社部門 (毎月)	→	→	→	→
		初年度 振り返り	第三者 モニタリング		
提案事項の 実行率	80%	85%	90%	95%	100%
				次期 プランニング	→

部門・運営部門・施設の4者で**事業の振り返り**を実施し、当初計画との差異は何か、想定していなかった課題が何かを確認し、2年目以降に向けた計画の見直しを行います。

3年目には、**第三者機関によるモニタリング**で、事業の客観的評価を行います。

事業後半に入る4年目には、年度当初に、**残る提案事項の計画化**を行い、後半からは次期指定期間に向けたプランニングを開始します。

もちろん、日常的に課題確認・改善のサイクルを回すほか、提案事項の履行チェック表を運用することで、本事業計画を完遂することをお約束します。

団体の状況

(3) 安定的な経営体力と適正な経営情報開示(経営の透明性)

業務に対する適切な人員体制(研修制度、公共サービス従事経験者等)

【代表企業の人材育成方針】

代表企業のグループでは、**社員の育成が会社の成長**には必要不可欠と考えており、積極的に人材の育成に取り組んでいます。

市場環境やトレンドの変化が非常に激しい中でも、コンプライアンスや企業理念といった社員の行動の基盤となる考え方は、今後も大切にしていきたい要素と考えています。

健康サービス事業を担う代表企業では、「トータル健康パートナー」を企業理念に掲げ、お客様の**健康づくりをサポートできる人材**の育成に日々注力しています。

施設に合った人材育成

【構成企業の人材育成方針】

構成企業は、**サービスの原動力となるのは「人」**という考えの基、ホスピタリティ精神とマネジメント能力を兼ね備えたプロフェッショナル人材の育成に力を入れています。

専門知識・技術に加え、お客さまへ貢献したいという意欲を兼ね備えた人材へと成長してもらうために、下図の通り 3 つの方針を大切に教育しています

構成企業の人材育成方針

①相手の立場で物事を考えられること

サービス業の構成企業AIにとって相手の立場で物事を考えることは、お客さまの思いを汲み取ることであり、長期的にお客さまと信頼関係を築くことに繋がります。そのためには、常に“おもてなしの心”を持ち、お客さま目線で仕事をしていくことが大切になると考えています。

②現場で実務経験を十分に積むこと

最適なファシリティマネジメントを実行するためには、「技術力」と「人間力」を兼ね備えた専門家となる必要があります。そのため、現場での実務を通じてでしか得られない経験を大切にしています。

③自己成長を実現すること

仕事を通じて会社の成長に貢献することだけでなく、社員一人ひとりが成長し、その成長の喜びを実感することを大切にしています。会社として、様々な研修や資格取得に向けたサポート体制を整えていますが、何より自分自身が向上心を持って働くことが必要不可欠と考えています。

【体系化された研修体制】

本施設の特徴を最大限に発揮し、施設満足度向上に繋げるべく、計画的な研修を実施し、業務水準の維持・向上に取り組めます。

私たちは、豊富な管理実績から、公共施設従事者向けの研修体系を既に確立しており、本施設に適した**万全な教育体系を構築**し、定期的なフォローアップ研修により、継続的なサービス向上に努めます。

本施設の管理運営に即した体系的な研修

本施設独自	運動指導	接客接遇・安全等	維持管理等
利用者定常研修	フィットネス オペレーション研修	個人情報保護研修	品質管理研修
類似施設研修	プール オペレーション研修	スポーツ救急手当研修	環境管理研修
公共施設従事者研修	集団プログラム研修	接客接遇研修	コンプライアンス研修
金銭管理・ 会計システム研修	トレーニング機器 メンテナンス研修	オンデマンド研修	人権教育研修
人権研修	インストラクター ライセンス研修	施設責任者研修	マナー研修
情報公開研修			
災害時対応研修			
障がい者対応研修			

※詳細は、様式 10「業務履行体制」参照)

団体の状況

【約 3,200名が公共施設運営に携わる盤石な人的基盤】 Point

代表企業は、スポーツクラブ及び公共スポーツ施設運営のリーディングカンパニーとして、「人・物・金・ノウハウ」等の潤沢な経営資源を活かし、健康サービス事業に貢献しています。職員研修、講師派遣、緊急時対応等、代表企業のネットワークを最大限に活用することで、他社に真似のできないサービス提供が可能です。

公共施設運営に携わる人員が、全国に約 3,200 名在籍しており、本事業計画を絵にかいた餅に終わらせない、圧倒的な実現力を有しており、本施設の管理運営を確実にやり遂げます。

【代表企業・構成企業が保有する有資格者】

運営を担当する代表企業は、健康運動指導士等の**スポーツ施設の運営に必要な資格と経験を有する職員**を全国の運営施設に配置しています。また、全職員が救命救急及び AED 操作講習の受講を修了しています。

本施設の業務に関わる当グループの主な保有資格	
構成員	資格名
代表企業	<ul style="list-style-type: none"> 健康運動指導士 健康運動実践指導者 スポーツプログラマー 障害者スポーツ指導員 ユニバーサルマナー検定 救急法救助員 安全衛生推進者 衛生管理者 防火管理者 危険物取扱者(乙種第4類) 他
構成企業	<ul style="list-style-type: none"> 1級・2級ボイラー技士 建築物環境衛生管理技術者 建築設備診断技術者 第1種・第2種電気工事士 ビルクリーニング技能士 自衛消防技術試験合格者 エネルギー管理士 1級・2級建築士 等多数

維持管理を担当する構成企業

は、建物・設備管理はもちろんのこと、安全や衛生に関する本施設の業務に必要な資格と経験を有する職員を各施設に配置し、利用者サービスの向上に努めています。

維持管理や清掃業務等に関して極めて有効な**能力・資格を有する職員**を保有しています。

【全国の施設責任者による事例共有】 Point

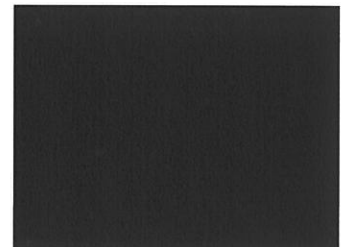
代表企業の最大の強みは、全国 372 施設の運営を行い、成功事例・失敗事例を蓄積していることです。

代表企業は、社内ネットワークを通じて、タイムリーに全施設の情報が共有できる仕組みを構築しているほか、定期的に施設責任者が集まり、事例共有する会議を開催しています。全国に広がる情報を共有し合い、各施設に合わせた**幅広い事例を活用**しています。

【南区民の積極的な雇用】

代表企業の運営施設では、地域に密着した運営を行うために、多くの地元在住の職員で構成しており、代表企業が指定管理者として運営している青葉スポーツセンターでも**9 割以上の職員を地元雇用**しており、地域の雇用創出に大きく貢献しています。

本施設の管理運営でも、**総勢 50 名程度の地元雇用**を計画しており、地元の人的資源を活かし、地域に密着したサービスを提供します。



地元人材の雇用

(様式 8)

共同事業体名 みなみスポーツ共創パートナーズ
施設名 横浜市南スポーツセンター 提案書

団体の状況

経営体制、財務状況の健全性

【企業グループの幅広い事業ポートフォリオ】 Point

新型コロナウイルスの影響による長期的な経済悪化が続く中、指定管理者には、環境の変化に対応できる経営基盤が不可欠です。

2社共に、東証一部上場銘柄の

うち、代表的な銘柄とされる日経 225 に選定される、**日本を代表する企業グループ**であり、**幅広い事業ポートフォリオを構築**し、経済状況に合わせて効率的な事業を推進しています。

代表企業グループ		構成企業グループ		
デジタルエンタテインメント	アミューズメント	総合スーパー	スーパーマーケット	総合金融
ゲーミング&システム	スポーツ	ヘルス&ウエルネス	ディベロッパー	サービス・専門店

■ 代表企業

【代表企業グループの決算状況】

代表企業グループを取り巻くエンタテインメント市場は、モバイル端末や家庭用ゲーム機器等は高性能化、通信インフラ環境の発達に伴い、コンテンツ多様化が進んでいます。

ゲーミングビジネスでは、世界各地で新規カジノ施設やカジノを含む IR (統合型リゾート) 施設の開業や開発が進み、ゲーミング市場はさらなる成長を続けています。

このような中、今般の新型コロナウイルス禍での巣ごもり消費により、大幅な増益となり、**令和 3 年 3 月期決算は過去最高益**となりました。

安定した代表企業グループの財政基盤	
資本金	474億円
売上高(令和3年3月期)	2,727億円
営業利益(令和3年3月期)	366億円
営業キャッシュフロー(令和3年3月期)	698億円
保有現金及び現金同等物(令和3年3月末)	2,024億円
日本格付け研究による格付け	A/安定的
日経平均株価(日経 225)構成銘柄に選定	
ニューヨーク証券取引所・ロンドン証券取引所に上場	

【健康サービス事業 NO.1】

代表企業は、昭和 48 年の創業以来、スポーツ施設の管理運営を通して、健康に関わる様々なサービスを提供し、リーディングカンパニーとして業界を牽引しています。

市内の**横浜国際プール**や**青葉スポーツセンター**をはじめ、全国 372 施設で管理運営を実施しています。

この実績こそが、全国での信頼の証であり、**南区のパートナーとして相応しい実績**を有していると自負しています。

代表企業の事業概要		
施設経営	施設開発	健康・運動指導
		
スポーツクラブ施設や、フランチャイズ及び受託施設の運営	スポーツクラブ施設、フランチャイズ、受託施設等の施設開発	生活習慣病予防プログラム、高齢者向けプログラム、地域自治体と連携しからの運動プログラムの提供
プログラム開発・ライセンス事業	法人会員・法人向け健康指導サービス	イベント企画・運営
		
フィットネスプログラムの開発・運営と、バイオメトリクスのライセンス販売	企業・団体・健康保険組合様へ法人会員制度や、体力測定や運動指導プログラムを提供	ホノルルマラソンツアー、お子様を対象としたキャンプや野外活動等

【代表企業の決算状況】

代表企業の売上高は、**スポーツクラブ業界第 1 位**であり、新型コロナ禍で休館を余儀なくされた影響で、令和 3 年 3 月期は売上 364 億円となりましたが、コロナ前の平成 31 年 3 月期までは**9 期連続の営業黒字**と持続的成長を続けていました。

本事業の規模約 15 千万円に対し**約 243 倍**の売上高であり、本事業を安定的して継続します。

(様式 8)

共同事業体名 みなみスポーツ共創パートナーズ
施設名 横浜市南スポーツセンター 提 案 書

団体の状況

■ 構成企業

【圧倒的な経営基盤・ビルメンテナンス業界No.1】

構成企業は、50年近くに亘って、大型商業施設をはじめとした様々な施設で、お客さまにファシリティ（施設とその周辺環境）の「安全・安心・快適」を提供してきました。

施設管理だけでなく、資材の購買代行や自動販売機の管理等、事業範囲を拡充すると共に、その展開エリアを中国やASEAN各国へと**グローバルに拡大**しています。

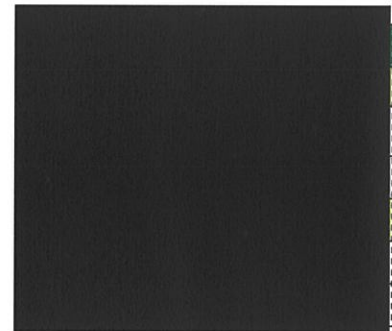
また、次代を見据えた新たな事業モデル構築に取り組んでおり、提供サービスの業務領域を従来のオペレーション領域からマネジメント領域へと拡大し、ファシリティに関連するアウトソーシングニーズを統合的に管理運営するサービス「**IFM(インテグレートド・ファシリティマネジメント)**」を展開しています。顧客の戦略的パートナーとして最適なサービスの提供を図り、日本発グローバルレベルのIFM企業を目指していきます。

ファシリティーマネジメント分野において、**世界で初めての国際規格「ISO41001」を国内企業で初取得**する等、業界のトップランナーであり、リーディングカンパニーです。

【構成企業の決算状況】

構成企業は、約300の企業からなる大手流通グループに属しており、基盤を十分に活用し、グループ外の施設にもそのリソースを生かしたサービス提供をしています。

令和3年2月期の決算は、右図の通り、売上高は**国内ビルメンテナンス業界 No.1**であり、**安定した利益を創出**しています。



【構成企業の今後の成長性】

ライフサイクルマネジメントの観点から、建物の維持・補修費用の低減と長寿化が重要視されていることから、構成企業の活躍の場は、ますます広がりを見せています。

また、中国をはじめとした**アジア市場を中長期的な重点エリア**と据え、成長ポテンシャルの高い同エリアに経営資源を積極的に投下しています。FM（ファシリティマネジメント）の市場規模は国内が約6.7兆円であるのに対し、中国・アセアンでは約24兆円（いずれも当社試算）となり、現在も拡大している状況の中においては、アジア市場の展開が今後もますます大きくなるものと考えています。

経営の情報開示

【適正な経営の情報開示(透明性)】

代表企業は、「文書管理規程」、「情報管理規程」や、「情報開示申請」「人事情報開示申請」（手順）等の社内基準を定めています。

構成企業は、「文書・情報管理基本規程」、「機密情報開示許可申請」（手順）等の社内基準を定めています。

本施設においても、これらの規程に則り、情報公開の開示請求があった際は、区と協議の上、検討をしております。

(様式 8)

共同事業体名 みなみスポーツ共創パートナーズ
施設名 横浜市南スポーツセンター 提案書

団体の状況

【経営の情報開示】

代表企業・構成企業共に、東証一部上場企業（グループ）として、株主に対する情報開示義務があり、ホームページで団体の活動状況、事業内容、決算情報等を積極的に公開しています。

2社ともにグループ会社は厳格な審査基準をクリアし、厳しいチェックが行われる**日経 225 銘柄**に選定されており、適切な情報開示をしています。



就業体制、福利厚生、労働法規遵守体制

【労働関連法規の遵守】

私たちは、各業務の実施に必要な労働力を提供するため、**労働三法**（労働基準法・労働組合法・労働関係調整法）の遵守は言うまでもなく、その他労働関連法規を漏れなく遵守することを徹底します。

また、新たに施行、改正される関連法令も速やかに対応します。

労働関連法規の遵守

労働基準法	労働組合法
労働関係調整法	労働安全衛生法
パートタイム労働法	労働契約法
雇用保険法	育児休業・介護休業等労働者福祉に関する法律
パワハラ防止法 (2020年6月施行)	健康増進法(職場の受動喫煙防止) (2020年4月施行)
働き方改革関連法 (2019年4月施行)	

【労働関連規則の整備】

平成 31 年 4 月から働き方改革関連法が施行されましたが、労働力を提供し、企業に利益をもたらす源泉である労働者に対して、快適な労働環境を提供することが企業の責務です。

代表企業構成企業ともに、職員の労働環境に関し、**労働関連法規の遵守**はもちろん、適切な勤務体制や勤怠管理、育児・介護休暇制度、福利厚生制度の整備を行っており、職員が働きやすい環境としています。

代表企業の規則・規定				
就業規則	賃金・退職金規則	人事管理規定		
社員就業規則	社員給与規定	旅費規程	特別報奨金規定	従業員持株会規約
嘱託就業規則	嘱託年俸規定	育児休職・育児勤務規定	転勤者待遇規定	衛生委員会規定
契約従業員就業規則	契約従業員給与規定	介護休職・介護勤務規定	寮規定	ハラスメントの防止に関する規定
アルバイト就業規則	退職金規定	産前勤務規定	荷物運送取扱基準	慶弔見舞金規定
就業規則別表 営業時間表	企業型年金規約	ストレスチェック制度実施規定	業務上傷病等付加給付規定	私有車使用規定
			業務用品貸与・補助基準	賞罰規定
構成企業の規則・規定				
就業規則	賃金・退職金規則	人事管理規定		
総合職・事務職社員就業規則	給与規定	国内旅費規程	マイカー通勤規定	
嘱託就業規則	退職金規定	慶弔金規定	自転車通勤規定	
専門職社員就業規則	ライフプラン準備金規定	健康管理規定	リフレッシュ休暇制度規定	
専門職嘱託就業規則	確定拠出企業型年金規約	育児休暇規定	永年勤続表彰規定	
専門職パートタイマー就業規則	給与規定	介護休業規定	社宅取扱規定	
パートタイマー就業規則				

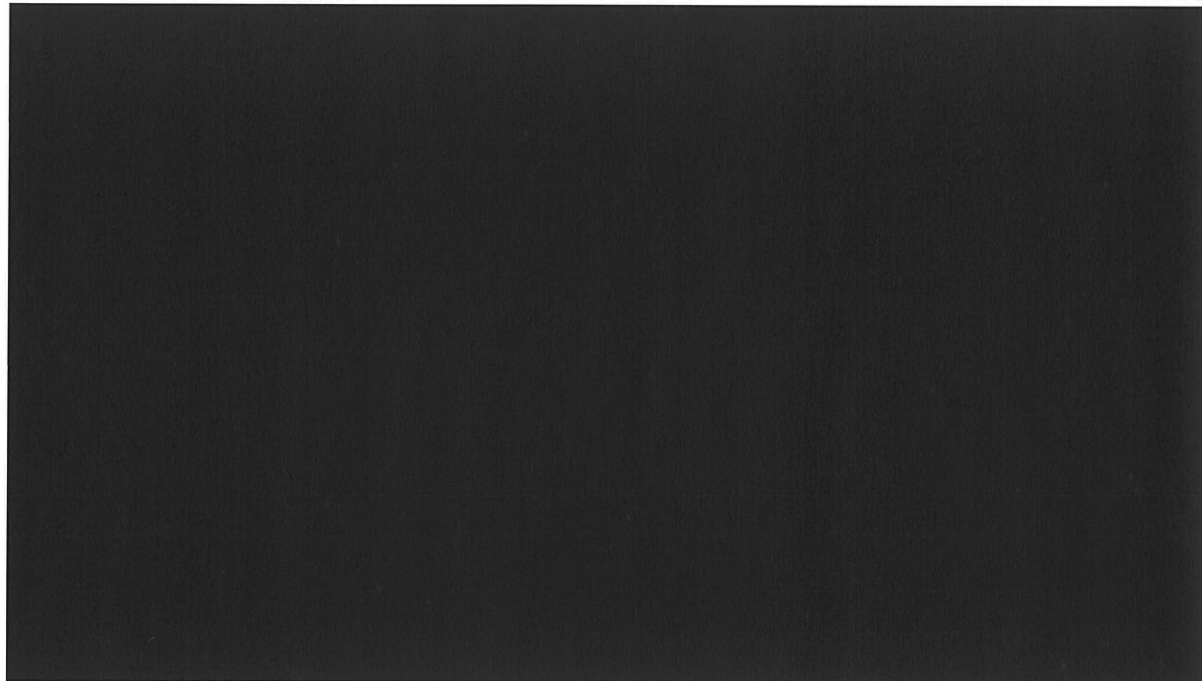
団体の状況

【職員のスキル評価制度】

代表企業では、職員のスキル評価制度としては「**基礎ライセンス制度**」という、スタンダードからアドバンスまで6段階制とした等級制を導入しています。

3ヵ月ごとに面談し、職員としての行動評価及び担当業務内容のスキル評価を行った結果、基準をクリアしている場合は昇格・昇給します。

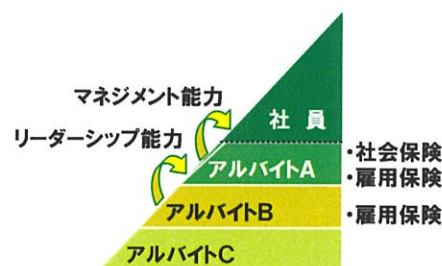
また、面談時に今後期待すること等を伝えることで、モチベーションの向上を図っています。



【キャリアアップ可能な環境整備】

代表企業では、アルバイトから能力次第で社員へキャリアアップできる仕組みが整備されています。

アルバイトにはランクを設け、アルバイト A は雇用保険・社会保険が付与され、正社員への**キャリアアップも可能**となる等、多様な働き方に対応しています。



代表企業のキャリアアップ制度

【労働組合との連携】 Point

代表企業では労働組合法に基づき、労働組合を組織しています。

本社、全国の運営施設等から寄せられた、労働に関する問題点については、労使協議会を年2回開催し、課題解決を図り、職員の健全な労働環境を整備しています。

【アルバイトの休業補償】

今般の新型コロナウイルスの影響に伴い、代表企業においては政府・自治体からの要請もあり、感染リスク拡大防止のため、直営施設は休館、指定管理施設等においても、各自治体からの指示・要請に基づく臨時休館とする対応を行いました。

その中で休業が長期化した状況等を総合的に勘案し、休業期間中のアルバイト職員に対し、**2020年3月～5月休業分の休業手当(10割)を支給**しました。

同業他社やサービス業として比較しても、圧倒的な手厚い手当となっています。

団体の状況

【従業員の働きがいを創出する取組み】

構成企業は、「提案力の強化」、「品質の向上」、「知の共有」等を目的に、社内 SNS を活用した「FM-1 グランプリ」を 2016 年度より開催しています。

全国の各現場からそれぞれの取組みが投稿され、社内に共有される仕組みで、日々、全国各地より数多くの投稿が集まり、優れたアイデアの共有はもとより、サービスレベルの向上にもつながっています。

また、「技術力」と「人間力」を兼ね備えた施設管理の専門家集団となるための取組みの一環として、2019 年度より技術コンテストも開催しています。設備管理事業では「技術・安全向上コンテスト」、警備事業では「喜び・働きがい向上プロジェクト」、清掃事業では「働きやすさ追求活動取組み発表会」として実施、これらの取組みを通じて業務品質や**従業員エンゲージメント**の向上にも寄与しています。



キャリア形成を支援する制度

キャリアグレード制度	学歴・年齢・性別・国籍にかかわらず、個人の能力に応じた人事評価を行うための制度
自己申告制度	社員が現在の職場の適応状況やチャレンジしたい業務等を、年1回申告する制度
グループ内公募制度	特定分野の適正人材を発掘するため、構成企業が属するグループ各社の従業員が、所属する事業や会社の枠に一切捉われないことなく、自らの意思で希望する事業・職種に応募できる制度
社内表彰	年1回、業績向上に貢献、または功績を残した従業員に対し表彰を実施

【構成企業の働きやすさと成長をサポートする環境】

構成企業は、グローバルに通用する専門人材を育成するための教育・研修制度を用意するとともに、業務の幅を広げるために不可欠な公的資格取得を全面的にバックアップしています。

さらに、勤務地を限定した働き方や、育児や介護等家庭環境に合わせた働き方ができる等、**ワークライフバランスに配慮**し、安心して働き続けることができる環境を整備しています。

ワークライフバランス支援

産前産後休暇	産前8週(多胎妊娠は14週)、産後8週間、出産を控えた女性が取得できます。
配偶者出産休暇	配偶者の出産時に3日間の取得が可能です。
育児・介護休職制度	男女問わず最大3年間取得が可能です。男性の取得実績もあります。
育児・介護短時間勤務	妊娠中、および育児や介護を担う社員が、1日の労働時間を1・2・3時間短縮することができる制度です。育児の場合は最長で小学校6年生まで、介護の場合は最長1年間。
看護・介護休暇	負傷または疾病にかかった小学校3年生までの子の看護、または要介護者の介護のために年間10日まで取得が可能です。
育児・介護相談窓口	育児・介護に関する制度、悩み事に関する相談を受け付ける専用窓口です。
勤務エリア認定制度	介護・育児・その他の事情を抱えた社員に対し、地域を限定した勤務により、ワークライフバランスの両立をサポートする制度です。全社員が3年に1度、グローバル、エリア、ホームの3つのコースの中から選択します。

福利厚生制度

休日・休暇	月9日(年間108日)、長期休日年8日、バースデー休暇年1日、合計117日。他年次有給休暇(初年度年10日)。有給休暇は半日単位で取得可能です。その他慶弔休暇、特別休暇等。
寮・社宅制度	自宅が遠方となる若手社員および転勤した社員が、寮または借り上げ社宅を安価で利用できる制度です。引越費用、転動手当などの支給制度もあります。
従業員持株制度	毎月の給与から一定額を自社株式購入に当てることができます。会社から5%の奨励金が給付され、長期の財形形成に利用できます。
グッドライフクラブ	共済会により、各種福利厚生、給付制度が利用できます。
従業員買い物割引制度	グループ店舗において、買い物の際に一定額の割引を受けることのできる制度です。

団体の状況

【働き方改革のプロジェクト】

代表企業及び構成企業では、平成 28 年度より働き方改革プロジェクトが発足し、様々な労働環境の見直しを実施しています。

代表企業は、平成 28 年 4 月より **働き方改革プロジェクト** を発足させ、労働環境の見直しを図っています。

働き方改革 ～しっかり働き、しっかり休む～ (一部抜粋)	
記念日休暇の推進	年間5日の記念日休暇取得を推進 (施設)営業時間終了後60分以内の退出 (本社)就業時間を20時までに規制
労働時間規制	
従業員教育	管理職向け教育の推進
勤務間インターバル	10時間のインターバルを必ず設ける
産業医面談	産業医と面談できる環境を創出

各部門に配置した働き方改革プロジェクトリーダー主導の基、記念日休暇取得や、時間外労働の可視化、プレミアムフライデーを活用したスポーツ大会等、様々な施策を実施しており、労働環境のさらなる改善に取り組んでいます。

【構成企業の長時間労働の是正】

構成企業では、長時間労働の是正に向けて **テクノロジーの活用** を試みています。

現場における清掃ロボットの活用により、日常の床清掃作業の約 7 割を省力化でき、ロボットが単純な作業を担うことで、貴重な人材をより **付加価値の高い仕事** に投入可能となります。



オープンネットワークによる長時間労働是正

またオープンネットワークシステムの活用も始め、今まで設備メーカーごとに個別の操作が必要だった監視設備について、オープンプロトコルの活用により各種設備情報をネットワーク化し、効率化をはかることに成功しました。

また、本社部門におきましても、スマートフォンやタブレットの活用により、移動時間の有効活用や事務所業務の見直し等の働き方改革を進めています。

【女性が働きやすい環境づくり】

代表企業は、女性活躍推進法や、横浜市男女共同参画行動計画を踏まえ、女性の採用機会の拡充に努めており、類似施設でも **女性職員の比率が 7 割** を超えています。

働きやすさや社会通念の変化を考慮し、「旧姓等使用に関する基準」を策定し、各個人の多様な考え方に柔軟に対応する方策を実践しているほか、仕事と育児の両立支援として、女性職員が出産を経てスムーズに職場に復帰できるよう、育児休業の延長や勤務時間の短縮等の各種制度を整え、女性活躍のための環境づくりに取り組んでいます。

主要部門において、多数の女性管理職が活躍しており、**女性の施設責任者(支店長・館長)の割合は全施設の 10% を超えています。**

旧姓使用ができる場合	本名を使用する場合
社内・Eメールアドレス	雇用契約書
社内会計・決済システムアドレス	給与明細書
IDカード	源泉徴収票
名刺	健康保険証
人事発令	社会保険関係書類
勤怠システム	

母性健康管理における労働時間・業務内容の配慮
時間外労働・休日出勤・深夜業務の制限
簡易業務への転換
妊娠・出産等を理由とする不利益取扱いの禁止
解雇制限
産前・産後休業

代表企業の取組内容	
・女性職員を対象に管理職育成を目的としたキャリア研修を実施	[Redacted]
・働き方・ワークライフバランスなどの情報発信による社員の意識改革	
・女性社員の相談窓口を設置	
・育児休職対象者に向けた情報誌の配布	

団体の状況

【女性活躍推進法「えるぼし認定」最高位取得】 Point

代表企業は、女性の採用機会の拡充に努めるため、様々な制度・規則を整備し、女性の多様なキャリアアップを支援し、子育てと仕事が両立できる体制を構築した結果、厚生労働省の女性活躍推進法に基づく「**えるぼし認定**」を取得しました。

採用・継続就業・労働時間等の働き方・管理職比率・多様なキャリアコースの5つの基準全てを満たし、3段階で設定されている中の最高位の認定であり、代表企業は**フィットネスクラブ業界では唯一の取得企業**です。



えるぼし認定(最高位)

【職員の安全と健康の確保】

職員は企業の発展に不可欠な「人財」であり、職員の安全確保に万全の注意を払います。

代表企業では、50名以上の事業所で義務付けられたストレスチェックを実施しているほか、産業医による相談窓口を設置し、職場や家庭に関する悩みや心の問題を相談できる外部 EAP（職員支援プログラム）を採用しています。

さらに、年1回の健康診断の受診を徹底し、アルバイト主体の業種では難しいと言われている**受診率 100%を実現**する等、職員の健康についても十分に留意した経営を行っています。

また、今般の**新型コロナウイルスのワクチンの職域接種**も実施しており、職員の安全・健康管理を徹底しています。



【スポーツエールカンパニー】

代表企業は、社員がスポーツに親しめる環境づくりを進める企業に対して認定する「**スポーツエールカンパニー**」に認定されました。

この取組は「代表企業×FiNC マイベスト宣言応援プロジェクト」として、達成したい運動面・健康面での目標を宣言する「マイベスト宣言」を通して、社員のスポーツ実施への意欲向上を図っております。

内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局が推進する認証制度「beyond2020 マイベストプログラム」の認証を取得しています。



スポーツエールカンパニーに認定

【安全衛生委員会の設置】 Point

代表企業は、労働安全衛生法に基づき、該当する事業所において「**安全衛生委員会**」を設置し、職員の危険や健康障害を未然に防止するための基本的な対策について、労使間で協議する場を設けています。

毎月1回開催される本委員会では、職員の安全衛生に係る様々な議題に対し、労使間で建設的な意見交換を行っています。

今後も職員一人一人が安全・健康に働ける職場環境の整備に努めます。

安全衛生委員会 議題（一例）

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策
- ・ 従業員事故状況と対策
- ・ 花粉症対策
- ・ 健康診断受診の必要性
- ・ 有給休暇取得の推進
- ・ 時間外労働の状況

(様式 8)

共同事業体名 みなみスポーツ共創パートナーズ
施設名 横浜市南スポーツセンター 提案書

団体の状況

類似施設の管理実績

【本施設の管理運営にふさわしい4つの経験値】 Point

指定管理者には、類似施設の実績を保有していることは重要な要素ですが、本質的な要件は、その実績が「**本施設の運営に活かせる実績**」かどうかです。

私たちは、下図の通り、本施設の指定管理者に求められる実績を、誰よりも多く保有する事業者であり、指定管理初日より円滑な運営をお約束します。



本施設に求められる実績	理由
① 指定管理者としての実績	複数の行政目的を果たすための運営管理を遂行する義務があり、単なる業務委託とは異なるため
② 複合施設の管理運営実績	複合施設特有のマネジメント能力及び維持管理能力が必要なため
③ 直営施設の運営実績	建物等固定資産を保有する 経営体力と覚悟 は、地に足のついた本物の運営サービスに繋がるため
④ 横浜市内での管理運営実績	地域ニーズ に基づく施設運営・事業展開が必要なため 緊急時に即座に駆けつけること の出来る体制の構築が必要なため

【①指定管理者としての実績】

指定管理事業は、**複数の行政目的を果たす**ために、遂行する業務も多岐に亘ります。

公共事業への理解が、一部の職員のみでなく、施設で働く職員一人ひとりに浸透していることが必要なため、指定管理者として一定以上の経験値が必要不可欠です。

指定管理実績

236施設

【②複合施設の管理運営実績】

複合施設を管理するには、**施設を束ねるマネジメント能力**や施設を利用する関係団体の調整能力、複合施設独自の維持管理能力等、求められる能力は多岐に亘ります。

本施設も、大岡地区センターと大岡地域ケアプラザとの複合施設であり、相応の経験を持つ事業者による管理運営が不可欠です。

複合施設の
管理運営実績

1,009施設

【③直営施設の運営実績】

代表企業と現指定管理者との大きな違いは、**多数の直営施設を保有**することで、資産保有の投資リスクを負って事業を行っており、スポーツ施設運営という生業から安易に逃避せず、長期に亘り収益を創出し続ける覚悟で事業を行っていることです。利用促進手法や新型コロナウイルス対応等、様々な面において、生み出される地に足のついた**本物のノウハウ**を本施設に惜しみなく注ぎ込みます。

直営施設の
運営実績

145施設

(様式 8)

共同事業体名 みなみスポーツ共創パートナーズ
施設名 横浜市南スポーツセンター 提 案 書

団体の状況

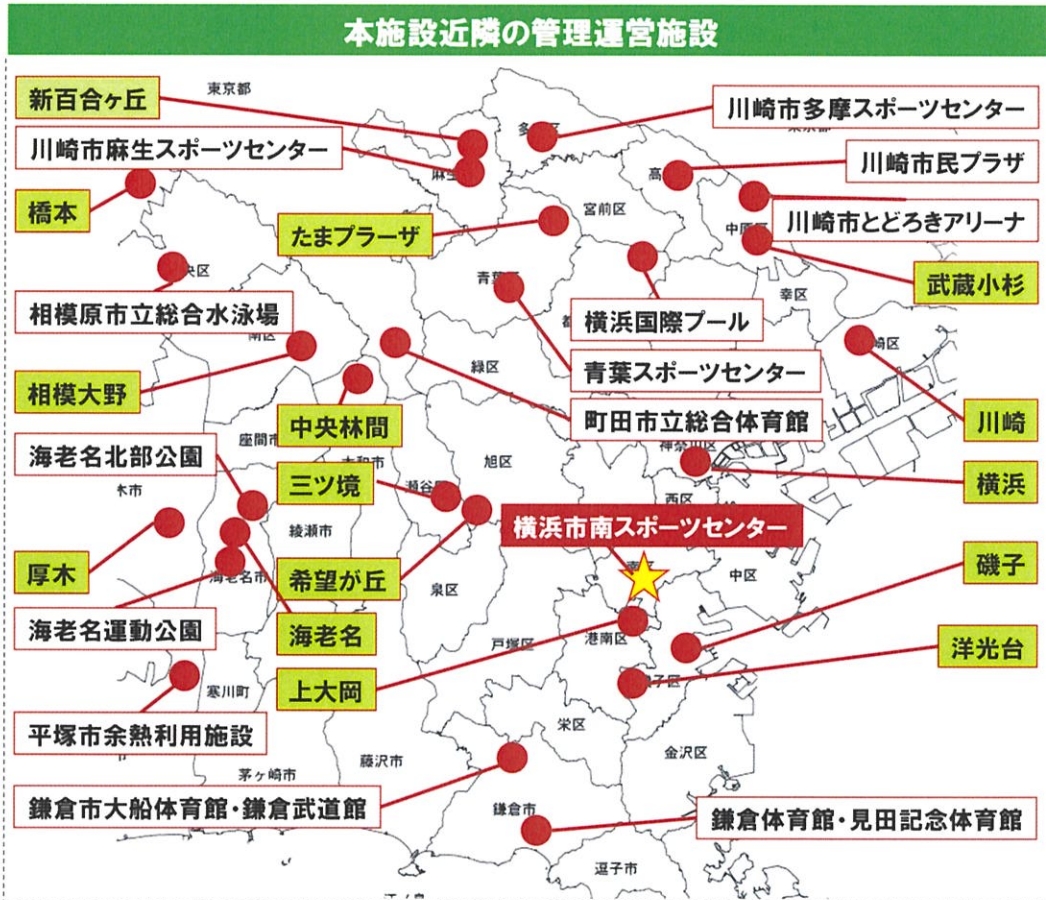
【横浜市での実績】

代表企業は、創業以来、スポーツ施設の管理運営を通して、健康に関わる様々なサービスを提供し、リーディングカンパニーとして業界を牽引し、全国で圧倒的な実績を誇ります。

横浜市内での
実績

33施設

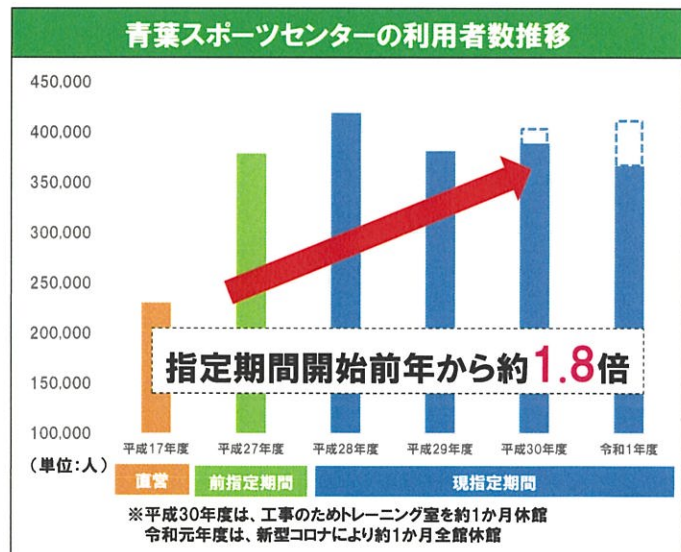
それだけでなく、**横浜市内における、長年の施設運営実績**を保有しており、私たちであれば、南区民のスポーツ・健康づくりに生かすことができます。



【スポーツセンター利用者数の推移】

青葉スポーツセンターの年間利用者数は、指定期間開始前の平成 17 年度実績の 23 万人から、平成 28 年度には**約 1.8 倍**にまで利用者数が伸長しています。

これは、現指定管理者の全国の直営施設で展開してきた事業ノウハウと、長年の運営で汲み取った**地域ニーズとを融合させた結果**と分析しています。



団体の状況

【経験に裏付けされる外郭団体からの確実な引継ぎ】 Point

仮に私たちをご選定頂いた場合には、業務内容はもちろん、多くの区民の想いも同時に引き継ぐということと認識しています。

私たちは毎年多くの公共施設の運営を開始しており、川崎市とどろきアリーナ、船橋市総合体育館、豊中市体育施設等、本施設と同様に、**市の外郭団体からの引継ぎを多数経験**しており、円滑な運営を開始しています。

私たちは、豊富な実績に裏付けされた独自の引継ぎマニュアルを構築していますが、長く同一団体が管理運営されてきたことも

鑑み、多くの方々によって繋がれてきたバトンを確実に継承できることをお約束します。

外郭団体等からの引継ぎ実績			
自治体	施設名	自治体	施設名
横浜市	青葉スポーツセンター	かほく市	アクロス高松
川崎市	とどろきアリーナ	愛知県	口論義運動公園
船橋市	船橋市総合体育館	名古屋市	中スポーツセンター
杉並区	大宮前体育館	一宮市	一宮市温水プール等
大阪市	扇町プール 下福島プール 平野スポーツセンター 平野屋内プール 都島スポーツセンター 福島スポーツセンター 中央スポーツセンター 西成スポーツセンター 西成屋内プール 西スポーツセンター	日進市	日進市スポーツセンター
		豊中市	豊島体育館
			千里体育館
			柴原体育館
			庄内体育館
			高川スポーツルーム
		武道館ひびき	
		二ノ切温水プール	
		豊島温水プール	
		琴平町	ヴィスポことひら等
四国中央市	アリーナ土居		
大分県	大洲総合体育館		

【市内複数のスポーツ施設管理運営実績を活かした取組み】

私たちは、市内複数のスポーツ施設の管理運営実績を有しています。

川崎市では、「とどろきアリーナ(中原区)」・「麻生スポーツセンター(麻生区)」・「多摩スポーツセンター(多摩区)」・「川崎市民プラザ(高津区)」の管理運営を、鎌倉市では、

体育館・武道館等、市内4施設の指定管理者として運営しています。

上記施設では、職員の施設間での兼務や教室講師の連携、また、広報連携や合同イベントの開催等、**同一の指定管理者だからこそできる取組み・事業展開**を図っています。

横浜市においては既に、「青葉スポーツセンター(青葉区)」・「横浜国際プール(都筑区)」の指定管理者として管理運営を行っており、仮に今回選定頂いた場合は、市内3施設を運営することとなり、川崎市や鎌倉市と同様の取組みを実施することが可能です。

それぞれの施設特性、地域特性を踏まえた管理運営を行うことで、市全体のスポーツ振興に貢献します。

主な連携事業実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の施設間兼務 ・ 施設間で同様の教室の開催(講師の連携) ・ HPの相互リンク、パンフレットの相互設置 ・ 合同イベント、避難訓練等の開催 	

施設の平等・公平な利用の確保

(1) 公共性・公平性に基づいた利用の確保

平等利用堅持体制(人権研修等)

【平等利用を確保する7つの方針】

平等利用が確保されることは、指定管理者による管理運営の根本です。

私たちは、下図の通り 7 つの方針を掲げ、**誰もが利用しやすい環境**を整えます。

平等公平な利用を確保する7つの方針	
方針	実施事項
① 誰もが平等、公正・公平に利用できる機会の提供	優先利用・一般利用・自主事業への配慮
② 誰もが同様のサービスを享受できる仕組みの構築	おもてなしの心を大切にした接客サービス
③ 誰もが参加できるプログラムの提供	運動が苦手な人、運動をしない人でも参加できるプログラムの実施
④ 多世代の多様なニーズに応える多目的プログラムの提供	子どもから高齢者、競技力向上、健康・体力づくり等様々なニーズへの対応
⑤ 安全かつ快適で利用しやすい環境の提供	施設利用に関する様々な障壁を取り除くバリアフリーな対応
⑥ わかりやすい・伝わりやすい情報の提供	情報をわかりやすく様々な媒体を通じて多くの市民へ提供
⑦ 地域と連携した平等利用への取組み	地域団体・地域の事業と連携した平等利用への意識啓発

【関連法令の遵守】

私たちは、本施設の**条例等の関連法令を遵守**するよう全職員に徹底します。

私たちにて判断できない特異なケースが発生した場合には、速やかに区と協議する等、その指示に基づき、利用者の平等な利用を確保します。

【地方自治法・関係法令遵守による公平性の担保】

地方自治法第 244 条第 2 項の「指定管理者は、正当な理由がない限り、住民が公の施設を利用することを拒んではならない」「住民が公の施設を利用する事について不当な差別的取扱いをしてはならない」を遵守します。

また、信条・性別・身分・年齢等により合理的理由もなく利用制限や人権侵害となる対応をすることのないよう、**全職員に徹底**します。



公平・平等性の担保

【予約の優先順位の徹底】

スポーツセンターでは、毎年 1 月に利用調整会議を実施し、各団体とのコミュニケーションを図る中で、2 月までに市・区や関連団体の年間予約を優先的に埋めています。

使用順位	
① 市・区・関連団体	12月までに次年度分予約
② 関連団体	1月に利用調整会議の開催
③ 指定管理者	2月までに一般利用に配慮した予約
④ 一般団体	横浜市民利用施設予約システム等での予約

また、市内登録団体や一般の団体等も、上記の通り、適正に受付を実施します。

一部の特定の団体等に偏ることなく、**ルールに基づく予約受付**を徹底します。

【団体等への公平・平等な貸出】

公の施設の管理者として、たとえ市民・地域に根ざした団体であっても、特定利用者や特定団体等に偏った利用を促進することはあってはならないことです。

私たちは、利用者・利用団体の公平な利用を徹底するために、中立的な立場で市民の平等利用の確保に努めます。各団体の自発的な活動を尊重しつつ、**特定利用者や特定団体等に偏った利用を防止**し、公平・平等な施設提供を徹底します。

施設の平等・公平な利用の確保

【適正な減免利用】

私たちは、区から示された特記仕様書（下記）に則り、適正な減免利用を行います。

条例、規則に基づく利用料金の減免制度を継続するとともに、対象となる障害者等に対しインターネットやパンフレット等の情報発信を適切に行い、一層の利用促進を図ります。

減免利用（「業務の基準」より）	
減免額	適用範囲
全額	(1) 学校長が小、中、高（特別支援学校含む）の児童、若しくは生徒、又はこれに準すると認められる者が正規の教科で体育授業に利用する場合 (2) 学校長が小、中、高（特別支援学校含む）の児童、若しくは生徒、又はこれに準すると認められる者が正規の教科以外の体育授業に利用する場合で学校施設が工事等により使用不能である場合 (3) 市が主催、共催する体育行事に利用する場合 (4) 未就学児が土曜日に個人利用（テニスコートを除く）する場合
半額	(1) 学校長が小、中、高（特別支援学校含む）の児童、若しくは生徒、又はこれに準すると認められる者が正規の教科以外の体育授業に利用する場合で学校施設が工事等により使用不能である場合以外 (2) 国又は横浜市以外の地方公共団体が主催、共催する体育行事に利用する場合 (3) 各区スポーツ協会が主催する市民を対象とした体育行事であり、かつ各区の後援を得ている場合

【公共事業従事者・行政施策理解研修】

公の管理代行者として、市及び区の行政施策及び施設の設置目的を職員一人一人が理解する必要があります。私たちは、類似施設で**公共事業従事者研修**や行政施策を理解するための研修を実施しています。

また、設置目的の理解をより深めることを目的に、事務所内に設置目的を掲示し、日々唱和をしてから勤務にあたり、本施設においても公共施設従事者としての意識醸成に取り組めます。

【接客接遇研修】

高齢者や障害者も安心して施設を利用して頂けるよう、接遇教育等を通じて心のこもったサービスを提供します。接遇教育では、**ノーマライゼーションの理念**に基づいた接客応対、内閣府障がい者施策推進本部の「公共サービス窓口における配慮マニュアル」に準拠したヒューマンコミュニケーション研修等を実施します。

【市の人権施策に基づいた平等概念の浸透】

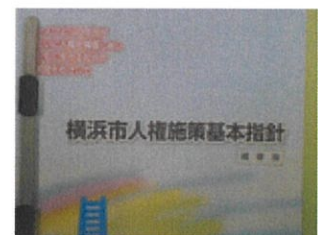
市の平成 29 年に改定された「横浜市人権施策基本方針」の趣旨を汲み、全ての利用者を尊重した対応を行います。

管理運営責任者が横浜市主催の人権研修会へ参加した際には、それを基に、全職員への教育を行い、**平等概念の浸透**を図ります。

【人権研修】

私たちは、人権研修を行い、職員に指定管理者として必要な人権擁護の取組みに努めます。

代表企業の運営施設では、施設内で起こりうることについてディスカッションを行っているほか、横浜市人権施策基本指針に関する理解度テストも実施しています。



横浜市人権施策基本方針の教育

【ユニバーサルマナー検定の受講】Point

代表企業は、（一社）日本ユニバーサルマナー協会主催の、**ユニバーサルマナー検定**を受講した認定職員を有しています。

今後も認定者を増員する予定であり、高齢者や障がい者に対するサポート方法やコミュニケーションを習得し、誰もが利用できる施設づくりを進めます。



ユニバーサルマナー検定認定証

施設の平等・公平な利用の確保

【スポーツ教室における平等利用の確保】Point

定期開催のスポーツ教室が応募多数の場合は、区と協議の上、**初心者の区民を優先**し、抽選を実施し、参加者を公平に決定します。

また、より幅広い方に申込を頂けるよう、**WEB 申し込みができるシステム**を導入します。

スポーツ教室受付の優先順位	
①	初心者区民
②	初心者市民
③	継続者(区民・市民)
④	市外

子ども、高齢者、LGBT 等への配慮

【多種多様な情報発信】

私たちは、より多くの方に本施設を周知するため、ホームページの定期的な更新や、区内公共施設での告知等、**多種多様な情報発信**を行います。

高齢者やインターネット環境が無い方へも配慮し、施設内掲示や区広報誌、町内会回覧板も積極的に活用します。

利用者サービス等の内容を変更する場合には、公平性確保の観点から、事前にその変更内容をホームページ上や館内掲示板等で利用者へ告知します。



【ウェブアクセシビリティ対応のホームページ】Point

指定管理者は、ウェブサイト等インターネットを利用して情報を受発信する場合は、すべての人が安全かつ適切に情報を得られるよう、「ウェブアクセシビリティ仕様書」に基づき、「JIS X 8341-3:2016 の適合レベル AA」に準拠したウェブアクセシビリティに配慮する必要があります。



適合レベル AA に準拠したホームページ

私たちは、ホームページについて、色弱者向けの**白黒表示**への**変更**や、低視力の方向向けの**文字サイズ調整**は、適合レベル AA 機能を搭載します。

【高齢者利用への配慮】

区の総人口数が減少する中、65 歳以上の高齢者は年々増加しています。

私たちは、高齢者の生涯スポーツとして卓球の普及を促したり、高齢者向けの運動教室の開催等を行い、高齢者が利用しやすい施設運営を行います。

また、ウォーキングポイントリーダーの設置を引き続き行い、高齢者にも人気であるウォーキングへの参加を促します。

【LGBT への配慮】

横浜市中期 4 か年計画では公共施設で LGBT を含む多様な性のあり方を理解した上での対応が求められています。私たちは、当該対象者の方からご相談を受けた際には、更衣には多目的トイレをご案内する等、可能な限り、**相手に寄り添った運営**を行います。

(様式 9)

共同事業体名 みなみスポーツ共創パートナーズ
施設名 横浜市南スポーツセンター 提案書

施設の平等・公平な利用の確保

バリアフリー、ユニバーサルデザイン

【バリアフリー情報の提供】

障がい者の方は、体育施設のバリアフリーの状況が見え
ると施設を利用しやすくなります。

私たちは、施設のバリアフリー情報を施設内や、ホーム
ページに掲載する等、積極的に情報を発信することで、障
がい者が利用しやすい環境を整備します。

バリアフリー情報(例)

・スロープ	・障がい者スポーツ指導員
・エレベーター	・バラスポーツの経験者
・多目的トイレ	・車いす用トレーニング機器
・多目的更衣室	・バラスポーツ備品
・オストメイト	・バラスポーツ教室

【ユニバーサルサービスの取組み】

本施設は、老若男女問わず幅広い利用者の方が訪れるため、全ての利用者が安全に利用で
きるよう、ユニバーサルサービスの取組みを行います。

高齢者や足腰の悪い方を想定した車いすの設置や、小さい文字が読みにくい方を想定とした
虫眼鏡や老眼鏡の設置を行います。

ユニバーサルサービスの取組み



老眼鏡の設置

大きな文字での案内

筆談ボードや耳マーク

車いすの設置

【ユニバーサル防災訓練】Point

表企業が運営する杉並区の体育施設では、**障がい者の利用を想定した「ユニバーサル防災訓練」**
を実施し、車イスや視覚障がい者等と健常者との誘導の仕方の違いを学ぶ等、安全に避難誘導
が出来るように訓練をしており、本施設でも同様の訓練を実施します。

【ヘルプマークへの対応】

義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、または妊娠初期の方等、外見から
は分からないが援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを
知らせることができるヘルプマークが全国で普及しています。

私たちは、本マークを身に付けている方からご相談を受けた際には、筆談での対応や更衣に
はだれでもトイレ・更衣室をご案内する等、可能な限り、相手に寄り添った対応を行います。

多くの利用者が利用できる体制

【あらゆる人が参加できるスポーツ教室】

横浜市中期 4 か年計画では、あらゆる人が力を
発揮できるまちづくり戦略を掲げています。

私たちは、**女性・子ども・若者・シニア**等、幅広い世
代に合わせたスポーツ教室を提供します。

対象	プログラム例
女性	フラダンス、バレエ、ビューティーバレエ&ストレッチ プレ親子リトミック、親子リトミック教室、親子体操教室
子ども	幼児運動塾、幼児体操教室、子供体操教室 空手教室、子供バレエ、子供ヒップホップ ジュニアバドミントン、ジュニア卓球、ミニバスケットボール
若者	ヨーガ、ピラティス、背骨コンディショニング 気軽に脂肪燃焼&ウェストシェイプ、やさしい社交ダンス バドミントン、卓球
シニア	中高年らくらくトレーニング入門、はつらつ体操 気功・太極拳、やさしいトレーニング、即効上達ゴルフ塾

(様式 9)

共同事業体名 みなみスポーツ共創パートナーズ
施設名 横浜市南スポーツセンター 提 案 書

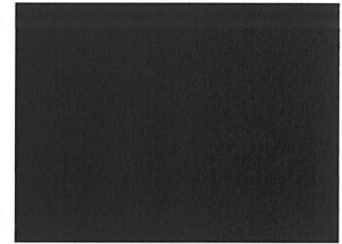
施設の平等・公平な利用の確保

【初めての方でも気軽に利用できるホスピタリティ】

初めての方でも施設を気軽に利用できるよう、受付職員はコンシェルジュとして高いホスピタリティを発揮します。

コンシェルジュは、施設の利用方法や教室等についてはもちろん、他公共施設等の区内情報も説明できるようにしています。

また、来館者それぞれの利用目的を丁寧に聞き取り、**目的に合わせたアドバイス**を行い、施設の利用促進に繋がります。



初めての方への対応

【施設の混雑情報の掲載】

大岡地区センター及び大岡地域ケアセンターとの合築であり、駐車場は共同利用のため、混雑時は駐車が出来なく、運動の機会を逸失する可能性があります。

私たちは、混雑する曜日・時間は、火曜日 18 時～20 時、水曜日 10 時～13 時と把握しているため、**混雑予想及び当日の混雑状況**を施設内に掲示、ホームページに掲載し、混雑緩和に努め、より多くのを整えます。

トレーニング室は平日 9 時、土日 9 時及び 16 時が混雑する傾向



HPへ混雑情報の掲載
方が利用できる環境

のため、同様に利用

【トレーニング機器使用方法の掲示】

私たちの類似施設では、初めての方でも正しくトレーニング機器を使って頂くため、各機器の使用方法を掲示しています。

本施設のトレーニング機器には使用方法の掲示が無く、初めての方や使用に慣れていない方は都度職員に利用方法を聞かなければならない状況です。

私たちは常時初心者講習会を開催し、使用方法の説明をするほか、職員自身が**利用者目線**で考え、安全で効果的なトレーニング方法を掲示します。



利用方法案内の掲示

【託児サービス付教室】

私たちは、子どもと一緒に来館して教室参加できる、**出張保育「保育ボランティアみなみ」**と連携した託児サービスを提供します。

子育て世代の健康づくりを貢献すべく、利用状況に応じ、開催頻度を拡大していきます。



託児サービスの提供

【提供するサービス品質の平準化】

受付職員の接客や教室等のサービス品質が指導員によってばらつくと、平等な施設利用は提供できません。

代表企業は、社内ライセンス制度を構築し、全指導員に対し**定期的な品質チェック**による品質の平準化及び向上を実施しています。

委託する外部講師等へも同様に、定期的なモニタリングにて、確認を行います。



プログラムの品質管理

(様式 9)

共同事業体名 みなみスポーツ共創パートナーズ
施設名 横浜市南スポーツセンター 提 案 書

施設の平等・公平な利用の確保

(2) 多言語化に関する取組

施設立地に配慮した多言語対応

【施設立地の理解】

南区の**外国人人口は 10,500 人**を超え、18 区の中でも 2 番目に多い外国人の方が居住しており、本施設周辺にも、横浜に拠点を構えるグローバル企業の就労者や、中華街や歓楽街の就労者が多数居住しています。

また、国籍も右図の通り、多岐に亘っており、多言語での対応が不可欠のため、この立地特性を理解した上で、一人でも多くの方が利用しやすい環境を作ります。

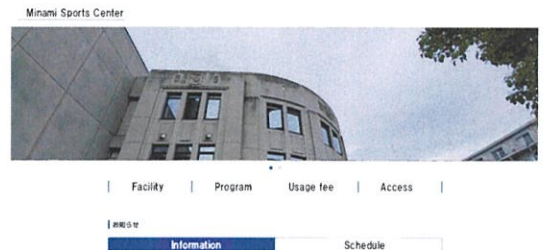
南区外国人国籍	
中国	5,631人
韓国	1,376人
フィリピン	1,036人
ベトナム	698人
台湾	286人

令和3年5月末時点

【ホームページの多言語化】

スポーツセンターのホームページは、外部ツールを活用し、多言語対応のホームページとします。

外国人の方でも、必要な情報を入手でき、気軽に施設を利用できる環境を整えます。



【ポケットクの設置】

横浜市中期 4 か年計画では、観光客等の受入環境整備の推進として、市内観光の玄関口である観光案内所の多言語・多文化への対応強化に取り組むことを掲げています。

私たちは、**74 言語対応の AI 音声通訳機のポケットク**を設置し、多言語への対応を強化し、情報の平等性を図ります。



【外国語版館内案内ブック】

初めて利用される方が施設内容・利用方法をすぐにご理解頂けるよう、受付に館内案内ブックを設置し、英語版を作成します。

代表企業が指定管理者として運営する東京都杉並区の体育施設では、英語版のトレーニング室・プールの利用案内を作成したところ、好事例として**他の区内体育施設に水平展開**されました。



施設利用案内(英語版)

【英語対応可能な職員の明記】

英語での対応が可能な職員には、名札に「**An English Speaker**」と分かるよう表示をし、外国人の利用者への対応強化を図ります。



英語対応可能な職員の明記

【多言語放送】

安全面・防犯面に関する注意喚起アナウンスを定期的実施する**館内放送システム**は、多言語での案内が可能なシステムを活用します。

日本語に加え、英語・中国語・韓国語の多言語の対応が可能です。

施設の平等・公平な利用の確保

【多言語サインへの更新】Point

本施設は、築約 28 年を迎えており、館内のサインが老朽化して分かりづらいほか、多言語案内等の時代に沿った案内が出来ていない状況のため、右図の通り**館内全体のサインを更新**し、年齢や国籍を問わずに、一目で分かるようなデザインとし、施設全体の雰囲気を一新します。



【館内表記の多言語化・イラスト活用】

私たちは、**スポーツセンター受付に多言語の表記**を設置するほか、言語がなくても**誰でも伝わるイラスト**を用いた館内掲示を使用します。

これにより、外国人の方でも館内掲示が理解でき、快適な施設利用を促進します。



【券売機の多言語化】

スポーツセンターでは、日本語が読めない方でも安心して施設を利用できるよう、券売機表記を、右記のように、**ボタンに英語表記**を施します。

これにより、外国人の方のチケットの買い間違い等が減り、安心して利用できる施設づくりに寄与します。

また、単位表記も「円」から「¥」へと記載変更することにより、支払金額の間違い防止を図ります。

トレーニング室利用料 (中学生以下/1回) Training room usage fee (Children's once) ¥100	トレーニング室利用料 (大人/1回) Training room usage fee (Adult once) ¥300
トレーニング室利用料 (中学生以下/回数券) Training room usage fee (Children's coupon ticket) ¥1,000	トレーニング室利用料 (大人/回数券) Training room usage fee (Adult coupon ticket) ¥1,000

券売機の英語表記(案)

【市内スポーツセンターとの水平展開】Point

本施設以外の横浜市内他区スポーツセンターにも同様に多言語対応が必要ですが、運営事業者の違いによって、サービスレベルに差が生じることは決して望ましいことではありません。

他区スポーツセンターは館内掲示、ホームページの多言語対応は全くなされていないため、当グループが選定された際は、共通使用できるものは積極的に提供し、**市全体に水平展開**を行います。

代表企業は杉並区や北九州市等の他自治体においても、そのようなモデル作成の事例を多数有しており、自社だけにとどめることなく、共存共栄を図ります。

【市開催の「多言語セミナー」への参加】

東京 2020 オリンピック・パラリンピック後のレガシーの醸成のためにも、近隣住民の外国人や訪日外国人観光客の入国再開後の接客接遇に取り組むことが課題と考えています。

横浜市は、多言語対応についての現場での実践手法や、接客時の対応方法等について解説するセミナーを開催しているため、今後同様の機会があれば参加し、接客接遇を強化します。

施設の平等・公平な利用の確保

(3) 障害者の利用支援に関する取組

障がい者スポーツ指導員の配置

【初級障がい者スポーツ指導員資格取得】Point

横浜市スポーツ推進計画では、「障害者スポーツ支援者の育成・活躍支援」を掲げられています。

代表企業は、地区の統括マネージャーや隣接する川崎市スポーツ施設の総括責任者が障がい者スポーツ指導員の資格を取得する等、障がい者スポーツの推進に積極的に取り組んでいます。

選定後、管理運営責任者候補者が**指定期間開始前に初級障がい者スポーツ指導員の資格を取得**し、積極的に障がい者スポーツを推進します。

障がい者スポーツ指導員登録証

障がい者利用時の支援体制

【障がい者利用への合理的配慮】

平成 25 年に施行された障害者差別解消法が、令和 3 年 5 月 28 日に改正され、民間企業にも障がい者利用への合理的配慮が求められるようになりました。

私たちは、本施設をご利用の障がい者から社会的障壁の除去を必要としている旨の意思の表明があった場合は、その実施に伴う負担が過重でないときは、「**障害を理由とする差別の解消の推進に関する横浜市職員対応要領**」を参考に、合理的配慮の提供に努めます。

■障害を理由とする差別の解消の推進に関する横浜市職員対応要領(抜粋)

具体例	具体例の説明
情報を「伝えること」の合理的配慮	
どこに人がいるのか、その人が職員であるのかどうか分からないことが多いため、職員から声をかける(視覚障害)。	どこに窓口があり、どこに職員がいるのか分からないことが多いため、困ったことがないかを職員が一声かけるようにする(ただし、過剰なやりとりを示すものではない)。
情報を「受けること」の合理的配慮	
本人の希望を確認し、筆談や手話(手話通訳の配置)等で対応する(聴覚障害)。	手話で対応することによって全ての聴覚障害のある人の情報の保障ができるわけではないことに留意する。手話や筆談で対応する際には、伝えた内容を相手が理解しているかどうかを確認する。
その他の合理的配慮	
車いす利用者のために段差に携帯スロープを渡す、高い所に置かれた物品を取って渡すなど(肢体不自由ほか)。	市民が通行する経路上に段差や備品等の障害物がないかを確認する。また、移動が難しい場合は、車いす利用者等の経路を別途確保する。

【事前ヒアリングによるニーズの確認】

障がいのある方の予約時には、職員による事前ヒアリングを行い、安心して、不安なく施設を利用できる体制を構築します。

また、事前に貸出備品や必要事項をヒアリングすることで、当日スムーズな受付対応が可能となり、利用者の要望に応じていきます。

事前ヒアリング事項(抜粋)

- ・スタッフによる手伝いは必要か
- ・車いす等の貸し出し備品はあるか
- ・準備が必要なものはあるか
- ・利用者側からの要望はあるか

施設の平等・公平な利用の確保

【障がい者の利用支援】

障がいをお持ちの方が施設を快適に利用頂けるよう、受付に筆談セットを設置します。

筆談器を使用する際には、職員は右上のポイントを徹底します。障がいをお持ち方への理解を深め、快適に利用できる施設づくりに努めます。



筆談セット



貸出し用車椅子



障がい者用駐車場スペース

筆談器使用時の6つのポイント

- ①読みやすい文字で短い文章
- ②5W1Hの徹底
- ③漢字を用いて見やすい文章
- ④二重否定禁止
- ⑤具体的で明確な表現の徹底
- ⑥読みやすい紙面の使い方

【障がい者利用時の職員の柔軟な対応】

身体的なハンディキャップをもった障がい者や高齢者に対しても、広く施設を開放します。

障がいを持った方の利用にあたり、館内には小さな段差等もありますので、職員が機転を働かせ、**柔軟に対応**することで「心のバリアフリー」を目指します。

【障がい者利用時の更衣への配慮】

私たちは、障がい者をご利用される際には、ご要望に応じて、利用時に同伴の許可を行うとともに、障がいに応じて、**更衣の際には相談室**を案内し、ご利用頂きます。

本施設をさらに使いやすくする取組みを継続します。

【障がい者対応研修】

障がい者の方も安全・快適に利用頂ける環境整備のため、毎年1回、NPO法人プールボランティアにご協力頂き、障害者差別解消法を踏まえた障がい者対応研修を実施しています。

NPO法人プールボランティアは、障がい者も健常者も同じようにプールを楽しめる社会の実現を目的に設立され、平成31年度の**スポーツ振興大賞を受賞**した団体で、職員はそのノウハウを活かした研修を受講します

NPO法人プールボランティアによる障がい者対応研修			
	卓上研修	実施研修	研修の様子
研修内容	1.車いす用エレベーターの話 2.視覚障がい者と点字ブロックの話 3.補助犬の話 4.障がい者の基礎知識(人数、種類) 5.障がい者差別禁止法と障がい者雇用率の話 6.統合教育と隔離教育 7.てんかん発作とパニックの話と救助訓練	1.車いすの始業点検 2.車いすの走行上の注意と段差越え 3.視覚障がい者誘導・案内の仕方 4.視覚障がい者の疑似体験 5.プールサイドにて車いすの乗車体験 6.二人一組で押す体験と障がい者体験 7.アイマスクで泳いでみよう 8.障がい者の入水と退水の仕方 9.てんかん発作の応急手当と実際の救助	
研修のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ○障がい者目線で設備確認 ○補助犬の待機場所と他の利用者への配慮 ○コミュニケーションを取り、何を望まれているかを寄り添う ○障害者差別解消法では「不当な差別的取り扱い」と「合理的配慮が不提供」が禁止 ⇒公共施設においては障がい者への合理的配慮は法的義務 ○障がい者に対して接する機会が少ない高齢者世代からご意見を頂く場合が多い ○若年～中年層世代は統合教育世代であるため、理解が得られやすい ○魔法の言葉「どうすればよろしいでしょうか? 不慣れなので教えてください」 ○視覚障がい者の誘導などを行う際は先に言葉をかけることが大切 ○車いすのメンテナンスは必ずチェック者が試乗 ○てんかん発作を発見した際には外的刺激を与えず、慌てず見守ることが大切 		

施設の平等・公平な利用の確保

【障がい者利用時のパス発行】

障がいをお持ちの方は、利用のたびに人前で障がい者手帳を提示することに抵抗があることも多いため、**障がい者用のパス**の発行を検討します。

毎回、障がい者手帳を持参する必要がなく、定期的に更新を確認する運用とします。

【視覚障がい者補助犬の待機場所の確保】

代表企業の運営施設では、目の不自由な方が施設を利用される際、受付にて補助犬をお預かりしており、本施設でも、身体に障がいを持った利用者の中には、補助犬を連れてくる方もいると想定し、補助犬の待機場所を確保します。

【サービス介助研修の実施】Point

私たちは、(公財) ケアフィットサービス共育機構が提供する、「サービス介助セミナー」を職員の研修項目として実施します。「障がい」や「合理的配慮」の理解を深め、本施設の設備に合わせた具体的な接遇・介助方法を学び、**障がい者、高齢者に優しい施設づくり**を実現します。

【バリアフリー情報の提供】Point

障がい者の方は、体育施設のバリアフリーの状況が見えると施設を利用しやすいというご意見を頂きました。

私たちは、次期指定期間、施設のバリアフリー情報を施設内や、ホームページに掲載する等、積極的に情報を発信することで、障がい者が利用しやすい環境を整備します。

バリアフリー情報(例)	
・スロープ	・障がい者スポーツ指導員
・エレベーター	・パラスポーツの経験者
・多目的トイレ	・車いす用トレーニング機器
・多目的更衣室	・パラスポーツ備品
・オストメイト	・パラスポーツ教室

障がい者向けスポーツ教室

【インクルーシブスポーツの実施】Point

横浜市スポーツ推進計画では、障がい者と健常者が共に楽しめるインクルーシブスポーツの推進が掲げられています。

代表企業が運営する施設では、パラスポーツのボッチャ、ユニカール、スポーツ吹矢、サウンドテーブルテニス等、障がい者と健常者が一緒に参加するスポーツを多数開催しています。

本施設では、**四半期に1回以上、インクルーシブスポーツの体験イベントを実施**します。

実施予定種目	
・ベタンク	・輪投げ
・ディスクゴルフ	・バウンドテニス
・シャッフルボード	・ボッチャ

【パラスポーツの普及】

横浜市には障害者スポーツチームとして、横浜 F・マリノスの Jリーグ初の知的障害者サッカーチーム「フトゥーロ」、野球チーム「横浜メイキングス」、電動車椅子サッカーチーム「Yokohama crackers (ヨコハマクラッカーズ)」等、多数のチームが活動しています。

横浜市スポーツ推進計画には「障害者スポーツに対する理解の促進」の取組みが示されており、指定管理者としてもこの取組みへの協力が必要と考えます。

私たちはパラスポーツの普及するため、スポーツレクリエーションフェスティバル等の機会を活用し、紹介イベントを行い、より多くの方に知っていただく環境を整えます。

施設の平等・公平な利用の確保

【ボッチャ教室】

横浜市スポーツ推進計画では、障がい者（成人）の週 1 回以上のスポーツ実施率を 40%以上とすることを目標としています。

私たちは、子どもでも手軽に楽しめるパラスポーツである**ボッチャ**を実施します。



ボッチャ体験の実施

【障がい者と健常者の交流「卓球バレー」】Point

椅子に座って行うことや、シンプルなルールから、障がいの有無に関わらず、全ての世代が一緒に楽しむことができるユニバーサルスポーツである**卓球バレーの備品を調達し、利用者に貸出**します。

卓球の個人利用の中で、卓球バレー用のスペースを 1 台設けます。



ユニバーサルスポーツ
「卓球バレー」

【風船バレー教室】Point

風船バレーは、障害のある方や高齢者、どんな方でも楽しめるように考案されたスポーツのため、本施設で体験会や教室を実施します。

チーム全員が必ず一回は風船にタッチする全員参加がモットーのため、運動になじみの無かった方や、運動経験の少ない方がスポーツの楽しさを味わえる機会を提供します。



風船バレーの実施

【ヨコハマさわやかスポーツの推進】

横浜市では、いつでもどこでも気軽にできるニュースポーツ「ヨコハマさわやかスポーツ」が推進されており、南区では、弘明寺クラブ、南区スポーツ推進委員、南区青少年指導員、青葉区老人クラブ、さわやかスポーツ地域指導者等がさわやかスポーツ普及委員となり、地域でのさわやかスポーツの普及を行っています。

本施設においても、さわやかスポーツの用具の貸出を行い、誰もが気軽に取り組める「ヨコハマさわやかスポーツ」の普及に協力します。

【南区リハビリ教室への協力】

現指定管理者は本施設に同居している大岡地域ケアプラザ、元気づくりステーションや老人クラブ連合会に職員を出張し、病気の再発防止や体力づくりに協力しています。

同教室が開催される際には、今後も施設利用への支援を継続します。



リハビリ教室

【障害者スポーツ文化センターの案内】

横浜市には、障害者スポーツ文化センター「横浜ラポール」「ラポール上大岡」が設置されています。両施設には、バウンドテニスコートやグラウンド、100m 直線コース等のスポーツ機能や創作工房等、本施設には無い機能が豊富に整備されています。

本施設でも、幅広いスポーツ・文化活動に取り組みたい方向けに、両施設の案内を行います。

施設の効用の最大限発揮

(1) 利用者本位のサービス提供・利用者の支援

利用者要望を反映させる仕組み(アンケート・対応公表)

【利用者からの意見聴取】Point

公の施設の管理運営を行う者として、**利用者の要望・意見を積極的に収集**し、的確に対応することが最も重要です。

この考えの基、私たちは、様々な手法で利用者の要望・意見を把握することに努めます。この要望・意見を把握し、施設運営へ反映させる仕組みで、利用者本位の運営を実施します。



【お客様の声 BOX の設置】

私たちは、利用者からの要望・苦情は「情報の宝庫」という認識の基、施設内に、「**お客様の声 BOX**」を設置します。

スポーツセンターでは、利用者の目に留まりやすく、かつ職員目を気にせず記述できる場所に設置します。

また年に1回、指定管理者が主体的に100人の規模のアンケートを実施し、運営改善に活かします。



お客様の声 BOX

【利用者アンケートの掲示】

アンケート記入台の設置、教室の講師からの手渡しをする等、多くの方から回答を頂く工夫を行うほか、館内に結果を掲示し、頂いたご意見に対するご回答も併せて掲示します。

回答を行う際にはプライバシーに配慮して、パソコンで打ち換えて、**3日以内に回答・掲示**し、意見・要望が伝わる環境であることを利用者にご認識頂けます。



利用者アンケートの掲示

【教室・イベント実施後のアンケート調査】

教室・イベント運営の参考とする為、教室やイベント終了直後に、アンケートを実施します。

代表企業は**各種教室を3ヶ月に1回見直し**を行う体制で、多様なニーズの変化に柔軟・的確に対応します。

本取組みにより本質に近い生の声を頂くことができると考えており、このご要望に応えることが、確実な定着化を促します。

【利用者の要望の反映事例】

私たちは、全国の施設で利用者のご意見の実現に積極的に取り組んでおり、本施設でも同様に、頂いた利用者の要望を施設運営に反映させ、利用者満足度を高めます。

利用者からの要望に対する対応(一例)	
利用者からのお声	対応内容
・トレーニングマシンを使用後に汗を拭かない利用者がある。	・利用者への声掛けとともに、使用後の汗拭きをお願いするPOPを掲示。
・私物を保管できるロッカーが欲しい。	・月極の契約ロッカーを設置。
・スタジオプログラムの時間を変更して欲しい。	・新しいプログラム導入時に 要望の多い時間帯へ時間変更 を実施。
・ロッカーに泥だらけの靴を入れている人がいて不衛生。	・ロッカー入口付近に注意喚起を掲示し、 靴入れの袋を受付で配布 。
・施設の空き情報が分からない。	・居室の空き状況を施設内に掲示。
・トイレ用スリッパを増やして欲しい。	・ トイレ用スリッパ(ジャンボスリッパ)を追加 。
・下駄箱が少なく、大会等の時に、エントランスがとても乱雑となっている。	・ 下駄箱を増設 。また、大会関係者へも協力要請を実施。

施設の効用の最大限発揮

利用者対応について(接遇、苦情受付、ワンストップサービス)

【大会・イベント時の柔軟な対応】

大会利用がある時、準備のために開館時間を早める等の柔軟な対応が求められるケースがあります。

私たちは、全国の類似施設において大会・イベント時に利用者の利便性向上に取り組んでおり、本施設において

も開館時間よりも早い時間からの施設の開館要望があった場合は、その時間について利用料金を徴収する等の**柔軟な対応**を図ります。

また、主催者と綿密な事前打ち合わせを行い、円滑な大会・イベント運営をサポートします。

大会利用への対応ポイント

- ① 大会前日までに主催者と打ち合わせ
(セッティング時間・セッティング人数の確認)
- ② 搬入備品がある場合の導線の確認
- ③ 想定駐車場利用台数の確認

【明るい笑顔でお出迎え】

私たちは、**おもてなしの精神**を持ち、親しみやすい職員を育成・配置し、常に明るい笑顔でお出迎えを行います。

業務開始前には、代表企業**独自の身だしなみ基準**に従い、髪型・化粧・爪・服装の確認を行います。

常時 1~2 名を受付に配置し、見慣れない方には、こちらからお声がけをする等、初めて来館された方、一人一人に**寄り添った対応**を実施します。



明るい笑顔でお出迎え

【コンシェルジュ機能】Point

初めて来館される方は、施設について全く分からず不安な状態であり、指定管理者はそのような利用者に寄り添い、今後も通いたいと思える環境を作っていかなければなりません。

私たちは、初めての利用者が安心して利用できるように、受付に**コンシェルジュ機能**をもたせるほか、受付や指導中によく質問頂く内容については、カードで準備し、業務開始前に確認をします。

受け身ではない、民間スポーツクラブ水準のホスピタリティを提供します。



コンシェルジュ機能

【職員の「顔の見える運営」】

利用者と職員の心理的な距離を縮めることは、施設運営における大切なポイントです。

私たちは、施設内に職員の紹介ボードを設け、プロフィール・ニックネーム・特技等、利用者に親しみをもって頂ける**職員紹介ボード**を設置し、利用者と職員との距離を縮めることで、交流を促進します。



職員紹介ボードの設置

【施設案内ブックの作成】

私たちは、初めて利用される方が、すぐに利用方法を理解頂けるよう、受付に施設案内ブックを設置しています。

また、施設の情報だけでなく、近隣施設や民間スポーツクラブの連絡先等も備え、**利用者目線**の内容をそろえています。



施設案内ブックの作成

施設の効用の最大限発揮

【緊急時のバックアップ体制】

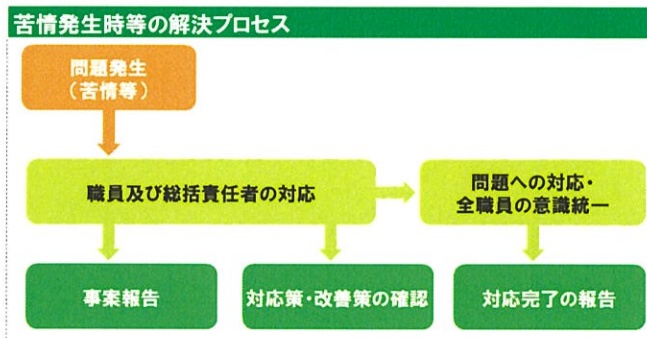
駐車場運営は、場内事故やトラブル対応、駐車券紛失等、様々な利用者対応が求められます。私たちは、緊急事態発生時には、本施設の職員によって利用者の一次対応を行います。万が一対応できない場合も、タイムズ 24 による **24 時間 365 日対応**の管理メンテナンスとコールセンターによって、警備会社等が現地に参集できるバックアップ体制を構築します。

【苦情・トラブル発生時の解決プロセス】

施設運営においては、様々な苦情・要望を頂くことがあります。

苦情発生時の受付体制を明確にし、特に、「安全に関するもの」は速やかに改善する等、適正な対応に努めます。

今後も、指定管理者として、状況に応じ、内容と経過を区に報告します。



【苦情対応マニュアルに基づいた対応】

私たちは、対応体制、対応方針、対応プロセス等を明確にした苦情処理マニュアルに基づき、施設運営を行います。

職員の対応によっては、利用者との口論等、二次的なトラブルに繋がることも想定されますので、いかなるケースにおいても、職員は安易な対応を取ることがない様、対策フローを踏まえた指導マニュアルを作成し、トラブルゼロの**快適な施設作り**に努めます。

苦情処理マニュアル概要

- 苦情の処理フロー
- 苦情・要望受け入れ方針、顧客への明示
- 苦情・要望の収集・記録
- 苦情・要望申し出者への受領通知
- 苦情・要望の評価
- 早期解決への方策策定
- 対処方法の揭示と情報申し出者の反応評価
- 苦情・要望受け入れ方針と顧客への明示
- 未解決な場合の代替案の明示
- 定期的なレビュー
- 他指定管理者のベンチマーク

【トラブルの未然防止】

私たちは、館内撮影に関するトラブルを未然に防止するため、館内掲示での利用者注意喚起を実施します。

全ての利用者に気持ちよく本施設を利用して頂くため、今後もトラブルに繋がりそうな事象には**未然に対応**していきます。



館内撮影禁止の掲示

【本部組織によるお客様相談窓口の設置】

代表企業は、利用者の苦情・要望に関し、本社とご利用者との直接のホットラインである**お客様相談室**を設置しています。お客様相談室は、組織上横断的な権限を持ち、客観的な判断を行い、是正や改善勧告、または利用者への的確にわかりやすく説明する機能を持っています。

本社組織を活用し、トラブル・クレーム等の再発防止に取り組めます。



お客様相談室オペレーター

施設の効用の最大限発揮

サークル活動支援

【各種サークル団体の情報提供】

スポーツ・レクリエーション活動を行うには、共に活動する仲間の存在が重要な役割を果たします。

私たちは、競技団体や各種サークル等の活動内容を紹介するコミュニティボードを設置し、地域住民の団体活動への参加を促すことで、コミュニティ形成をサポートします。



サークルの紹介

【スポーツタイムの導入】Point

私たちは、個人が特定のスポーツに触れる機会として「**スポーツタイム**」を導入します。

種目は、卓球・バドミントン・バスケットボール等を計画しており、団体スポーツに個人で参加することで、その個人の集まりが地域コミュニティとなり、自主的活動にも繋がることを最終的な目標としています。

【成果発表会の開催】

回数を重ねるごとにスキルアップを図っていく教室は、参加者同士の連帯感を醸成し、利用者同士のコミュニティ形成に優れています。

代表企業は、全国の施設でバレエ教室やフラダンス教室等の受講生による**成果発表会**を実施することで、定期的な目標を設定し、サークル活動の支援を行っています。

また、**市や指定管理者主催のイベントに合わせて開催**することで、イベントの更なる賑わい創出に貢献しています。

成果発表会の開催事例	
青葉スポーツセンター	九条スポーツセンター
横浜市主催の「ダンス・ダンス・ダンス」に合わせて開催	指定管理者主催の施設無料開放イベントに合わせて開催

【ホームページ・SNS でのサークル紹介】

私たちは、施設の HP や後述するタウンニュース社による施設独自の SNS を用いて、本施設で活動する**各サークルをインターネット上で紹介**します。

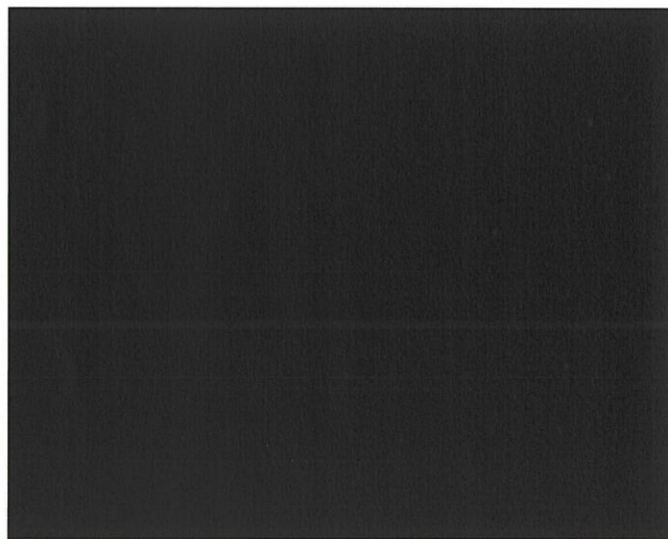
サークルの活動普及に努め、施設の活性化はもちろん、サークル員の増員等、区民のより良いサークル活動に貢献します。

【合同卓球大会の開催】Point

代表企業は、多数の運営実績を持つ**チェーンメリットを生かし**、運営施設の合同卓球大会を主催しています。

教室参加者の継続意欲を高めるほか、成果を発揮する場、他の利用者と交流する場として、様々な効果をもたらします。

大会は回数を重ねる毎に口コミで広がり定着し、参加者が増加しており、サークル作りにも寄与しています。



施設の効用の最大限発揮

リピーターを増やすアイデア

【代表企業開発の健康アプリ】Point

代表企業は、スマートフォンでカロリー管理できる**ダイエット支援アプリを開発**しています。

グーグルアプリのレビューでも高い評価を得ており、本施設利用者にも紹介し、運動効果を高めることはもちろん、本施設外での健康づくりを応援します。



【様々なイベントを通じた利用促進】

リピーターを増やす策として、七夕やクリスマスツリー等のイベント時に、利用者と一緒に施設の飾り付けを行い、施設に賑わいを創出します。

年間を通じて、季節に応じた様々なイベントを企画します。

企画内容	開催時期	イメージ	企画内容	開催場所	イメージ
新学期今年のご目標	4月		走って日本一周	10月	
鯉のぼりみんなでつくろう	5月		勤労感謝の日お疲れ様	11月	
テルテル坊主で梅雨を乗り切ろう	6月		サンタさんから手紙を買おう	12月	
七夕に願いを	7月		新春書き初め	1月	
泳いで日本一周	8月		節分の豆まき	2月	
おしいちゃん・おばあちゃんありがとう	9月		誰まつりだ私の将来の夢	3月	

【空き時間帯の有効活用「宿題やっつけタイム」】Point

市では、青少年の健やかな成長を支援し、青少年の居場所づくりを進め、地域における教育機能向上を推進しています。

平日夕方の利用率は、一般的に稼働率が低い傾向ですが、本施設においても研修室のE枠(17~19時)が84%と最も低くなっています。

私たちは、利用の少ない時間帯の研修室を開放し、「**宿題やっつけタイム**」として自習できる環境を提供します。



宿題やっつけタイムの実施

【快適な利用環境の提供】

本施設の第一体育室には、空調設備が無く、現在スポットクーラーが貸出されていますので、私たちも同様に**スポットクーラーを調達し貸出**します。

快適な環境を提供することで、リピーターを増やします。



スポットクーラー

【スタンプラリー・回数券】Point

新規の個人利用者に対して、初期の運動習慣定着のために、利用10回でワンコイン教室が無料となる**スタンプラリー**を実施します。

また、運動習慣を定着させるために、回数券を販売し、1回券の利用者には、積極的に受付職員が案内します。



スタンプラリーの実施

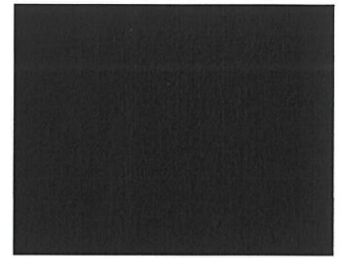
施設の効用の最大限発揮

【血圧・体組成の測定会】

運動を行うことで効果を実感してもらえよう、トレーニング室に設置する**血圧計や体組成計で測定会**を開催します。

日々の運動の成果を確認して頂く機会を設定することで、測定のハードルを下げ、結果を基に、次なる目標を明確にします。

定期的に測定することで、運動へのモチベーションに繋がります。



体組成の測定風景

【施設空き枠ボードの設置】

私たちは、施設の空き枠を記載したボードを館内に整備することで、利用者に対して、空き状況を可視化します。

追加で施設を利用したい場合にも効果的で、ボードを見てから追加で1時間借りる方も少なくありません。

利便性を向上することで、さらなる来館を促進します。



施設空き枠ボードの設置

休館明けの利用促進

【休館中の広報活動】

次期指定期間に予定されている工事休館により、運動習慣が途切れないよう、様々な利用促進策を図ります。

私たちは工事休館中、ホームページ上で、**工事の進捗状況を月に1回更新**することで、利用者への情報提供を行うほか、長期休館が明ける際の広報は、通常時よりも幅広い媒体を活用して、リニューアル開館を一人でも多くの方にお伝えします。

【再開イベントの開催】

長期休館が明けた際には、**再開イベント**を行い、開館を楽しみに待たれている方を歓迎します。

施設の無料開放や、スポーツ教室の体験イベント、パラスポーツ体験会等を開催して、これまで利用されていた方だけでなく、本施設を利用されたことがない方も楽しめる内容とします。



再開イベント

【スポーツ教室早期割引】

休館明けのスポーツ教室の参加促進のため、**早期割引キャンペーン**を実施します。

3か月以上前の申し込みを頂いた場合は、1回分を無料とする特典とします。早期に申込を頂くことで、以前、スポーツ教室に通っていた方の復帰を促進します。



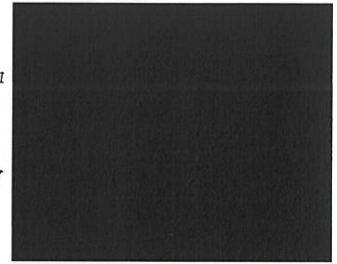
スポーツ教室早期割引

施設の効用の最大限発揮

【オンライン運動動画「1min-studio」の活用】Point

代表企業では、Instagramにて「#もっと気軽に運動を」をコンセプトに運動動画「1min-studio」を作成しています。

休館期間中は、自宅のできる運動動画をホームページに掲出し、日々の運動習慣を継続を促します。



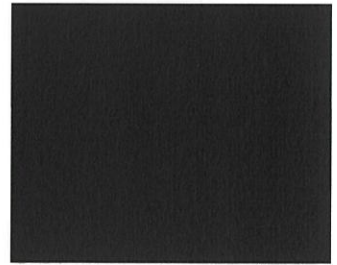
オンライン動画の活用

【屋外での教室】

休館中は、**施設外を活用した利用促進**を行います。

ノルディックウォーキングは、通常のウォーキングよりも、上半身の筋肉を使い、効果的な有酸素運動として注目されています。

区と協議の上、周辺を活用した教室を展開します。



ノルディックウォーキング教室

【チェーンメリットを活用したスポーツ教室体験会】Point

私たちは、休館中にも運動習慣を継続頂くため、区内地区センターや代表企業のチェーンメリットを活かして、直営施設の上大岡店や周辺のスタジオを活用した、**教室体験会**を実施します。

また、工事終了後、供用開始までの期間に教室体験会を実施し、休館明けの離脱を防ぎます。なお、実施に当たっては、区と相談の上、適正に行います。

個人利用者への支援の取組み

【トレーニング室利用者への問診】

トレーニング室を初めて利用する方には、**問診カード**にて、体調チェックを行います。

問診カードは、5回目まで利用できるため、初回以降の利用状況を把握するとともに、問診のたびに職員からの声かけをすることができ、利用促進に効果的なツールです。

【初心者説明会の常時開催】 Point

現在、トレーニング室では、初心者講習会が実施されておらず、初回利用者は、個人情報や普段の運動状況等を記入して職員に渡すだけの運用です。

私たちは、誰でも気軽にトレーニングができる環境とするため、初心者説明会を**事前予約なしで常時受講できる体制**とします。

トレーニング講習会		
	現状	提案
開催時間	開催されていない	常時
料金	-	無料 (トレーニング室利用料に含む)
内容	<ul style="list-style-type: none"> 職員挨拶、自己紹介、館内案内、利用上の注意、実施プログラム紹介 体調チェック ストレッチ方法説明 トレーニング機器利用案内 質疑応答 今後の利用時の流れ ※受講者がトレーニング経験者であることが確認できる場合は、機器の説明を短縮	

初めての来館者がトレーニング経験者である場合には、必要な情報のみの説明とします。

施設の効用の最大限発揮

【トレーニング室の全面リニューアル】Point

現在のトレーニング室はシートが破れている等、全体的に老朽化が進んでいるほか、荷物台がない等、改善すべき点が多い状況です。

そのため、私たちは、定着している利用者のに影響が出ないよう、機器のラインナップはそのままに**トレーニング室の全リニューアル**を行います。

また、床にはカーペットを張ることでクッション性が増し、快適性や部屋全体の印象を大きく変えます。

さらに、現在使われていない相談室に、新たに**女性や高齢者等の初心者・低体力者向け**の油圧式トレーニングマシンを設置することで、新たな利用の創出も図ります。

その他にも現在の課題に全て対応することで、利用の快適性が向上するだけでなく、部屋が刷新されることで、管理者が変わり**新たなサービスが開始される印象**を与えることができます。

現在のトレーニング室の課題(抜粋)	
①	視察情報 マシンが老朽化し、シートが破れていたり使いづらい。 対応策 全てのマシンを最新のマシンに更新する。
②	視察情報 荷物置き場がなく、利用者は受付カウンターや窓際にペットボトルやタオルを置いている。 対応策 利便性向上のために荷物棚を設置する。
③	視察情報 マシンの向きがバラバラで使いづらい。 対応策 配置を変更することで導線の確保を行う。
④	視察情報 ストレッチをする場所(マット)がない 対応策 ストレッチマットを設置し、ストレッチエリアを確保する。
⑤	視察情報 勤務中のスタッフがトレーニングをしたり、食べ物を食べたりしている。 対応策 代表企業の豊富な研修を受けたスタッフを配置する。
⑥	視察情報 利用者が電話をしてもスタッフが注意をしない。 対応策 代表企業の豊富な研修を受けたスタッフを配置する。
⑦	視察情報 相談室が荷物置き場等として使われている。 対応策 高齢者向けの油圧マシンコーナーを設置することで新たな利用を創出する。

トレーニング室レイアウト(案)

全体提案



老朽化した機器の全更新
(左)破れたシート(右)経年したベンチ台



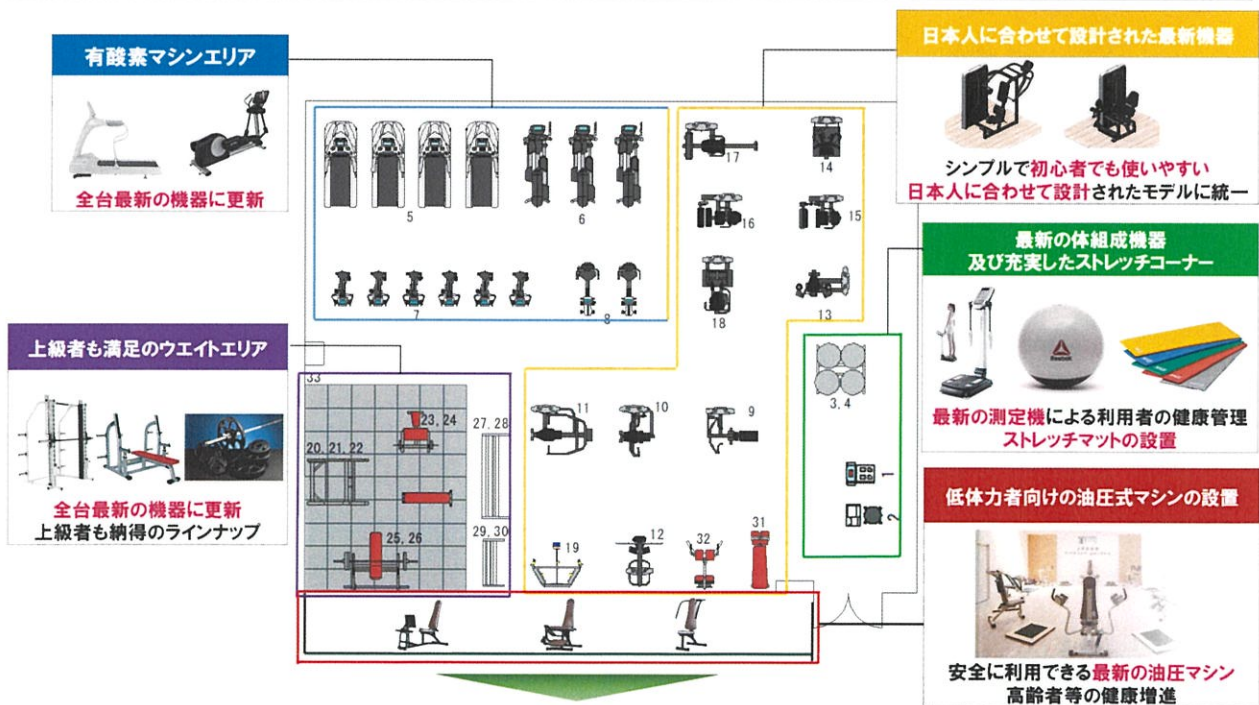
荷物台の設置



床をクッション性のカーペットに変更



コロナ対策のパーティション設置



現在利用されていない相談室を低体力者のための油圧式マシンエリアに更新

施設の効用の最大限発揮

【主要トレーニングマシンのラインナップ】Point

本施設の指定管理者には、性別・経験・体力差を問わず、あらゆる利用者が安心して「健康と体力の増進」に臨むことができる環境づくりが必要です。

現在のトレーニング機器は、主に海外メーカーの機器が導入されているため、初心者や女性・高齢者にとって、利用しやすい状況ではありません。

私たちは、主要な機器を国内メーカーであるセノー社の**日本人に合わせて設計されたモデルに統一**して更新することで、全ての利用者が利用しやすい環境を整えます。

現在設置されている多種多様なラインナップを損なうことなく、利用者の支援に取組みます。

主要マシンのラインナップ

チェストプレス	運動の種類	効果・メリット等	アダクション & アブダクション	運動の種類	効果・メリット等
	<筋力> 胸や肩のトレーニング	・安全性が高く、初心者でも正確なフォームで実施可能 ・バランスを崩す心配がなく、効果的にトレーニング可能		<筋力> 内転筋のトレーニング	・股関節周りの筋肉を鍛え、体幹や小顔にも効果的 ・姿勢をきれいに改善したり、基礎代謝の向上に効果的 ・分かりやすい操作方法で、高齢者に人気高い
フライ	運動の種類	効果・メリット等	ロータリートーン & ツイスト	運動の種類	効果・メリット等
	<筋力> 胸のトレーニング	・ストレッチによる刺激で大胸筋の内側と外側をバランス良く鍛えることが可能		<筋力> 腹筋のトレーニング	・普段鍛えづらい脇腹をマシンを使って簡単に鍛えることが可能
ショルダープレス	運動の種類	効果・メリット等	デュアルアジャスタブルプーリー	運動の種類	効果・メリット等
	<筋力> 肩のトレーニング	・単純な肩の筋肉だけでなく、体幹や小顔にも効果的 ・姿勢をきれいに改善したり、基礎代謝の向上に効果的 ・様々な可動域が使える		<筋力> 全身のトレーニング	・アタッチメントにより、様々なトレーニングが可能 ・負荷が逃げづらく、狙った部位を集中的に鍛えられる
ラットプルダウン	運動の種類	効果・メリット等	ラポード	運動の種類	効果・メリット等
	<筋力> 背中 のトレーニング	・背中から肩にかけての筋肉を鍛え、肩こりにも効果的 ・安全性が高く、初心者でも正確なフォームで実施可能 ・分かりやすい操作方法で、高齢者に人気高い		<持久力> 有酸素 トレーニング	・速度や傾斜が調節でき、自分のペースでランニングやウォーキングができる ・消費カロリー等も表示され、運動の記録ができる
シーテッド・ロー	運動の種類	効果・メリット等	クロストレーナー	運動の種類	効果・メリット等
	<筋力> 背中 のトレーニング	・縦・横のグリップとシート調節によって、上背部の隅々までトレーニングすることが可能		<持久力> 有酸素 トレーニング	・上半身と下半身が同時に鍛えられ、効率よく有酸素運動をすることが可能 ・消費カロリー等も表示され、運動の記録ができる
レッグプレス & カーフレイズ	運動の種類	効果・メリット等	アップライトバイク	運動の種類	効果・メリット等
	<筋力> 下半身の トレーニング	・下半身の引き締めにも効果的でありスクワットより簡単 ・安全に実施でき、且つ自分のアレンジ次第で、様々な部位をトレーニングすることが可能		<持久力> 有酸素 トレーニング	・直立した体制で自転車をこくことで体幹も鍛えられる ・消費カロリー等も表示され、運動の記録ができる
レッグカール	運動の種類	効果・メリット等	リカレントバイク	運動の種類	効果・メリット等
	<筋力> 下半身の トレーニング	・太股の後部を集中して鍛えることができる ・ヒップアップ効果や下半の安定させる効果がある		<持久力> 有酸素 トレーニング	・アップライトバイクにはない背もたれがあり、高齢者の方や体力に自信のない方でも使いやすい ・消費カロリー等も表示され、運動の記録ができる
レッグ エクステンション	運動の種類	効果・メリット等	油圧式マシン	運動の種類	効果・メリット等
	<筋力> 下半身の トレーニング	・太股の前部を集中して鍛えることができる ・普段使わない膝上の筋肉を鍛えることが可能 ・膝痛の改善に効果的		<筋力> 全身の トレーニング	・体に急な負荷がかかることが無い ・筋肉痛や肉離れが起きにくく安全 ・高齢者等、体力のない方でも安心して使える構造

【トレーニングベルトの貸出】

私たちは、利用者が安全・快適にトレーニングできるように、**SS から L の 4 サイズのトレーニング用ベルトを用意**し、貸出を行います。



トレーニングベルトの貸出

腹圧を高めることで、パフォーマンスが向上するだけでなく、怪我の予防にも効果的です。

上級者が使用するイメージがありますが、トレーニングに慣れていない**初心者こそ怪我を避けるために使用するべき**であり、分かりやすい貸出案内や声掛け等を積極的に行います。

施設の効用の最大限発揮

【目的別トレーニング方法の掲示】

トレーニング室には、運動不足解消やダイエット等、様々な目的の方が来館されるため、**目的別のトレーニング方法を紹介**し、どのような方でも効果的なトレーニングができるよう支援します。



目的別トレーニングの掲示

【体育室でのスポーツタイム(個人開放)】

本施設では、卓球・バドミントン・バスケットボール・フットサル・バレーボール・太極拳といった種目において、予約不要で集まった方々で楽しむ**スポーツタイムを開催**しています。

チームに所属していなくても、個人で参加することができ、スポーツのきっかけづくりに寄与しています。

この施策を継続することはもちろん、時間延長の中で、さらにサービスを拡充します。

オンライン決済やキャッシュレス決済等の提案

【券売機をキャッシュレス対応へリニューアル】Point

本施設の券売機は、キャッシュレスに対応しておらず、受付にて支払う必要があります。

私たちは、**キャッシュレス対応券売機にリニューアル**し、支払いにかかる時間を短縮することで、利用者の利便性向上と、受付職員の業務効率化を実現します。

また、事務所のバックヤードには、多数の職員が事務作業をしている光景を確認しましたので、職員の業務効率も効果的であると想定しています。



【駐車場管理機器の更新】Point

現在、駐車場ゲートに精算機能がなく、館内の事前精算機を使わないと出られないため、精算を忘れた場合は館内に戻らなければならず、ゲートの機械そのものも老朽化が進んでいます。

私たちは駐車場管理企業最大手の

タイムズと連携し、ゲートでも精算できるだけでなく、**高額紙幣、キャッシュレス対応の精算機**を導入し、利用者の両替の手間を軽減し、利便性向上と精算時のストレスを軽減します。

項目		対応	駐車場ご提案事項
機器ユニット		更新	運営管理体制
高額紙幣		○	<ul style="list-style-type: none"> ・24時間コールセンター対応 (トラブル・クレーム等) ・集金・巡回・機器保守 ・消耗品交換(駐車券)
クレジットカード		○	
電子マネー		○	
割引認証機		○	
事前精算機		○	

【教室のWEB申込み】

教室の申込みは、往復はがきでの申込みに加え、施設 HP から申込みをすることで、利用者の利便性向上を図ります。



教室のWEB申込み

施設の効用の最大限発揮

(2) 広報・利用促進活動

PR 活動の提案(利用案内、HP、広報誌等)

【幅広い広報活動】Point

広報は施設の玄関口という意識の基、様々な手段で広報を実施する**メディアミックス**により、より多くの施設情報を発信します。

ホームページやチラシ等のオウンドメディアはもちろん、地域メディア、広報よこはま南区版、タウンニュースや神奈川新聞等の広域メディアを活用します。

また本施設近隣の**町内会**にご協力頂き、回覧板による地域住民の方への施設告知を行います。

幅広い広報手段

媒体	ホームページ	パンフレット	チラシ	SNS	広報よこはま南区版	タウンニュース神奈川新聞
対象	全利用者	来館者	各施設周辺居住者	若年層	高齢者	地域住民
内容	施設内容や事業等全般の情報	施設内容	事業トピックス	利用者からの発信	事業トピックス	施設内容トピックス
頻度	随時	随時	年4回以上	随時	毎月	随時

【興味を引くチラシ・パンフレットの配置】

分かりやすく、親しみやすいパンフレット、チラシを作成することで、少しでも多くの方に興味・関心を持って頂き、本施設の利用を促します。

また、視界に入りやすい入り口付近にイベントのチラシを配置し、利用者にイベントを知ってもらい、参加のきっかけづくりを行います。



興味を引くパンフレットの作成

【施設独自のホームページ(スマートフォン対応)】

現在のホームページは右図のような改善点がありますので、新たに本施設のホームページを開設計し、誰もが見やすく気軽に情報を収集できるようにします。

スマートフォン対応や、**ウェブアクセシビリティ**に対応することで、閲覧しやすくします。

ホームページ改善事項(案)

- ・最寄り駅から施設までの**詳細なアクセスルート**を記載する
- ・自宅のできる**トレーニング方法**を動画で紹介する
- ・外国人に配慮した**英語表記**の導入する
- ・高齢者に配慮し、文字サイズの大中小を調整可能とする
- ・色弱者に配慮し、サイトの色味を白黒に変更可能とする

【タウンニュースによる SNS 運用】Point

市内に本社を構えるタウンニュース社により、**本施設独自の SNS を運用**します。

媒体は Twitter (ツイッター) を予定しており、イベントや教室等のトピックスを月 4~5 回程度配信し、旬な話題をタイムリーに届けます。

地域に根差した SNS 運用となるよう、南区民ニーズに沿った情報発信を行います。

施設の効用の最大限発揮

【タウンニュースによる情報発信】Point

タウンニュースは、**市内に本社**を構え、神奈川県内のニュースを発信する地域メディアであり、本施設で実施されるイベント等の広報に協力を頂くことを既に協議しています。

既に代表企業が指定管理者を務める川崎市とどろきアリーナでは、施設でのイベント等はもちろんのこと、総括責任者の取材を頂く等、全面的な広報活動を行って頂いています。

地域に根差したメディアを活用して、本施設の魅力を多くの方に届けます。



【神奈川新聞による情報発信】Point

神奈川新聞は、明治23年に創刊され、**神奈川県下19万部**を発行する新聞社であり、WEBニュース「カナロコ」も発行しています。

私たちは、同新聞社と協議を行っており、本施設におけるイベント等の広報に協力を頂くことになっています。

幅広い世代に情報を届けることができる地域メディアを活用します。



利便性向上、利用者還元についての提案

【館内トイレのウォシュレット化】Point

ウォシュレットが普及する中、本施設は、ウォシュレット機能がついているトイレが一つもありません。

トイレの満足度は、施設の満足度に直結するため、私たちは、館内の**洋式トイレをウォシュレット化**します。

台数が多いため、導入は仕様の金額以上に予算化している修繕費や備品費の執行状況を見ながら、**指定期間中に全台更新**します。



トイレのウォシュレット化

【分かりやすい館内サインの更新】Point

本施設は、館内のサインが老朽化して分かりづらいほか、多言語案内等の時代に合った案内が出来ていません。

私たちは、**館内全体のサインを更新**し、年齢や国籍を問わず、一目で分かるようなデザインとし、施設全体の雰囲気を一新します。

また、デザインは、南区のローマ字の頭文字「M」を模したデザインを取り入れ、**南区の人々が楽しく活発に運動をし、生活の中でより輝いていけるように**という願いを込めています。



館内サインの更新

デザインモチーフ

分かりやすいイラストや多言語での案内

その他サイン配置例

施設の効用の最大限発揮

【館内放送の導入】Point

私たちは、**館内放送**を実施します。

館内放送では施設の利用マナーや、多言語放送を行い、夏場は脱水症状を予防するため、利用者へ水分補給や体調管理を促します。

また、通常時は、有線放送のBGMを流して、館内に賑わいをもたらす、民間スポーツクラブの運営企業ならではのノウハウです。

【忘れ物インフォメーションボードの設置】

現在、各施設には忘れ物に関する案内がなく、利用者自身が忘れ物をしたと認識して施設に連絡する以外に、忘れ物を知る方法がありません。

そこで私たちは、**忘れ物インフォメーションボードを設置**します。

忘れ物の情報を指定管理者から発信することで、利用者が自身の持ち物を確認し、持ち主を発見できる可能性が高まります。

【快適な利用環境の提供】

代表企業の運営施設では、障がい者の方が更衣をする際、介助者が異性の場合に使用できる更衣室が無



更衣室にカーテン設置



パウダーゾーンに椅子設置



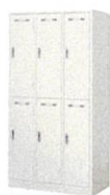
シューズのまま履ける
ジャンボスリッパの設置

いため、カーテンで仕切りを作り、利用可能としました。

本施設でも全ての方が快適に施設をご利用頂けるよう様々な環境整備を行います。

【利用環境の改善】

私たちは、上記の取組みのほか、利用者の利便性向上のため、以下の取組みを実施します。



更衣室ロッカーの一部更新



Wi-Fi環境の整備



携帯電話充電サービス

最新の情報提供ができる仕組み

【ロビーにデジタルサイネージ設置】

来館者の利便性を向上させる演出として、施設入口に**デジタルサイネージ**を設置します。

画面切り替えにより多くの情報を提示することができるため、当日の教室・イベント等の案内だけでなく、地区センター及び地域ケアプラザの情報や南区の情報も発信し、効用を最大限発揮させます。



デジタルサイネージの設置

施設の効用の最大限発揮

【トレーニング室混雑状況の HP 配信】Point

私たちは、インターネット上で**トレーニング室の混雑状況がリアルタイムにわかる「ネコの目システム」を導入**します。

本機能は代表企業の管理施設で多数の導入実績があり、混雑状況を可視化することで、混雑時の来館が減ることから、三密空間の回避にも繋がり、利用者満足度も向上します。



混雑状況のリアルタイム配信

【健康づくり新聞による情報提供】

私たちは、健康増進や体力づくりに役立つ最新の運動法や、栄養・食生活に関する情報等を掲載した**「健康づくり新聞」を定期発行**します。

代表企業が現指定管理者として運営している青葉区スポーツセンターでは施設内の掲示にとどまらず、**近隣住宅への配布を実施**し、施設利用者以外の区民にも展開しており、市の第三者評価でも高く評価を頂いてます。



健康づくり新聞

【オンライン運動動画の活用】Point

代表企業では、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の期間中、自宅等で簡単にできる**オリジナル運動動画を毎日配信**しました。私たちは、スポーツセンターのホームページでも閲覧できるようリンク設定を行います。

また、現在では、インスタグラムにて「#もっと気軽に運動を」をコンセプトとした、1分動画**「Imin-studio」**を作成しており、with コロナ時代の新たなサービスとして、館内や HP に「Imin-studio」を紹介します。



オンライン動画の活用

新しい利用者を発掘するためのアイデア

【デジタルマーケティングの推進】Point

代表企業では、ホームページを訪れた人の属性や閲覧したページを分析できる**「グーグルアナリティクス」**を活用し、常にわかりやすいホームページ更新を心がけています。

利用者がどのような情報を求めているかを、ページビューという形で可視化でき、その結果に沿った効果的な情報掲載の仕方、利用者の利便性や施設への興味を向上させます。

単なる施設情報の掲載だけでなく、**デジタルマーケティングを推進**し、広報の充実を図り、関心を持った方が、施設に足を運ぶよう取り組みます。



デジタルマーケティングの推進

【横浜市民施設協会との連携】

私たちは、大岡地区センター、六ツ川スポーツ会館、区内の地区センター、コミュニティハウス等を指定管理者と連携した広報活動を行います。

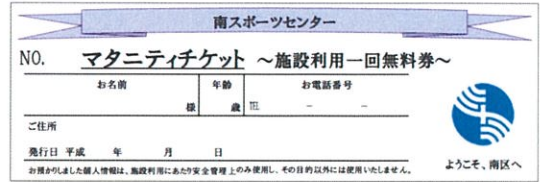
同協会の管理運営する地区センター、コミュニティハウス等に本施設で開催されるイベント等のチラシを設置することにより、利用者の情報入手機会を増やします。

施設の効用の最大限発揮

【マタニティチケット(子育て世代支援策)の導入】Point

南区では年少人口の割合が市内で最下位となっており、課題とされています。

母親の精神衛生上有効であるため、子育て世代支援策として、区と相談の上、妊娠中の方に対して産後に本施設の教室が1回無料となる「マタニティチケット」を配布します。



【施設無料開放デーの開催】

私たち、記念日やイベントに合わせて定期的な**施設無料開放デー**を開催し、新たな利用者を増やします。

代表企業の運営する施設では、1日で**3,000人以上の来館を記録**する無料開放デーもあり、スポーツ振興に大きく貢献しています。

様々な無料開放	
イベント日	無料対象
子どもの日	子ども
七夕	夫婦
敬老の日	60歳以上

【ランニングステーション機能の設置】

昨今のランニングブームにより、本施設周辺でも多数のランニング愛好家がいらっしゃいます。

私たちは、ウォーキングやランニングをされる方がシャワー利用のみの料金で利用できるよう、スポーツセンターにランニングステーション機能を持たせます。



ランニングステーション機能の設置

【個人開放時における用具の無料貸出し】

私たちは、スポーツ用具を持っていない初心者の方でも、気軽に個人利用に参加頂けるよう、**個人開放を実施している種目の用具を引き続き貸出**します。

現在、実施されている貸出し備品はもちろん、利用者が持参されたボールの空気が抜けている場合に備え、空気入れを準備します。



【インクルーシブスポーツ体験会】Point

運動経験や障がいの有無に関わらず、誰もが取組めるスポーツとして、インクルーシブスポーツが注目されています。

さわやかスポーツに加えて、ボッチャ、卓球バレー、風船バレーの備品調達を予定しており、**インクルーシブスポーツ体験会**を開催します。

運動になじみの無かった方や、運動経験の少ない方がスポーツの楽しさを味わえる機会を提供します。



ボッチャ体験風景

施設の効用の最大限発揮

【会議室へのプロジェクター設置】

代表企業が運営する類似施設では、プロジェクターを新たに設置したことで、会議室としての稼働が伸びた実績があります。

私たちは、**新たにプロジェクターを貸出し**することで、研修室の稼働率向上に繋がります。

地元町会や市内の企業等向け広報し、会合や社内会議での利用も促進します。



プロジェクターの貸出

【医療機関との連携】

医療機関と連携した取組みとして、青葉スポーツセンターでは、昭和大学藤が丘リハビリテーション病院のご協力の基、専門性を活かした心臓リハビリ教室の開催や、受診者にスポーツセンターの利用をご紹介頂く等、従来のスポーツセンター利用者とは異なる層へのきっかけ作りを行っています。

超高齢化社会が到来している横浜市において、「医療との連携」は必要なキーワードであり、本施設においても、近隣医療機関との連携を図ります。

【トップアスリートイベントの実施】Point

私たちは、普段スポーツに関心がない方に施設を知ってもらうきっかけづくりとして、**トップアスリートイベントを開催**します。

既に、アスリートマネジメント会社と人選を進めており、確実に実施します。

施設の特徴を生かし、**様々な屋内競技のアスリートイベント**を行います。

トップアスリートによるイベント招致案			
サッカー	野球	バスケットボール	バドミントン
			
横浜F・マリノス Jリーグに加盟 プロサッカークラブ	横浜DeNAベイスターズ 日本プロ野球球団 セントラル・リーグ所属	横浜ビー・コルセアーズ B.LEAGUE所属 プロバスケットボールチーム	小橋 久美子 2008年 北京オリンピック出場
柔道	車いすバスケ	車いす陸上	パラ卓球
			
谷本 歩実 2008年 北京オリンピック 金メダル	京谷 和幸 車いすバスケットボール 男子日本代表 ヘッドコーチ	廣道 純 2004年 アテネパラリンピック 銅メダル	岩瀬 幸洋 2016年 リオデジャネイロパラリンピック 出場

【南スポーツセンター見学会】

近くを通ったことはあるものの中に入ったことが無い方や、始めたいけど不安があるという方へのきっかけ作りとして、**南スポーツセンター見学会**を開催します。

館内の見学を通じて、ホームページ等では分からない施設内容を見て頂き、利用にあたっての疑問や不安を取り除く場とします。

今後も定期的実施して、関心のある方が一歩踏み出すきっかけを提供します。

【21時以降の開館時間の延長】Point

本施設は、施設周辺に住宅が多く、夜間人口が多いという地域特性があり、利用区分 F (19:00～21:00) の稼働率はどの居室も 90%を超えています。

これらの状況を踏まえ、私たちは、**21時以降の開館時間を延長**し、仕事帰りの会社員等の利用を促します。

施設の効用の最大限発揮

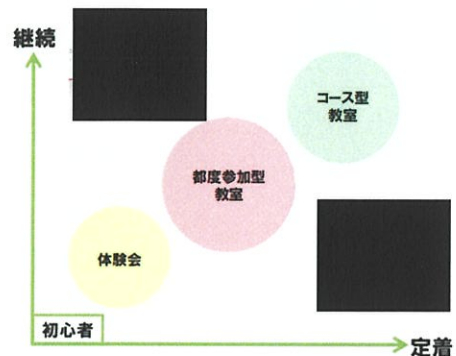
(3) スポーツ教室等の計画

スポーツ教室の実施方針

【気軽にスポーツに親しめる環境づくり】

横浜市スポーツ推進計画のアンケートによると、「どのような点が変わればスポーツ・運動を行うようになるか」に対し、「利用料金、参加料金が安くなれば」が25.4%であり、スポーツ参加のハードルを低くすることが大切です。

私たちは、初心者の方から**継続・定着**へ向けての**ステップ**を用意し、誰もが参加しやすい環境を提供します。



【現在実施中のプログラムの継続】

現在、本施設では以下のプログラムが開催されており、延べ約9万人以上の参加者がいらっしゃいますので、**原則、継続**を予定しています。

継続に当たっては、現指定管理者から内容・講師に関する引継ぎを行い、参加者への影響が最小限となるよう対応を行います。

なお、区民ニーズや安全の観点から、縮小すべき事業は区と相談しながら対応します。

主な既存の教室一覧					
親子体操	ジュニアバレエ	ベーシックピラティス(火)	スタイリッシュBODYクラブ	ジュニアヒップホップゴールド	水曜モーニング
親子リトミック	わくわく健康体操	ステップアップピラティス(金)	背骨強制&ヨガストレッチ	ジュニアヒップホップシルバー	フィットネスヨガ
幼児体操(年中)	らくらく頭スッキリ	やさしいピラティス(水)	氣功	横浜マリノスふれあいサッカー教室	からだスッキリヨガ
幼児体操(年長)	意気揚々	木曜ピラティス	太極拳	インナーシェイプヨガ	木曜タイム
入門体操塾!	楽しく運動しよう	フラメンコ	卓球①	深めるヨガ	金曜モーニング
火曜幼児フットサル	からだ改善	バレトン	卓球②	火曜モーニング	バレーボールタイム
火曜ジュニアフットサル	はつらつ	ベリーダンス木曜	金曜卓球	リフレッシュヨガ	カーディオキックMAX
金曜幼児フットサル	基礎体力	ベリーダンス金曜	朝のバドミントン	太極拳タイム	ZUMBA10
金曜ジュニアフットサル	エンジョイ	ベーシックフラダンス	夜のバドミントン	バスケットボールタイム	フットサルタイム
火曜少年フットサル	骨盤コンディショニング	初めての! 社交ダンス	絵手紙	ZUMBA19	マインドフルネス系ヨガ
キッズチアダンス	木曜骨盤調整①	YES! 社交ダンス	達筆への道	ゆがみ改善ヨガ	ヨガみーるハイパー
ヒップホップダンス	木曜骨盤調整②	ココロとカラダのヨガ(水)	姿勢デザイン教室	ZUMBA9	横浜マラソンチャレンジ 幹事業栄養講座

【プログラムの確実な引継ぎ】

私たちは、全国で207施設の指定管理実績があり、その数だけ引継ぎも経験しています。

引継ぎの中でも最も重要な、教室内容の引継ぎや講師との連携についても、**スケジュールが**

確立されており、スポーツ教室の確実な引継ぎをお約束します。

プログラムの引継ぎスケジュール

項目	準備期間		指定期間開始
	令和3年12月	令和4年1月	4月
プログラム 現指定管理者との引継ぎ等	・プログラムの見学・内容共有 ・外部講師・協力団体の共有と引継ぎ協議	・新規講師の選定 ・4月開始プログラムの決定 ・4月開始プログラムの申込対応	・4月プログラム開始
	・講師・業務委託契約締結 ・4月開始プログラムの抽選・入金等 ・講師研修	・職員研修 ・講師研修 ・プログラム準備	

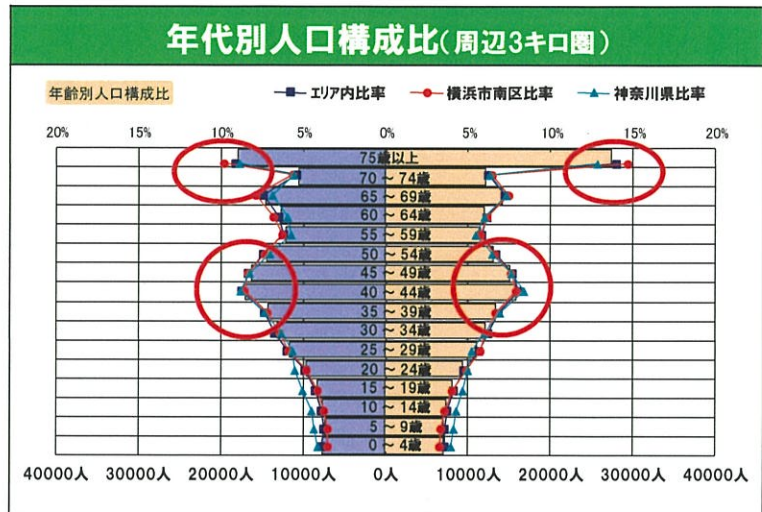
施設の効用の最大限発揮

【施設周辺マーケットを捉えた計画】

地域に根付いた事業を行うため、本施設周辺のマーケット分析を行いました。

本施設周辺の年代別人口構成比は、南区比率と大きな相違はなく、高齢者と団塊ジュニア層が多くなっています。

また、外国人人口が 10,520 名（令和 3 年 5 月末）と、中区・鶴見区に次いで多く、中国・韓国・フィリピン国籍の方が 1,000 名を超えています。このマーケット分析を踏まえ、**地域特性を捉えた計画**とします。



【全国の経験を踏まえた地域ニーズへの対応】

私たちは、直営スポーツクラブ運営で培ったノウハウにより、子どもから高齢者までの多世代や、初心者にも配慮したスポーツ教室を実施します。

また、洋光台支店、上大岡支店等、代表企業が運営する全国の施設では、多彩な教室を**週に約 30,000 教室以上**開催し、**幅広いラインナップを保有**しています。

地域ニーズにいち早く対応し、誰もが気軽に参加できる環境を提供することが可能です。

全国で展開している主なスポーツ教室(例)

種目	エアロビクス	ステップ エクササイズ	コンディショニング エクササイズ	格闘技 エクササイズ	リラクシング エクササイズ	体操 エクササイズ	子ども
プログラム	リズム&ストレッチ シンプルエアロ ジャサイズライト シェイプエアロ ワークアウトエアロ45 ジャサイズ テクニカルエアロ メガダンス	シンプルステップ シェイプステップ テクニカルステップ X55 ロコモ・フィット ロコモ・コア ステップ・アップ	ウエストシェイプ スーパーVメーカー シンプルピラティス ボディバンプ30 ボディバンプ パワークロス コアクロス コアニュートラル マットニュートラル ハイパーワークアウト	ボディコンバットテック ボディコンバット30 ボディコンバット45 ボディシェイプ・ ボクシング スマッシュファイター ボディコンバット ボクシング・ エクササイズ	ストレッチ シンプルヨガ ピラキスヨガ ヨガ ボディバランステック ヨガ ボディバランス ストレスフリー アロマリラックス 氣功	青竹エクササイズ 肩こり腰痛ケア体操 チューブ体操 ダンベル体操	子ども体育教室 子どもダンス教室 子どもジュニア チアダンス教室 子ども空手教室 子どもコーディネーション KIDSサッカークリニック 走り方教室(徒競走) 子どもテニス教室
イメージ	[Image content obscured]						

【提供するサービス品質の平準化】

指導員による教室サービスの品質にばらつきが生じないように、全指導員に対し定期的な品質チェックを行い、**品質の平準化**及び向上を実施します。

また、教室の充足率 100%を達成した講師には、表彰を行い、モチベーション向上の取組みを行います。

施設の効用の最大限発揮

多種目かつ多世代向けの教室

■親子・子ども向けスポーツ教室

【子どもダンス教室】

子ども向けのダンスのニーズが飛躍的に高まっており、本施設でも、ヒップホップ等のダンス教室を開講します。

また、継続のモチベーションを高め、達成感等を味わえる成果発表会を定期的を開催します。

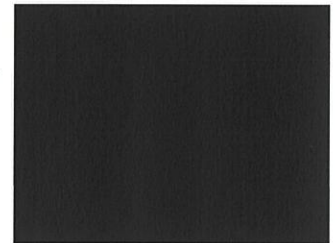


ダンス成果発表会の様子

【走り方教室】

走り方教室は、子ども向け健康づくりのノウハウが詰まった内容です。

市内にキャンパスを構える**日本体育大学の陸上部にも協力**を頂き、より本格的な指導を受けられる機会を提供します。



子どもの走り方教室

【体育教室】

小学1年～3年生を対象に、体育教室を実施します。

運動への苦手意識を払拭することが、継続的な運動習慣につながり、そして健康的な身体作りを実現します。

数々のオリンピック選手を輩出した代表企業のノウハウを発揮し、1人でも多くの子ども達が、「運動が楽しい」と思ってもらえるよう、達成感を味わえる教室を行います。



体育教室

【キッズ教室体験会】

幼少期は、総合的な体力向上が大切であり、子ども自身の好みや向き・不向きが分からないため、幅広い運動体験が効果的です。

私たちは、子ども向けに、チアダンス・バレエ・ダンスの体験会を実施します。

今後も、習い事をするのが初めての子や、やってみたいけど続けるのには不安がある子に、**幅広い運動体験を提供**していきます。

【親子向けスポーツ教室】

私たちは、親子でリトミック教室や、親子体操教室を開催し、スポーツを通じた親子のコミュニケーション機会の創出を行います。

今後も、親子で気軽に参加できる事業を展開し、**子育てのしやすいまちづくり**に貢献します。



親子向けスポーツ教室

(様式 10)

共同事業体名 みなみスポーツ共創パートナーズ
施設名 横浜市南スポーツセンター 提 案 書

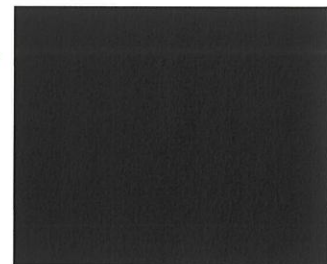
施設の効用の最大限発揮

【横浜 F・マリノスによるフットサル教室】Point

私たちは、横浜市を代表するプロスポーツチームである**横浜 F・マリノスによるフットサル教室**を新たに実施します。

習い事の多様化の中で、専門的な指導を受けたいというニーズが高まっており、プロスポーツチームによる指導でニーズに応えます。

同チームとは、事前に協議を行っており、選定された場合は、協力頂く旨の確約を頂いています。



横浜 F・マリノスによる教室

【横浜ビーコルセアーズによるバスケットボール教室】Point

横浜ビーコルセアーズは、プロバスケットボール B リーグに所属し、代表企業が指定管理者を務める横浜国際プールをホームアリーナとするチームです。

私たちは、次期指定期間、同チームによる**子ども向けバスケットボール教室**を開催する予定であり、既に協議済みです。

子どもたちに専門的な指導を受ける機会を創出することはもちろんのこと、試合観戦へのきっかけとなり、観るスポーツの振興にも寄与します。



横浜ビーコルセアーズの教室

【託児サービス付教室】Point

横浜市は、他の自治体よりいち早く待機児童問題に取組み、平成 26 年度には待機児童ゼロを実現しました。

私たちは、現指定期間者が託児サービスを委託している**保育ボランティアみなみ**との連携を継続します。

本施設周辺は子育て世代が多いため、申し込み状況次第で開催頻度を拡大を検討します。



託児サービスを継続

■成人向けスポーツ教室

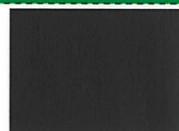
【全国で大人気のレスミルズプログラムの提供】 Point

全世界 100 ヶ国以上で展開されているレスミルズプログラムを開催します。

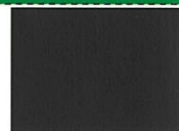
本プログラムは、市内の上大岡店や磯子店でも大人気の教室であり、**圧倒的な集客力**を誇っています。

トレンドを意識した新しいプログラム展開で、これまで運動になじみの無かった方を施設に呼び込み、利用者増を図ります。

区民の多様なニーズに応える「レスミルズプログラム」



【ボディコンバット】
空手・ムエタイ・ボクシングなどの格闘技のエッセンスを取り入れた格闘技プログラム



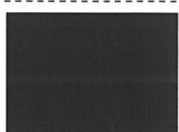
【ボディパンプ】
バーベルを用いた集団で行なう筋力トレーニング



【ボディバランス】
ヨガ・ピラティス・ストレッチなどの要素を取り入れたリラクゼーションプログラム



【ボディジャム】
ヒップホップやダンスの動きを取り入れ、音楽を楽しみながら行なうダンスプログラム



【ボディアタック】
シンプルかつダイナミックな動きで行なう高強度のエアロビクスプログラム



【レスミルズバーチャル】
大画面・CG効果で実施する爽快感のある新形態のプログラム

(様式 10)

共同事業体名 みなみスポーツ共創パートナーズ
施設名 横浜市南スポーツセンター 提 案 書

施設の効用の最大限発揮

【業界リーディングカンパニーのネットワークを活かしたライセンスプログラム】

代表企業では、レズミルズプログラム以外にも、ラディカル社の X55 やメガダンス等、**独自の契約が必要な世界で人気のライセンスプログラム**を多数実施しています。

代表企業の業界リーディングカンパニーのスケールメリットを生かして、これらのライセンスを安価に契約することができます。



【トレンドを取り入れたスポーツ教室】

変化の激しい現代において、スポーツ・健康においてもトレンドが移り変わっていきます。**「バレトン」や「筋膜リリース」**等、全国 372 施設での豊富な教室実績や、圧倒的な講師ネットワークを有しているからこそ実現できるトレンドを取り入れた教室を展開します。

【体幹トレーニング教室「コアクロス」】

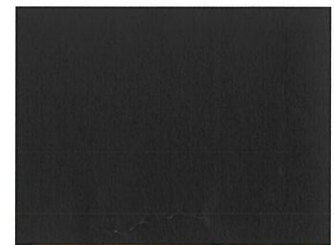
近年、プロスポーツ選手が行う、ファンクショナル（体幹）トレーニングが若年層を中心に人気を博しています。

働き世代に適した本教室で、若年層の運動実施率向上に寄与する事業展開を行います。

【女性向け「ヒップクロス」】

代表企業の運営施設では、ヒップラインが気になる女性向けのプログラム**「ヒップクロス」**が若年層に人気を博しています。

自身の体型の変化に敏感な世代のため、広報を行う際にも、その琴線に響くようなキーワードを用いて、ニーズを取り込みます。



ヒップクロス

■高齢者向けスポーツ教室

【骨盤矯正エクササイズ】

骨盤矯正エクササイズを実施します。

腰痛でお悩みの方を中心に参加を頂き、正しい姿勢での歩き方等をレクチャーします。



背骨矯正エクササイズ教室

【競技系スポーツ教室】

「頭脳派スポーツ」と言われる卓球は、**認知症予防**にも良いと言われる、高齢者を中心に大変人気です。

その他の競技系スポーツ教室の実施にあたっては、**南区スポーツ協会とも連携**して、誰でも楽しめる卓球教室やバドミントン教室を実施し、稼働率の向上やコミュニティ形成を促します。



卓球教室

(様式 10)

共同事業体名 みなみスポーツ共創パートナーズ
施設名 横浜市南スポーツセンター 提 案 書

施設の効用の最大限発揮

【カルチャー系教室】

高齢者には、激しい運動でストレス解消をする教室より、回数を重ねるごとにスキルアップを図っていくカルチャー教室が好まれます。

現在、社交ダンス教室等のカルチャー教室を開催されていますが、次期指定期間も継続することで、**地域の交流**を促進します。

また、中国古来の武術をもとに、ゆっくりとした動きで呼吸を整え、健康増進につなげる気功・太極拳等の教室を実施します。

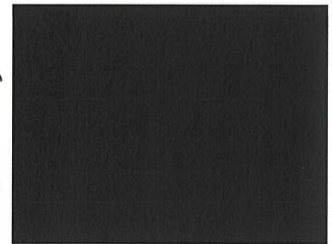


フラダンス教室

【はつらつ健康体操】

コロナ禍で運動量の減少等により、健康維持が難しくなっている健康二次被害が問題となっています。

本教室では、自宅でも出来る筋力トレーニング等を紹介することで、日々の運動量増加を図ります。



はつらつ健康体操

【ロコモティブシンドローム予防プログラム】

骨や関節・筋肉等運動器の衰えが原因で、「立つ」「歩く」といった機能が低下している状態であるロコモティブシンドロームを予防するために、下肢の筋力やバランス能力を高めるプログラム、筋肉量・筋力の低下を抑える運動プログラムといった、**代表企業が開発したオリジナルプログラム**を実施します。

区においても、元気な高齢者向け介護予防教室を実施していますが、区と協働し、区民の健康づくりに貢献します。



ロコモティブシンドローム
予防プログラム

【フレイル(虚弱)予防活動への協力】

フレイル予防は、近年、他自治体でも重要視されている施策です。

代表企業が運営する施設では、自治体が推進するフレイル予防活動に積極的に参加し、職員が自治体公認の**フレイルサポーター**に合格し、施設独自のフレイル予防活動を行っています。

本施設でも、類似施設でのノウハウを活かし、高齢者の健康推進活動を行います。



フレイル予防教室

■障がい者向けスポーツ教室

【インクルーシブスポーツの実施】Point

横浜市スポーツ推進計画では、障がい者と健常者が共に楽しめるインクルーシブスポーツの推進が掲げられています。

代表企業が運営する施設では、ポッチャ、ユニカール、スポーツ吹矢、サウンドテーブルテニス等、障害者と健常者が一緒に参加するスポーツを多数開催しています。

本施設では、**四半期に1回以上、インクルーシブスポーツの体験イベントを実施**します。

実施予定種目	
・ベタンク	・輪投げ
・ディスクゴルフ	・バウンドテニス
・シャツフルボード	・ポッチャ

施設の効用の最大限発揮

【ボッチャ体験】

横浜市スポーツ推進計画では、障がい者（成人）の週 1 回以上のスポーツ実施率を 40%以上とすることを目標としています。

私たちは、子どもでも手軽に楽しめるパラスポーツである**ボッチャを実施**します。



ボッチャ体験の実施

【障害者と健常者の交流「卓球バレー」】Point

椅子に座って行うことや、シンプルなルールから、障害の有無に関わらず、全ての世代が一緒に楽しむことができるユニバーサルスポーツである**卓球バレーの備品を調達し、利用者に貸出**します。

卓球の個人利用の中で、卓球バレー用のスペースを 1 台設けます。



ユニバーサルスポーツ「卓球バレー」

スポーツ推進計画、健康福祉関連計画等が反映されたプログラム

【横浜市スポーツ推進計画に基づくスポーツ教室】Point

横浜市スポーツ推進計画では、スポーツ推進の基本目標を、右図の 4 つを掲げています。

私たちは、この 4 つの目標の実現が、スポーツセンターの**指定管理者に課せられた使命**と考えており、市の目標と目線を合わせた事業展開を計画しています。

横浜市スポーツ推進計画と事業展開	
基本目標	事業展開
子どもの体力向上方策の推進	走り方教室、体カテストの実施
地域スポーツの振興	横浜市スポレクフェスタへの協力
高齢者・障がい者スポーツの推進	ニュースポーツ・パラスポーツの体験会
トップスポーツとの連携・協働の推進	横浜F・マリノス、横浜・ビーコルセアーズによる教室

【子ども向け運動教室】

横浜市スポーツ推進計画では、子どもの体力を横浜市の昭和 60 年頃の体力水準に回復させることを目標に掲げています。

代表企業が創業以来約 50 年で積み重ねた、子どもへの運動指導のノウハウを活かし、キッズ空手教室・ジュニアバレー等を開催し、年間累計 3,000 名以上に参加頂いています。

子ども向けのスポーツ教室は、体力の向上はもちろん、話す力や相手の気持ちを考えてあげる等のコミュニケーション能力・マナー・礼儀の向上に寄与するため、重要な役割を担っている責任感を持ち、継続していきます。

子ども向け運動教室 実施例		
幼児運動塾	子ども体操教室	子ども空手教室
子どもバレー教室	子どもフラダンス教室	子どもヒップホップ
走り方教室	キッズフットサル教室	ミニバスケットボールクラブ

(様式 10)

共同事業体名 みなみスポーツ共創パートナーズ

施設名 横浜市南スポーツセンター 提 案 書

施設の効用の最大限発揮

【子どもの体力向上につながる運動教室「ストロングキッズ」】

代表企業が運営する福岡県うきは市総合体育館では、子ども向けに体操やかけっこ、ボール投げ等、様々な運動を組み合わせた教室運動「ストロングキッズ」を開催しています。

子どもの運動能力向上に役立つことはもちろん、チャレンジする勇氣や、目標に向けて努力する力が身につきます。

うきは市総合体育館では、毎年延べ 500 名を超える子ども達が参加する大変好評を得ている教室であり、本施設でも同様に開催します。



ストロングキッズ

【高齢者向けスポーツ教室】

第 2 期健康横浜 21 の中間評価報告書では、人と人との「つながり」を意味し、「お互いさま」「地域の力」「住民の底力」とも表される「**ソーシャルキャピタル**」は、心身の健康に良い影響を与えることが言及されています。

私たちは、高齢者向けの教室は、心身の健康はもちろん、ソーシャルキャピタルの形成を目的に、地域や人と人との「つながり」を高めることに効果的な高齢者向けの教室を実施します。

【スポレクフェスタへの協力】Point

横浜市内全域で開催される「**横浜元気！スポーツ・レクリエーションフェスティバル**」(通称スポレク)に、毎年協力します。

代表企業は、同イベントにて、ボディパンプ等のレスミルズ無料体験イベントを開催した実績があり、200 名を超える方の参加を頂きました。

今後も同様のイベントで施設利用へのきっかけ作りとします。



スポレクフェスタへの協力

【よこはまウォーキング事業の紹介】

横浜市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、「**よこはまウォーキングポイント**新規参加登録者数 15,000 人以上」の KPI を設定されています。

本施設内にポイントリーダーが設置してありますが、この事業の紹介を行い、市の目標達成に向けた協力を行います。

また、横浜市内に在住する職員自身も登録を行い、健康横浜 21 で推進している健康経営にも取り組みます。

【ウォーキングイベント】Point

第 4 期横浜市地域福祉保健計画では高齢者の**ロコモティブシンドローム対策**の推進が課題となっています。

私たちは、運動の機会の提供として、施設外に足を伸ばしたウォーキングイベントを開催し、この課題解決に貢献します。

また、高齢者のみならず、働き・子育て世代(成人期)の健康づくりが課題となっていることから、南区の桜を見るコース等を設定し、当年代の参加もしやすいコース設定をします。



ウォーキングイベント

施設の効用の最大限発揮

【地域への出張指導】Point

代表企業の運営する施設では、施設内にとどまらず、積極的に**区内での出張運動指導**を行っています。

第 4 期 南区地域福祉保健計画骨子の取り組み内容として、健康づくり・介護予防が挙げられているため、「元気づくりステーション」等に訪問し、運動の機会を提供します。

私たちは、地域と協働の施設づくりを進める中で、施設内にとどまらない活動を積極的に推進します。

初心者が参加しやすいプログラム

【ヨガ教室】

全国で**大人気のヨガ教室**を開催し、場合によっては女性専用の教室設定を設ける等、参加しやすい環境を整備します。

一定の心拍数を維持することにより、体内の脂肪燃焼を促進させ、中性脂肪やコレステロール値を下げる効果があり、これからダイエットを始めるとい方にもお薦めです。



ヨガ教室

【ラジオ体操】

私たちは、高齢者をはじめ**幅広い世代が参加**できるラジオ体操を実施します。

代表企業の運営する横浜市青葉スポーツセンターでは、職員がラジオ体操指導員の資格を取得して、100名以上の方に対して、ラジオ体操の指導を行っています。

なお、季節によっては、屋外での開催を行います。



ラジオ体操の開催

【ストレッチ教室】

ストレッチの効果やポイントを解説し、家庭で簡単にできる様々なストレッチを実際に実施します。

普段、運動習慣が無い方でも、無理なく簡単にできる健康づくりの手始めとしておすすめの教室です。



ストレッチ教室

【肩こり・腰痛予防教室】

働き世代の方には、肩こり・腰痛予防教室が人気の教室です。

日常的な姿勢の改善や痛みを緩和するストレッチ等を紹介し、効果的な教室になると考えており、ニーズに合わせた教室を実施します。



肩こり腰痛予防教室

【レクリエーション教室】

体育の日のイベントとして、様々な種目を体験できるレクリエーション教室を実施します。バレーボール、ラジオ体操、レッスン体験を行い、幅広い運動を実施していただきます。

施設の効用の最大限発揮

【短期教室】

私たちは、春休み・夏休み・冬休みを活用した短期集中型の教室を開催します。

代表企業が運営する類似施設の中には、**毎年 400 名以上**が参加している施設もあり、利用者からのニーズが大きい教室です。

参加のハードルを下げた短期教室により、子どもの頃の運動習慣を向上させます。

【ワンコイン教室の開催】Point

本施設のスポーツ教室は、全 6～10 回のコース型教室であるため、一度申し込むと 3～4 カ月は同様のスポーツ教室に通うことになり、初心者が参加するハードルが非常に高いです。

私たちは、初心者でも気軽に教室を体験できるよう、第 1 回目の教室に参加できる教室体験チケットを新たに販売します。

教室を体験し、自分に合った教室を見つけることで、初回のハードルを高めます。

【無料体験会の開催】

私たちは、スポーツ教室の定期的な**無料体験会**を開催します。

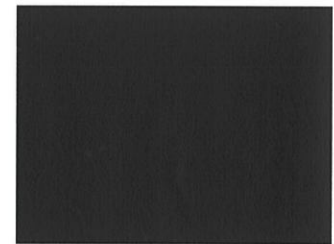
これから始めてみたいという方が、自分に合った教室を探して頂く機会とします。

【ショートレクプログラム】Point

運動初心者には、自分に合った運動が分からない方も多く、また長時間の運動には心理的なハードルが高くあります。

私たちは、初心者でも参加しやすい 15 分でできるショートレクを導入します。

ストレッチや肩こり予防等の軽い運動内容で、初めての方の参加を促します。



初心者向けショートレク

教室修了者が運動を続けられる支援

【ステップアップを考慮した教室プログラム】

運動の効果を実感するには、運動を継続し続けることが重要です。

代表企業は、子どもから高齢者まで楽しめる、最先端で多彩なプログラムを豊富に保有しており、本施設でも**ステップアップがしやすいタイムテーブル**を作成します。

また、1つの教室においても、年間でステップアップできるように計画しており、1年を通して教室を継続することで成長を感じられる教室を実施します。



ステップアップを考慮した教室

【教室修了者への無料体組成成測定チケットの配布】

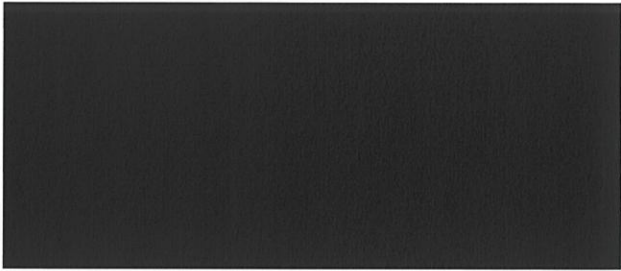
運動継続には、効果を実感することがとても大切です。運動効果の確認は、体重や体脂肪等、数値を比較することが分かりやすく、運動継続のモチベーション向上に効果的です。

私たちは、トレーニングルームに設置する高精度体組成計の無料測定チケットを教室修了者に配布し、効果を実感頂ける取組みを実施します。

施設の効用の最大限発揮

【オンライン運動動画の活用】

運動は週 1 回だけでは、現状維持にとどまり、週 2 回以上の継続を促すことが重要です。継続を促す手法として、本施設での教室の参加に加え、自宅でもできる運動を並行して案内します。



私たちは、インスタグラムにて「#もっと気軽に運動を」をコンセプトとした、1 分動画「**1min-studio**」を作成しており、教室との併用を周知することで、利用者の運動の継続を促します。

【参加者への継続促進】

私たちは、教室参加者の継続促進のため、定期教室の申込時期には、**前回参加者への電話連絡**を行います。

特に、代表企業が運営する青葉スポーツセンターでは令和 2 年度の新型コロナ禍で、教室が定期開催できない時期があったため、再開時には、職員総出で前回申込者に対して、連絡を行いました。

魅力的な教室内容と、地道な継続フォローで市民のスポーツ振興・健康増進に貢献します。

【教室・イベント実施後のアンケート調査】

教室運営の参考とするため、利用者アンケートを実施します。

教室やイベント終了直後に、アンケートを実施することで、より本質に近い生の声を頂くことができると考えており、このご要望に応えることが、確実な定着化を促します。



アンケート調査の実施

【成果発表会の開催】Point

回数を重ねるごとにスキルアップを図っていく教室は、参加者同士の連帯感を醸成し、利用者同士のコミュニティ形成に優れています。

代表企業は、全国の施設でバレエ教室やフラダンス教室等の受講生による**成果発表会**を実施することで、定期的な目標を設定し、サークル活動の支援を行っています。

このように、**市や指定管理者主催のイベントに合わせて開催**し、発表の場を創出することで、教室利用者の継続支援をします。

成果発表会の開催事例	
青葉スポーツセンター	九条スポーツセンター
横浜市主催の「ダンス・ダンス・ダンス」に合わせて開催	指定管理者主催の施設無料開放イベントに合わせて開始

施設の効用の最大限発揮

施設利用の公平性が考慮されている

【教室実施枠の遵守】Point

業務仕様に基づき、スポーツ教室を実施し、空き枠がある場合は区の事前承認の基、スポーツ振興に資する事業を提供します。

また、一般利用を妨げない限度にお

いて、自主事業として基本開館時間外にもスポーツ教室を実施し、スポーツクラブ業界 No.1 の民間活力を発揮します。

		利用枠設定
曜日	単位	設定
a 日曜・祝日・休日	・施設	日曜・祝日・休日の設定は、年30日以下とし、原則大会やイベント開催日として設定するため、継続した教室事業等は実施できない。日曜は隔週設定を基本とし、祝日・休日については2日以上連続した設定とならないよう配慮すること。
b 土曜日	・月 ・施設	土曜日の設定は、原則月6コマ以下とする。ただし、区が特に認めたスポーツ振興事業等を実施する場合は、月12コマ以下まで拡大して設定することができる。
c 平日	・週 ・室場	平日の設定は、1/3以下とする。残り2/3については、原則一般利用とし、優先利用の設定はできない。ただし、区が特に認めたスポーツ振興事業等を実施する場合は、1/2以下まで優先利用枠を拡大して設定することができる。

【予約の優先順位の徹底】

スポーツセンターでは、毎年1月に利用調整会議を実施し、各団体とのコミュニケーションを図る中で、2月までに市・区や関連団体の年間予約を優先的に埋めています。

使用順位	
① 市・区・関連団体	12月までに次年度分予約
② 関連団体	1月に利用調整会議の開催
③ 指定管理者	2月までに一般利用に配慮した予約
④ 一般団体	横浜市市民利用施設予約システム等での予約

また、市内登録団体や一般の団体等も、上記の通り、適正に受付を実施します。一部の特定の団体等に偏ることなく、**ルールに基づく予約受付**を徹底します。

【一般利用に配慮した空き枠を活用した教室開催】

現指定管理者は、**一般利用の機会を妨げない範囲**で教室を実施し、空き枠があった場合は、区のご承認の基、一般利用の支障の無いよう配慮をしながら徐々に拡大をします。

青葉区のスポーツセンターでは、空き枠を利用して、エクストリーム 55、アクティブ体操、ヨガ、ジャズダンスのワンコインの教室を開催しており、横浜市内のスポーツセンターでは屈指の人数の参加者となり、青葉区のスポーツ振興を図っています。

【スポーツ教室における平等利用の確保】Point

定期開催のスポーツ教室の申込みは、区民に長年慣れ親しんだ方法の往復はがき等で受付を行います。

応募多数の場合は、**初心者の区民を優先**し、抽選を実施し、参加者を公平に決定します。

次期指定期間は、より幅広い方に申込を頂けるよう、**WEB申し込みができるシステム**を追加します。

教室受講料は、高齢者の方でも抵抗無く利用頂ける施設窓口での支払いに対応します。

スポーツ教室受付の優先順位	
①	初心者区民
②	初心者市民
③	継続者(区民・市民)
④	市外

(様式 10)

共同事業体名 みなみスポーツ共創パートナーズ
施設名 横浜市南スポーツセンター 提案書

施設の効用の最大限発揮

(4) 自主事業の計画

利用拡大の提案

【開館時間延長(21～23時)】Point

本施設の開館時間は、条例と変わらない9～21時と
なっていますが、私たちは
月～土曜日の開館時間を23時
時まで延長します。

利用区分の追加						
A区分	B区分	C区分	D区分	E区分	F区分	G区分
9:00～	11:00～	13:00～	15:00～	17:00～	19:00～	21:00～
11:00	13:00	15:00	17:00	19:00	21:00	23:00

横浜市南スポーツセンター「業務の基準」より抜粋

本施設の利用単位は1枠2時間で運用されているため、下表のように1枠追加することが可能です。

なお、実施時期は業務開始の繁忙期を避け、令和4年10月からとし、実施に当たっては、区と相談の基、利用者への丁寧な説明を行うこととします。

【開館時間延長のニーズ】

本施設の稼働率は右表のように、非常に高い数値であり、特に**夜間のF区分の稼働率は平均以上**です。

本施設は最寄り駅「弘明寺駅」から徒歩3分程度とアクセスもよく、周辺人口も高いことから、夜間利用に対するニーズは高いと言えます。

H30年度稼働率		
居室	平均	F区分
第1体育室	95%	97%
第2体育室	98%	99%
第3体育室	94%	93%
研修室	90%	91%

【追加時間枠の提供サービス(案)】NEW

本施設の設置目的は「スポーツ、レクリエーション等の振興を図り、市民の心身の健全な発達に寄与する」です。

追加時間枠の運用を右表の通り、居室毎に設定し、**様々な市民が利用**頂ける内容とします。

追加時間枠の提供サービス案					
	第一体育室	第二体育室	第三体育室	研修室	トレーニング室
月	個人開放 ※曜日毎に設定 ・バスケットボール ・卓球 ・バドミントン ・バレー等	団体利用		運動教室	個人利用
火					
水			運動教室	運動教室	
木					
金				運動教室	
土			運動教室	運動教室	
日					

特に代表企業が指定管理者として運営している横浜市青葉スポーツセンターでは、同様の時間延長を実施しており、**個人開放や運動教室が市民に好評**です。

運用が定着しており、特に地域住民からの苦情もありません。

実績を踏まえた着実な試算から、本施策は「**実効性のある収入増加方策**」でもあるため、区の財政負担軽減にも寄与します。(詳細は様式12参照。)

運用方法はあくまで案であり、区と協議の上、柔軟に対応します。

施設の効用の最大限発揮

新たな利用者の獲得の提案

【レズミルズ合同イベントの開催】

レズミルズプログラムは、現在全世界 100 ヶ国・約 20,000 施設で展開されているプログラムで、本施設では 4 種類のプログラム (ボディパンプ・ボディコンバット・ボディバランス・ボディジャム) が展開されており、絶大な人気を誇っています。

日頃の教室もさることながら、定期的に開催するレズミルズ合同イベントは特に人気を博しており、**普段は他施設をご利用される方も広域から参加**されます。

代表企業には全国で 2,700 名を超えるレズミルズプログラムインストラクターが所属しており、イベント時には、人気インストラクターを他施設から招聘する体制が整っています。

豊富な人材と施設ネットワークを活用したイベントを開催できるのは代表企業ならではのあり、市民のスポーツ実施率向上、生きがい創出、**地域間交流**等、様々な効果が期待されます。

レズミルズイベント開催例		
施設名	開催実績	当日の様子
町田市立総合体育館 (東京都町田市)	参加人数:301名 担当インストラクター数:15名 (内、他施設から14名招聘)	
川越市なぐわし公園 PiKOA (埼玉県川越市)	参加人数:280名 担当インストラクター数:14名 (内、他施設から3名招聘)	
広島県立総合体育館 フィットネスプラザ (広島県広島市)	参加人数:597名 担当インストラクター数:17名 (内、他施設から12名招聘)	
すぽっしゅ豊浜 (香川県観音寺市)	参加人数:328名 担当インストラクター数:17名 (内、他施設から8名招聘)	
新潟市秋葉区 スポーツ施設 (新潟県新潟市)	参加人数:323名 担当インストラクター数:8名 (内、他施設から5名招聘)	

【サーキットエクササイズ】

運動初心者には、集団で楽しく運動することや、幅広い運動種類を提供することが、参加のポイントになります。

私たちは、様々な部位のトレーニングを周回して実施する「**サーキットエクササイズ**」を実施します。

代表企業が運営する類似施設にて実施しており、集団で楽しく運動して頂き、運動教室やトレーニングルーム利用への誘引を図っています。

【バスケットボール・フットサル等のワンデー大会】

代表企業が運営する類似施設では、バスケットボールやフットサル等、**様々な種目で大会**を実施し、地域交流を図っています。

なお、実施の際には、区スポーツ協会や横浜ビーコルセアーズとの共同開催として、様々な付加価値をつけた開催とすることを検討します。

(様式 10)

共同事業体名 みなみスポーツ共創パートナーズ
施設名 横浜市南スポーツセンター 提 案 書

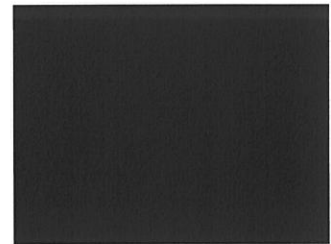
施設の効用の最大限発揮

【パブリックビューイングの開催】

スポーツ観戦は、スポーツをする習慣の無い方でもできることや、一緒に応援することで**地域の一体感を醸成**する効果があり、横浜市スポーツ推進計画では、スポーツ大会を間近で観戦した市民の割合を50% (平成 25 年現在 41.6%) に引き上げることを目標としています。

令和元年に開催されたラグビーW杯では、横浜市みなとみらいにパブリックビューイングの会場が設けられ、連日、数多くのラグビーファンが観戦に訪れました。

私たちは本施設でパブリックビューイングを開催し、スポーツ文化の醸成を図ります。



パブリックビューイングの開催

【肩こり・腰痛予防セミナー】

私たちは、どの年代でも共通の悩みである肩こり・腰痛予防セミナーを開催し、肩こり・腰痛のメカニズムを説明し、また予防のための運動・体操・ストレッチを紹介します。

代表企業の管理施設では、**60名以上の方に参加**される好評のセミナーであるため、次期指定期間に開催します。

【様々な測定イベント】

利用者の身体状態の把握は健康づくりの第一歩です。

デスクワークを行う働き世代から、背筋が丸くなってきた高齢者まで、幅広い世代の関心があるため、**姿勢測定イベント**を開催します。

高機能体組成計を設置し、無料で筋肉量や水分率、骨量、体脂肪等を測定できるようにします。



体組成の測定

【ロコモティブシンドロームチェックプログラム】

市は横浜市中期 4 か年計画では「誰もがいつまでも活躍し、自立した生活を送るには健康寿命の延伸が必要」とし、ロコモティブシンドロームの普及啓発に取り組まれています。

私たちは、歩行や立ち上がりの動作に欠かせない太ももの筋力の状態を確認するチェックプログラム「**立ち上がりチェックテスト**」を実施し、運動機能低下の気づきを促す取組みを行います。



立ち上がりチェックテスト

【本施設周辺のウォーキングコース作成】

南区では、地区ごとにおすすめウォーキングコースを案内したウォーキングマップを作成し、健康づくりに関する取組みを実施されています。

私たちも、本施設周辺の**独自のウォーキングマップ**を作成し、施設利用者に配布します。



ウォーキングコース作成

(様式 10)

共同事業体名 みなみスポーツ共創パートナーズ
施設名 横浜市南スポーツセンター 提 案 書

施設の効用の最大限発揮

【個別(パーソナル)トレーニング指導】

代表企業の直営施設では、ダイエットを目的としたものや、肉体改造を目的としたオリジナルプログラム等、目的別に様々な個別トレーニング指導を行っています。

指導する上ではそれぞれの**プログラムに即した専門知識**が必要ですが、インストラクター一人一人に対して、代表企業が約 50 年の運営で体系化された研修を実施します。



専門性の高い個別指導

スペースの有効活用の提案

【マッサージチェアの設置】

私たちは、1 階ロビーのスペースを活用し、有料のマッサージチェアを 2 台設置します。

設置する機器は、肩・腕・座面・ふくらはぎの全身エアーマッサージ機能が備わっており、疲労回復に効果的です。

マッサージチェアの設置を通して、利用者の方の更なる**リラクゼーション効果**を高め、再来館を促します。



導入予定の
マッサージチェア

【有料貸出ロッカーの更新】

施設利用の阻害要因として、荷物を持ち運ぶ煩わしさがあ
り、特に駅から近い本施設はそのような課題を払拭することで大きく利便性が高まります。

私たちは、個人利用者がシューズやタオル等を置ける**貸出ロッカーの設置を継続**し、施設利用者の利便性を高めることで利用者ファーストの環境を整え、利用者の定着化に努めます。



貸出ロッカーの設置

【相談室を活用した高齢者向け油圧式マシンの設置】Point

現在使われていない相談室に、新たに高齢者の方向けの**油圧式マシンを設置**することで、トレーニング室を拡張します。油圧式マシンは、危険性が少なく、低体力者やリハビリの利用としても効果的です。

運動を苦手とする高齢者でも、気軽に始めて頂くことが可能であり、新たな利用の創出を図ります。



油圧式マシンの設置

利用者の利便性向上策の提案

【スポーツ環境を充実させる物販事業】

運動に馴染みのない方や、ふと思いついて足が向く利用者もいると想定し、子どもから高齢者まで、多くの方が利用できるよう、トレーニングウェア、シューズ、ソックス等を販売して
ます。

また、栄養面のサポートのため、**代表企業オリジナルの健康飲料**やサプリメントの販売を実施
します。

施設の効用の最大限発揮

【はまっこ water 販売】

「はまっこ water」を販売する自動販売機を設置し、地域に密着した取組みを行います。



はまっこ water の販売

【自動販売機のリニューアル】

地域の一体感を盛り上げるために、区とも相談の上、ビーコルセアーズ等のプロスポーツチームを支援する自動販売機を設置します。

更に、**災害発生時支援、キヤッシュレス**に対応したものへ入れ替えます。

災害発生時支援自動販売機は、地震等の災害発生時に、遠隔操作で電光掲示板に災害情報を流したり、本体に残っている**飲料を無償で提供**したりと、緊急時自動販売機ならではの機能を活用した支援を行うことが可能です。



【レンタルサービスの継続】

利用したいと思った時に気軽に施設に来られるような支援が必要なため、レンタル用品を準備し、利用者の利便性向上を図ります。

現在、右表の品目がレンタル可能ですので、本サービスを継続します。

レンタル一覧			
項目	規格	個数単位	レンタル価格
卓球ラケット	シェイクハンド ペンホルダー	1本/1回	60円
バドミントンラケット	-	1本/1回	110円
バスケットボール	5号~7号	1球/1回	60円
フットサルボール	5号	1球/1回	60円
バレーボール	4号~5号	1球/1回	60円
体育館用シューズ	22.0cm~29.0cm	1足/1回	110円
ポータブルデッキ	MD/CD/TAPE 使用可能	1機/1回	210円
コピー機使用	A3 / A4 / B4 / B5片面	1枚	10円
ビブス	-	5枚/1回	110円
ハーフパンツ	メンズ・レディース	1着	210円
電子ホイッスル	-	1個	110円
ストップウォッチ	-	1個	110円
大型ロッカー	-	1ヶ月	1,500円
中型ロッカー	-	1ヶ月	1,000円
小型ロッカー	-	1ヶ月	500円

【コピーサービス】

大会開催時等、紙資料のコピーが必要な利用者に対して、コピーサービスを実施します。きめ細やかな対応で、利便性の高める自主事業を実施します。

【インクルーシブスポーツ備品の貸出し】Point

全ての世代が一緒に楽しむことができるインクルーシブスポーツである**卓球バレー、風船バレー**の備品を調達し、利用者に貸出します。

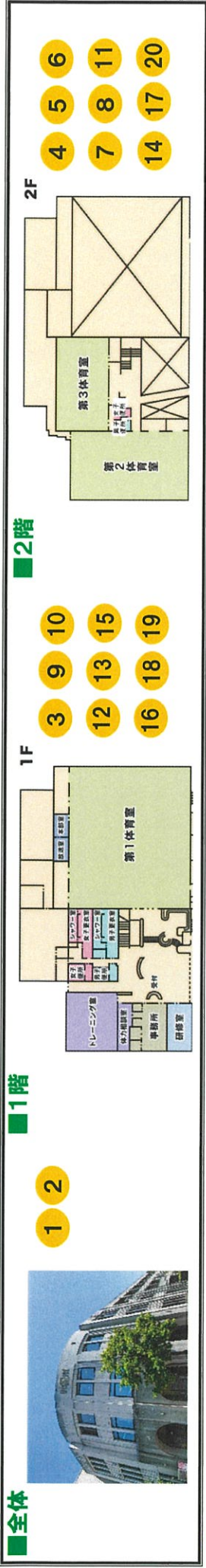


インクルーシブスポーツ備品の貸出し

新たな提案まとめ

横浜市南スポーツセンター

継承と改革 ~地域と共に創るにぎわいスポーツ拠点~



<p>1 開館時間延長 (21~23時)</p> <p>本施設の開館時間は、条例と変わらないうち9~21時となっておりますが、私たちは月~土曜日の開館時間を23時まで延長します。</p> <p>G区分 (追加枠) 午後9時~ 午後11時</p>	<p>6 ウェブアクセスシビリティに対応したHP</p> <p>誰もが等しく施設の情報を入力できるよう、ウェブアクセシビリティ対応のホームページを作成します。</p>	<p>11 トップアロチームによるフィットサルスクール (横浜マリノス)</p> <p>横浜市を代表するプロスポーツチームである、横浜F・マリノスによるサッカー教室を実施します。トップアロチームによる指導で専門的な指導を受けたというニーズに応えます。</p>	<p>16 ハラスポーツイベント・備品貸出</p> <p>代表企業では、ポッチャ、サウンドレーブルテニス等、ハラスポーツの開催を推進しています。ハラスポーツ備品の貸出を行い職がたい者も健常者も共に楽しめる環境を整備します。</p>
<p>2 スポーツタイム増設 (時間延長により拡充)</p> <p>スポーツタイムは個人で参加することができ、スポーツのきっかけづくりに寄与しています。私たちはこの施策を継続し、時間延長の提案の中でサービス拡充します。</p>	<p>7 タウンニュースと連携した SNS 運用</p> <p>市内に本社を構えるタウンニュース㈱により、本施設独自の SNS を運用します。イベントや教室等のトピックスを配信し、旬な話題をタイムリーに届けます。</p>	<p>12 スポットクーラー導入</p> <p>スポーツ施設は熱中症への注意が必要不可欠です。第1体育室は空調がないため、夏場にはスポットクーラーを設置し、熱中症対策を徹底します。</p>	<p>17 合同卓球大会</p> <p>運営施設の合同卓球大会を主催し、多数の運営実績を持つチェーンメリットを生かした利用促進策を実施しています</p>
<p>3 トレーニング室の全面リニューアル</p> <p>定着している利用者のトレーニング手法に影響が出ないよう、トレーニング室の全面リニューアルを行います。床はカーベットを張ることでクッション性が増し、部屋全体の印象も大きく変わります。</p>	<p>8 キャッシュレス対応券売機</p> <p>キャッシュレス対応券売機設置で、利用者の利便性確保と受付職員業務効率化を図ります。</p>	<p>13 混雑状況のリアルタイム配信 (ネコの目システム)</p> <p>インターネット上でトレーニング室の混雑状況をリアルタイムで確認できる「ネコの目システム」を導入します。</p>	<p>18 サイン更新</p> <p>多言語対応かつデザインを統一した見やすいサインに更新し、利用者目線の運営を行います。</p>
<p>4 レスミルスプログラムの提供</p> <p>全世界 100ヶ国以上で展開されている、レスミルスプログラムを開催します。本プログラムは、市内の上大岡店や磯子店でも大人気の教室であり、圧倒的な集客力を誇っています。</p>	<p>9 駐車場機器更新 (キャッシュレス化)</p> <p>本施設に2か所設置されている駐車場管理機器を高額紙幣、キャッシュレス対応の精算機に更新します。また、駐車場ゲートでの支払可能なものに変更することで利便性の向上を図ります。</p>	<p>14 仕様を 1,000 千円上回る修繕予算</p> <p>今後さらなる修繕件数増加を見据え、次期指定期間の修繕費予算は、仕様を 1,000 千円上回ります。千円/年を計上しています。限られた予算の中で、優先順位をつけたコントロールを行っています。</p>	<p>19 高齢者向けマシンの拡充</p> <p>現在使われていない相談室に、新たに高齢者向けの油圧式マシンを設置することで、トレーニング室を拡張し、新たな利用の創出を図ります</p>
<p>5 トイレのウォッシュレット化</p> <p>本施設は、ウォッシュレット機能がついているトイレが一つもないため、館内の洋式トイレをウォッシュレット化します。毎年の予算執行状況を見ながら、指定期間中に全更新します。</p>	<p>10 トップアロチームによるハスケスクール (横浜ビー・コルセアーズ)</p> <p>横浜ビー・コルセアーズによる子ども向けバスケットボール教室を開催し、専門的な指導を受ける機会を創出することはもちろん、試合観戦へのきっかけとなり、観るスポーツの振興にも寄与します。</p>	<p>15 トップアロチームイベント</p> <p>施設に足を運んで頂く、きっかけづくりとして、トップアロチームイベントを開催します。特に、ハラスポーツのアスリートを誘致して、市民にインクルーシブスポーツ・ハラスポーツに触れ合う機会を創ります。</p>	<p>20 商店街との連携</p> <p>商店街連合に加盟し、弘明寺商店街と連携を検討しています。商店街で使用できるポイントを付与することで、スポーツやトレーニングをするきっかけ作りを図ります。</p>

施設の効用の最大限発揮

(5) 業務履行体制

適正業務実施体制 (人員配置、責任者の常時配置、業務委託) の有無

【業務分担を明確にした共同事業体方式】

本施設の特性を踏まえ、**スポーツ施設の運営及び維持管理の専門企業である 2 社**による、シンプルでシームレスな業務分担を作成しました。

代表企業は、昭和 48 年の創業以来、約 50 年、健康に関わる様々なサービスを提供し、**リーディングカンパニーとして業界を牽引**しており、上大岡支店をはじめ、全国 227 施設

の指定管理者として圧倒的な実績を誇り、地方自治体のスポーツ政策の一翼を担っています。

構成企業は、平成 30 年 4 月発行のファシリティマネジメント分野において、世界で初めての国際規格「ISO 41001」を国内企業で初取得（平成 30 年 9 月）する等、**国内業界のトップランナーであり、リーディングカンパニー**でもあります。

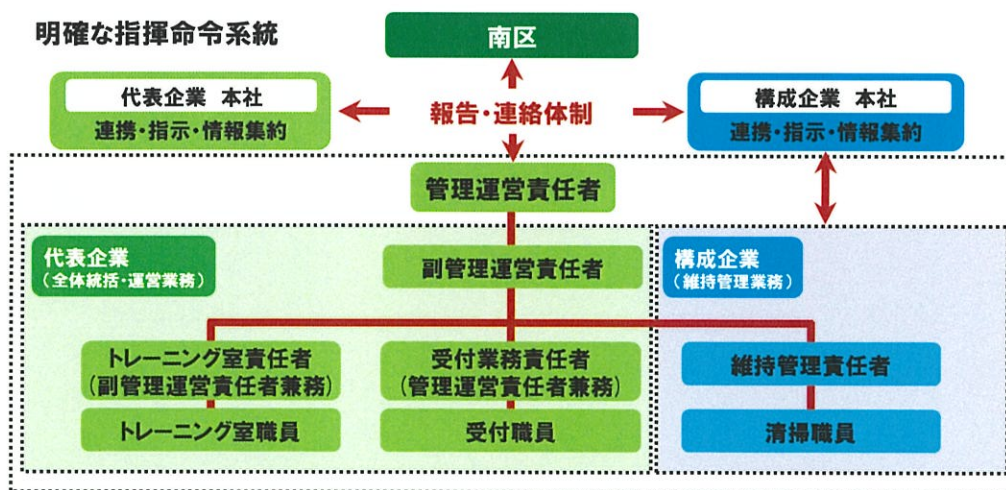
この 2 社が共同事業体を組成したことにより、本業務に対する施設の効用を最大限に発揮し、指定期間の安定した運営をお約束します。

業務内容	代表団体	構成団体
施設運営業務	○	
施設の利用許可	○	
利用料金の徴収	○	
維持管理業務		○
自主事業	○	

【適正な業務実施体制】

スポーツセンターのみならず、大岡地区センター、大岡地域ケアセンターの維持管理と、多種多様な業務が求められ、明確な指揮命令系統は重要なポイントです。

類似施設の経験を活かして、管理運営責任者を中心とした指揮命令系統・責任体制を既に明確に定めています。



【定例会の開催】

南区とは、毎月 1 回の定例会開催により、**密接なコミュニケーション**を図ります。

また、共同事業体内での定例会も、同じく月 1 回開催します。

この定期的なコミュニケーションにより、独りよがりの管理運営ではなく、市・区の方針に沿った管理運営を実現することができると考えています。

施設の効用の最大限発揮

【最大限のサービス提供ができる職員体制】

人員の配置に当たっては、労働基準法等を遵守し、利用者サービスを最大限に発揮する人員数を配置し・ローテーション構成を行います。

責任者不在を作らないローテーションを組み、不在時も時間帯のリーダーを定め、指揮命令系統を明確にします。

		南スポーツセンター 勤務体制表(例)																
配置要員		7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
管理運営責任者	自社																	
副管理運営責任者	自社																	
受付業務責任者	自社																	
受付職員	自社																	
トレーニング室責任者	自社																	
トレーニング室職員	自社																	
維持管理責任者	自社																	
清掃職員	委託																	

【マルチジョブの推進】

運営業務の担当職員は、専門能力を身に付けるとともに、**多岐に亘る業務を遂行するマルチジョブ化(多能化)**を図ります。

繁忙期や緊急時等にも柔軟に業務に当たることができ、ムリ・ムダ・ムラのない体制をつくり出します。

マルチジョブ	
受付業務	指導業務

【管理運営責任者の配置】

本施設の管理運営責任者は、施設全体の円滑なマネジメントから、市・区への正確な報告・連絡・相談、トラブル発生時等の利用者への説明責任を果たすことまで、**多岐に亘る業務**が求められます。

管理運営責任者は業務の判断基準・スピード、人事、財務、指導、安全管理等、施設運営に必要とされるあらゆる経験・知識を判定する**代表企業の施設責任者テストを合格した人材**です。

【副管理運営責任者の選任】

管理運営責任者を全面的にバックアップし、代理できる施設運営・管理に関する副管理運営責任者を選任します。

選任にあたっては、公共サービスの従事者として高いモラルがあり、**類似施設での実務経験**を持ち、見識のある人材を配置します。

また、トレーニング室における責任者の役割を担う等、管理運営責任者のバックアップだけでなく、現場での業務をマルチに行います。



副管理運営責任者によるバックアップ

【受付職員のコンシェルジュ機能】

初めての方でも気軽に施設を利用できるよう、**受付にはコンシェルジュ(施設案内人)の機能**を持たせます。

利用方法や教室等はもちろん、他の公共施設の案内や地域情報も説明できるようにし、地域の方の案内所としての機能も発揮します。

さわやかな笑顔とおもてなしの心で、利用者をお迎えします。



受付職員の配置

施設の効用の最大限発揮

【健康づくりを支援するトレーニング室職員】

運動初心者の方でも気軽に、かつ安全・快適・効果的に利用頂けるよう、トレーニング室に配置する職員は、トレーニング機器の利用方法や効果的な**トレーニング方法の案内を習得した者**とします。



安全・効果的な指導

【職員の勤務姿勢の改革】

本公募に応募するに当たり、何度も施設利用・視察を行い、課題の把握に努めました。
施設利用した際に、トレーニング室では職員が勤務中にもかかわらず、利用者がいる中で自身のトレーニングをする、隣部屋の相談室で隠れて飲食する、利用者がトレーニング室内で電話を使用していました。注意をしないという行為を見かけました。
公共サービスの従事者として、代表企業が運営する施設はもちろん、他の公共施設でも**あるまじき行為**であり、利用者として驚き、失望しました。
私たちは自覚を高く持ち、上記のような行為は撲滅する改革を行い、日々業務を遂行します。

【本施設の管理運営に適した維持管理責任者】

スポーツ施設の設備は特殊なものも多く、類似施設の実績を有する経験豊富な人員が管理しなければなりません。
仕様書を遵守することはもちろん、延べ 20,000 人の有資格者が在籍するなかで、専門資格を有した維持管理責任者による定期的な巡回・点検を行い、高い業務品質・水準を確保します。

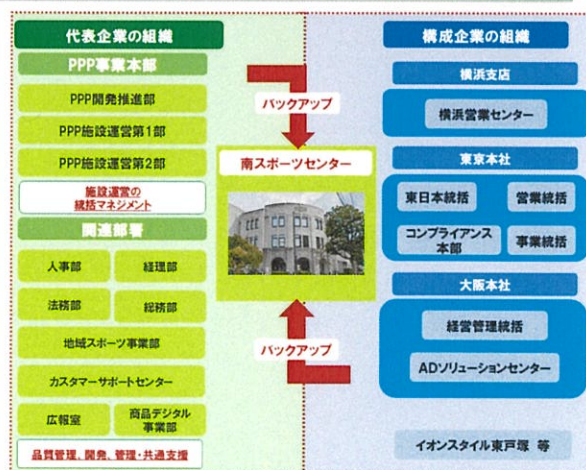


専門資格を有する
維持管理責任者

業務管理体制 (本部のバックアップ体制)

【バックアップ体制】

代表企業・構成企業ともに、豊富な公共施設運営実績に基づく、**万全なバックアップ体制**の基、本施設の管理運営を行います。
代表企業は、日常的な運営は PPP 施設運営第 1 部がサポートを行い、その他人事、総務等の関連部門がバックアップします。
構成企業は、横浜支店が本施設の業務を全面的にバックアップします。



【運営統括部門による巡回モニタリング】

代表企業は、業務の履行確認・評価を行うモニタリング方法をシステム化しています。
エリアを統括する部門による**月 1 回の巡回モニタリング**にて、コンプライアンスを含め、継続的に改善状況を確認・指導を行っています。
また、事業計画書で提案した事項についても、履行チェック表による確認を行います。

施設の効用の最大限発揮

【近隣からのバックアップ体制】

代表団体は、本施設近隣に直営施設の上大岡店を構えています。

構成団体は隣接する中区内に横浜支店を構えています。緊急時には、最速5分で駆け付けられる体制を整えています。

繁忙期のヘルプ体制等、柔軟にバックアップを行います。



研修計画

【職員研修計画】

私たちは、計画的な研修を実施し、業務水準の維持・向上に取り組めます。

公共施設の指定管理実績が豊富な私たちは、接客・指導・安全・公共施設従事者向けの研修を既に確立しており、本施設に適した万全の職員育成体系を構築しています。

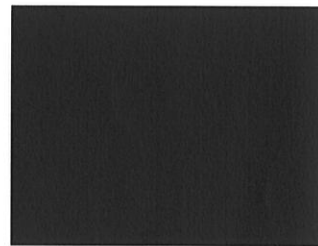
次期指定期間初日からホスピタリティ溢れる運営が可能です。また、定期的なフォローアップ研修により、サービス向上に努めます。

代表企業の計画的かつ実用的な研修スケジュール案		
時期	研修項目	実効性
4月	接客接遇研修	接客接遇研修の開催
	公共施設従事者研修	公共施設従事者研修の開催
	行政施策研修	行政施策研修の開催
	コンプライアンス研修	コンプライアンステストの実施
	金銭管理・会計システム研修	金銭管理・会計システム研修
	人権研修	人権研修の実施
5月	個人情報保護研修	ITセキュリティ理解度テスト、個人情報保護理解度テスト
	安全の日ミーティング	他施設の事例紹介(毎月)
	施設責任者研修	施設責任者会議の実施(年1回)
6月	緊急時シミュレーション	休館日に実施
7月	トレーニング指導研修	社内人事制度(基礎ライセンス制度)及び集合型研修で実施
8月	避難誘導訓練	避難訓練に併せて実施(年2回)
9月	気づき感度向上研修	セクション別ミーティングの実施
10月	非常ベル訓練	避難訓練に併せて実施(年2回)
11月	集団プログラム研修	レスミルズプログラム研修の受講
12月	CPR・AED実技研修	外部団体の資格取得(スポーツ救急手当)
1月	高齢者・障害者対応研修	NPO法人フルボランティアによる研修を受講
2月	緊急時対応研修	安全の日(17日)で災害時等の対応フローを確認(毎月)
3月	防災訓練	消防署の協力の基、防災訓練(年2回)
随時	入社時研修	スタートアップ研修 30時間(机上研修15時間XOJT15時間)

【公共事業従事者・行政施策理解研修】 Point

私たちは、公の管理代行者として、横浜市・南区の行政施策及び本施設の設置目的を職員一人一人が理解する必要があると考えています。

その考えのもと、公共事業従事者研修を実施し、積極的に市・区の政策への協力を行います。

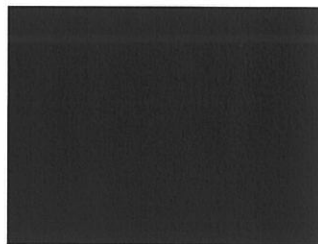


公共事業従事者研修

【接客接遇研修】

私たちは、施設全体で利用者をおもてなしの重要性を認識し、接客接遇研修を年4回以上実施します。

電話対応(明るい声での名乗り等)や受付での対応のみならず、全ての職員がおもてなしの心を持ち、さわやかな笑顔の輪を利用者に広げていけるよう、繰り返し研修を行います。



接客接遇研修

施設の効用の最大限発揮

【インストラクター研修】

本施設のようなスポーツ施設においてそのサービスの価値を決めるのは、実際にサービスを提供するインストラクターの質となります。

私たちは本施設を市民の方々に快適にご利用頂けるよう、計画的にインストラクター研修を行い、指導の質の向上に努めます。

代表企業 インストラクター研修内容

インストラクター研修実施内容	
総論	フィットネス業務、インストラクター業務 解剖学(骨・筋肉・筋繊維) 運動生理学(血圧・体脂肪・最大酸素摂取量)
理論	ストレングス系マシントレーニング(机上) カーディオ系マシントレーニング(机上) ストレッチ理論 指導の5原則(説明・試技・実技・矯正・確認)
実技	マシン実技・指導(ストレングス系・カーディオ系) ストレッチ実技 フリーウェイト理論・実技

【研修内容映像教材のオンライン配信】

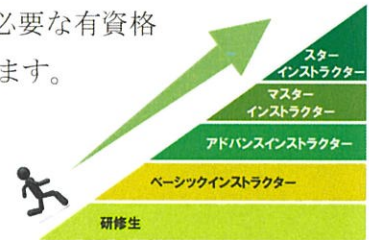
代表企業では、研修内容を**オンラインで配信**し、社内イントラネットにて全職員が常時閲覧できるようにしています。

全員が集合する機会でなくても、個別に視聴をすることができ、いつでもレベルアップが可能となります。

【インストラクターライセンス制度】

代表企業は、公共スポーツ施設運営のエキスパートとして、必要な有資格者や経験者等を配置し、知識と経験に基づくサービスを展開します。

品質に関わる人材全てにおいて品質の基準となる 4 段階での**インストラクターライセンス制度**を導入し、公的な資格と同等以上の能力を備えるべく、レベル向上を図っています。



【障害者・高齢者対応研修】

障害者・高齢者の方々は、一般の方が感じないところに施設の不便さ・使いづらさを感じます。

実際にどこが使いづらいのかを理解するため、杖・車いす等を実際に職員が体験する機会を設ける等、障害者・高齢者対応研修を実施します。

障害者・高齢者対応研修内容	
座学	体験実技
障害者の種類について	視覚障害者の立場に立った体験実技
ノーマライゼーションについて	車いすの体験実技
障害者の入館手続きについて	施設利用時のフロー
健常者のルールと障害者のルール	
介添者について	

【コンプライアンス研修】 Point

代表企業では、**毎月 3 日をコンプライアンスの日**と設定し、定期的に職員の意識を高め、毎月テーマを変えた本部からの発信や、職員向けのテストを実施しています。

また、職員の意識を高めるだけでなく、社内イントラ内において、**毎月コンプライアンスの研修動画を配信**しています。

また、コンプライアンスに関する通達分の配信や、年 3 回コンプライアンス理解度テストを実施するように管理しています。

毎月のコンプライアンス研修動画配信	
<配信内容>	
・コンプライアンスの重要性 ・労働契約と従業員の義務	・パワーハラスメント ・セクシャルハラスメント ・モラルハラスメント ・下請け法 ・内部通報 ・適切な労働時間管理 ・業務秘密の管理 等

(様式 10)

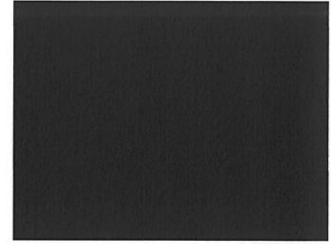
共同事業体名 みなみスポーツ共創パートナーズ
施設名 横浜市南スポーツセンター 提 案 書

施設の効用の最大限発揮

【個人情報保護理解度テスト】

私たちは、個人情報保護に関する業務水準を、常に高いレベルで維持するために、定期的に研修及び**個人情報保護理解度テスト**を実施します。

実際の業務に照らし合わせた内容となっており、単純な知識を身につけるだけでなく、実践で活かすことのできるものです。



個人情報保護理解度テスト

【外部委託講師への研修】

資質向上のための研修は、雇用している職員だけでなく、業務委託の講師にも、同様の取組みを行います。

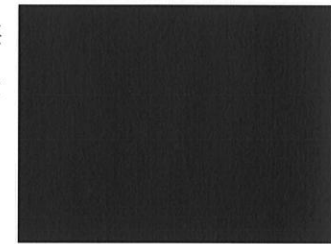
本施設の管理運営に関わる全ての職員が、**同じ品質**で利用者に接することができるよう、取組んでいきます。



外部委託講師への研修

【全職員の CPR・AED 操作研修の実施】 Point

代表企業は、施設内の安全対策を万全とするため、CPR（心肺蘇生法）・AED 操作研修を、**全職員が受ける研修**として位置づけ、代表企業の職員全員が公的資格を取得します。



CPR・AED 操作研修風景

【スポーツ救急手当講習の受講】

代表企業は、日本国内のスポーツ施設の救急手当のガイドラインを策定する公益財団法人日本スポーツ施設協会の公認ライセンスである CPR（心肺蘇生法）・AED 操作、外傷応急手当、熱中症の知識習得のライセンスを全職員が取得します。

常に職員同士で研修が実施できる体制を万全に整えます。



ライセンス認定証

【緊急時対応シミュレーション研修】 Point

代表企業では、発生する様々な事故を想定し、緊急時対応シミュレーション研修を行い、事故の未然防止から、事故発生時の安全確保・応急処置といった一連の流れを確認します。

本研修を職員全員に受講させ、どのような状況にも対応できる万全な体制を構築します。



アリーナからの避難



通報



傷病者搬送

施設の効用の最大限発揮

【体育器具取り扱い研修】

本施設のような体育館には、バスケットボールのゴールやバドミントンのネット等、日常では扱わない専門的な器具が多数あります。

代表企業では、公共体育施設に多数備品を納入している体育器具メーカーである**セノー(株)**による**体育器具取扱い研修を定期的に実施**しています。

体育器具取扱い研修			
座学	バスケットゴール点検	トランポリン点検	バドミントン支柱点検
審判台点検	フットサルゴール点検	バレーボール支柱点検	卓球台点検

【省エネ・エネルギー管理研修】

私たちは、省エネ法・省エネに関する手法等の知識・技術を学ぶ研修を行います。本研修を行うことで、職員に省エネについての意識啓発を行い、環境に優しい施設を作り上げます。

【よこはま企業健康推進委員】

横浜市中期4か年計画では、健康経営の視点を踏まえた「横浜市職員の健康ビジョン」に沿って、職員・責任職・職場が一体となった健康づくりの取組みを推進しています。

代表団体グループは、「健康経営優良法人 2020(ホワイト 500)」に4年連続で認定されており、本施設の職員の健康づくりを推進するため、「よこはま企業健康推進委員」に登録し、市が配信するメールマガジン「よこはま企業健康マガジン」の内容や市が主催・共催する健康経営や健康づくりに関する講演会、講座等の受講内容を職員に共有し、**職員の健康づくりに取組みます。**

経理体制

【金銭管理研修】

公金を取扱う本事業における金銭の管理については、厳格な管理運用が求められます。

私たちは、金銭管理研修を実施し、金銭授受のルール・帳票の運用方法・金銭管理方法等、本施設の運営に即したマニュアルを整備し、厳格に運用します。

また、伝票管理等の業務を行うための研修である「施設事務研修」を行うことで、職員に金銭管理・施設事務のルールを徹底し、業務水準の維持・向上を図ります。

施設の効用の最大限発揮

【開錠・施錠管理】

安全・防犯及び事故防止のため、金庫の開閉者・売上金の投入者・銀行入金者・鍵責任者の選任等、**厳格な管理**を行います。

また、事務所への最終退館者を記録し、退館前の館内最終チェックと、閉館時間中の機械警備のセットを漏れなく行うことで、建物や館内資産の保護を徹底します。



厳格な金銭管理



閉館時間の機械警備業務

【公共施設専用の会計管理システム】 Point

代表企業は、**公共施設専用の独自の会計システムを構築**しており、民間施設とは異なる各室場の利用管理やエラーが生じない厳格な金銭管理等、様々な機能を有しています。公の施設の代行者として適切な管理が可能なこのシステムは、運営に導入されており、スケールメリットを活かし、荻窪、高円寺にも安価で設置が可能です。

【本社経理部門との連動による徹底したコスト管理】

代表企業では、本社経理部門と各施設が常に連動し、徹底したコスト管理を行います。

管理運営責任者は、支出発生時には本社経理部門への報告・相談を行い、その支出と収支計画とを照らし合わせ、**適切な支出**であることを確認・判断します。

また、必要な備品・消耗品等を、適正なコストで効率的・計画的に購入するよう、本社部門が一元的にチェックできる**電子決裁・資産管理システムを導入**しています。

【券売機の設置】 Point

券売機を導入することで金銭事故や利用者との接触を減らすことができ、安全な施設利用提供や利便性が**飛躍的に向上**します。

人による金銭の取り扱いを最低限にすることで、**盗難防止や正確な金銭管理による金銭の授受のトラブルが防止**が可能になります。

【適切な経理処理】

代表企業は、業界のリーディングカンパニーとして**厳格な内部統制**を敷いており、一切の不正経理が行えない体制としています。

金銭管理・経理業務を担当する代表企業は、下表のとおり経理・会計基準を設けています。

本施設の指定管理者として必要とされる会計・経理基準について、指定期間開始より**適切な会計・経理処理**を行います。

具体的な規定事項

1. 金銭の出納保管ならびに手形および有価証券に関する事項	6. 減価償却に関する事項
2. 債権および債務に関する事項	7. 予算及び決算に関する事項
3. 資金の調達及び運用に関する事項	8. 税務に関する事項
4. 棚卸資産に関する事項	9. 勘定・帳票及び財務諸表に関する事項
5. 固定資産に関する事項	10. その他・経理に関する事項

本市の重要施策を踏まえた取組

(1) 個人情報保護・情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業優先発注など、本市の重要施策を踏まえた取組

個人情報保護

【プライバシーマークの取得】Point

代表企業は、厳格な審査を経て、平成 21 年にスポーツ施設運営企業として初めて、日本情報経済社会推進協会 (JIPDEC) が付与するプライバシーマークを取得しました。

令和 2 年には 7 回目の認定となる個人情報保護の取組みに対し、**プライバシーマーク制度貢献事業者として感謝状**を受領しました。



プライバシーマーク
制度貢献事業者

【個人情報保護に関する各種規程の整備】Point

私たちは、「横浜市個人情報の保護に関する条例」に基づき、本施設の指定管理者としての**個人情報保護規程を作成**し、体制・データ保護方策・個人情報の廃棄の手順等、情報漏洩防止のための必要な手続きを定めます。

規程はすでに整備済ですが、実態の運用に合わせてより強固なものに修正・加筆を加えます。

【個人情報の取得と利用に関するルール】

「横浜市個人情報の保護に関する条例」に基づき、個人情報を取得する場合は、利用者に対し、利用目的の明確化・利用の範囲・対応窓口等を分かりやすく説明し、事前に承諾を得た上で取得します。

アンケート・教室参加申し込み等での

個人情報の取得の際には、「**氏名 + α = 個人情報**」を共通認識とし、適正な対応を徹底します。

個人情報取得時のルール

- ① 個人情報の利用目的をできる限り特定し、その**利用目的の達成に必要な範囲を超えた利用はしない。**
- ② 偽りその他**不正な手段で個人情報を取得しない。**
- ③ 個人情報を取得した場合は、あらかじめ利用目的を公表している場合を除く、その**利用方法を本人に通知するか公表する。**
- ④ 個人データは、あらかじめ**本人の同意を得ないで第三者に提供することは原則禁止する。**



【個人情報の管理体制】

必要以上の個人情報 を取得しないこと

とはもちろん、必ず事務所内の施錠可能な書庫・キャビネット

で保管し、文書保存期間が到来したら速やかに廃棄します。

キャビネットに関しても、鍵管理台帳を作成するとともに、金庫鍵取扱研修を受講した職員のみが解錠できる運用とし、**三重の管理体制**を構築します。

書類の保管	書類の破棄	鍵の保管	机上の整理	施錠確認
個人情報に記載されている書類については、鍵の掛かるロッカーにて保管し、盗難・紛失を防止します。	事務所にシュレッダーを設置し、個人情報破棄する際には、必ずシュレッダー処理を行います。	鍵は施錠できるキーボックスに保管し、更にキーボックスの鍵を別途施錠可能な金庫へ保管します。	個人情報書類等の机上への放置を禁止し、重要書類の紛失を防ぐため、机上を綺麗に保つクリアデスクを実施します。	事務所の出入口には、個人情報の盗難を徹底するため、施錠忘れ防止の貼紙を掲示しています。

本市の重要施策を踏まえた取組

【入退室記録簿の管理】

外部からの不正侵入から個人情報保護のため、事務室への入退室及び特定区域への入退室を行う場合は、必ず身元及び用件等を確認し、**入退室記録簿により管理**をします。

また、職員が毎日の業務を遂行するに当たり、本施設への最初の入室者・最終の退室者を明確にするため入退室者記録簿を作成します。帳簿管理をすることにより、全職員が責任を持ち、施設からの個人情報流出を防ぎます。



入退室記録簿への記載

【秘密の保護】

SNS（ソーシャル・ネットワークワーキング・サービス）の普及に伴い、モラルの低い職員による情報の漏えいが世間を騒がせています。

私たちは、研修を通じて、

全職員に**秘密の保護**に関する重要性を認識させ、万全の体制で確実な業務履行をお約束します。

ソーシャルメディアの利用の際の徹底事項	
①	個人における発言の自由、思想の自由を尊重した上で、法令等に違反する情報、又は違反するおそれのある情報に十分留意し、区の職員としての自覚と責任を持った言動を心掛ける。
②	区及び区と関係を有する者又は団体の秘密に関する情報を発信しない。
③	区及び他者の権利利益を侵害する情報を発信しない。
④	守秘義務に反する情報を発信しない。
⑤	信頼性のない情報及び単なる噂や風評等を助長させる情報を発信しない。
⑥	わいせつな表現などを含む不適切な情報を発信しない。
⑦	職務に関する情報のうち、意思形成過程における情報の取扱いには十分留意する。
⑧	業務として利用する場合を除き、就業時間中の利用は職務専念の義務に反するため、厳に慎む。

【業界屈指のセキュリティ対策】Point

代表企業グループは、ゲームソフト開発という知的財産そのもの

が業績や企業間競争に直結する業態であることから、スポーツクラブ業界では**群を抜くセキュリティ対策**を施しており、業務用パソコンには、万全な情報管理システムを構築しています。

本業務に関する機密情報の漏洩等を生じない、物理的な仕組みを構築します。

万全な情報管理システム	
予見回避	①セキュリティソフトの定期更新 全パソコンにセキュリティソフトを導入し、常に最新版へ更新。本社ヘルプデスクがサポート
	②スクリーンセーバーのパスワード設定 全てのパソコンはスクリーンセーバーロックし、利用制限
	③業務用パソコンの外部持出ルール徹底 業務用パソコンは全職員社外への持出禁止
結果回避	ハードディスクパスワード認証設定 ハードディスクパスワード認証の設定により、管理者以外起動ができない

【個人情報保護理解度テスト】Point

代表企業は全職員に対し、オンラインでの**個人情報保護理解度テスト**及び施設内の個人情報保護状況の確認を実施しています。

実施事項	内容	回数
1. 個人情報保護理解度テスト	職員に対して、個人情報保護に係るテストを定期的実施	年1回以上
2. ITセキュリティ理解度テスト	職員に対して、ITセキュリティ(データ取扱)に係るテストを定期的実施	年3回

形式的なテストではなく、施設で取扱う帳票や申込書等の個人情報保管方法や、利用者への案内、パソコン等電子機器類を使用する上での注意事項に至るまで、**実践的な内容で難易度も高いもの**になっており、全職員の個人情報保護に関する理解向上を図っています。

【職員退職後の守秘義務】

機密事項に関する守秘義務は、雇用期間中はもちろんのこと、退職後であろうと遵守する必要があります。

私たちは、本施設の職員が職務を退いた後の守秘義務に関し誓約書提出や罰則規定を設ける等、抑止力を働かせる仕組みを構築しています。

本市の重要施策を踏まえた取組

情報公開

【情報公開規程の策定】

施設運営に関する情報については、自発的に開示します。

業務の履行に当たっては、「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」等の趣旨に則り、**独自の情報公開規程を策定**し、全職員に徹底を行うほか、施設のホームページ上に、情報公開規定を掲載し、開かれた施設運営に努めます。

【利用者アンケート結果の館内掲示】

地域に信頼される透明性の高い運営を行うために、年に1回実施する利用者アンケート結果を、本施設内に掲示します。

どのような点が評価され、どのような点に課題があるのか、開示することで、緊張感が高まり、サービス改善にも効果的です。

利用者に運営情報を開示することで、信頼関係を構築します。



アンケート結果の掲示

【意見・要望・苦情への回答】

地域に開かれた信頼される運営を行うために、利用者アンケートや意見・要望・苦情に対し、**施設内掲示板に回答書**を掲示することで、

意見箱で投函された説明責任を果たします。

回答の際にはプライバシーに配慮し、パソコンで打ち換えたうえで、回答します。

【施設情報の見える化の推進】Point

私たちは、本施設の情報は区民の共有財産と認識し、実施した研修内容や修繕報告・イベント等の**運営状況を施設内で掲示**します。

施設の情報の見える化の推進により、運営の透明性を高めます。



メンテナンズ日に実施した研修報告



メンテナンズ日実施した修繕報告



環境保護に対する報告



イベント報告

人権尊重

【公平・平等なサービス提供】

利用者の平等な利用を確保するために、施設の使いやすさ・安全性等のハ

平等公平な利用を確保する7つの方針	
方針	実施事項
① 誰もが平等、公正・公平に利用できる機会の提供	優先利用・一般利用・自主事業への配慮
② 誰もが同様のサービスを享受できる仕組みの構築	おもてなしの心を大切にした接客サービス
③ 誰もが参加できるプログラムの提供	運動が苦手な人、運動をしない人でも参加できるプログラムの実施
④ 多世代の多様なニーズに応える多目的プログラムの提供	子どもから高齢者、競技力向上、健康・体力づくり等様々なニーズへの対応
⑤ 安全かつ快適で利用しやすい環境の提供	施設利用に関する様々な障壁を取り除くバリアフリーな対応
⑥ わかりやすい・伝わりやすい情報の提供	情報をわかりやすく様々な媒体を通じて多くの市民へ提供
⑦ 地域と連携した平等利用への取組み	地域団体・地域の事業と連携した平等利用への意識啓発

ド面、事業・料金・職員対応等のソフト面の両面において、様々な「世代」「地域」「背景」の方々が快適に施設を利用することを考慮する必要があります。

本市の重要施策を踏まえた取組

私たちは、右上図の通り7つの取組みを掲げ、**誰もが利用しやすい環境**を整えます。

【公共事業従事者・行政施策理解研修】

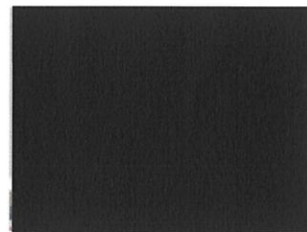
公の管理代行者として、行政施策及び施設の設置目的を職員一人一人が理解する必要があります。

私たちは、**公共事業従事者研修**や行政施策を理解するための研修を実施します。

【人権研修の実施】Point

代表企業が指定管理者として運営している全国の施設では、各自治体による人権研修を積極的に受講しています。

市・区が実施する人権に関する講演に本施設の職員の参加を計画するほか、市・区が推進される各種施策について、施設内で**積極的に告知活動**を行い、多くの利用者に関心を持って頂けるよう協力します。



人権研修の実施

【LGBT 等への配慮】

昨今、LGBT 等を含む多様な性のあり方を理解した上での対応が、公共施設には求められています。私たちは、更衣の際には相談室をご案内する等、可能な限り、どのような性のあり方にも対応できる運営を行います。

【市開催の人権啓発セミナーへの参加】

市にて、定期的に開催されている「企業向け人権啓発セミナー」に本施設職員も参加します。職員の人権意識を高め、人権感覚を磨くことで、利用者一人一人を思いやる**あったかい施設**を目指します。

【人権啓発ポスターの掲示】

横浜市では、市民一人一人の人権が尊重される社会を実現するため、人権尊重の精神を視覚的に訴えるため、**人権啓発ポスター**を作成しています。

私たちは、本ポスターを施設内に掲示し利用者への人権啓発に繋がります。



人権啓発ポスターの掲示

【SDGs推進活動】Point

私たちは、SDGs 先進都市の横浜市の活動に則り、**施設内に SDGs の 17 の目標を掲示**し、私たちの取組みが 17 のどの目標と結びついているかを示し、普及啓発を図ります。

イベントや教室の案内物には「3.すべての人に健康と福祉を」と「11.住み続けられるまちづくりを」、多目的トイレ・更衣室には「5.ジェンダー平等を実現しよう」、冷水機には「6.安全な水とトイレを世界中に」を貼付する等、利用者への啓発を行います。



SDGs 取組みイメージ

本市の重要施策を踏まえた取組

ヨコハマ3R 夢プラン・環境への配慮

【SDGs未来都市への協力】

横浜市においては、平成 30 年 6 月、「SDGs 未来都市」の選定を受ける等、SDGs の達成に向けた取組みに積極的に取組まれています。

私たちも、ゴミ排出量の削減や、エネルギーの有効利用等による温暖化対策を図ることで、環境改善に繋げ、環境に配慮した管理運営を行います。



【「6R 活動」によるゴミの減量と資源化の推進】

ヨコハマ 3R 夢プランでは、令和 7 年までに「ごみの総排出量 10%以上削減」、温室効果ガス 50%以上削減（共に平成 22 年度対比）を目指しています。

私たちは、「3R 活動」に加え、更に 3 つの R をプラスし「6R」を推進し、利用者と協働で**ゴミ分別**や、ゴミ持ち帰り運動を推進します。

また、職員自身も**弁当、マイマグカップ、マイ箸を持参**し、ゴミの抑制に努めます。

6R

Reduce (リデュース) ごみを減らそう！	Refuse (リフーズ) 不必要な物を廃止しよう！
Reuse (リユース) くり返し使おう！	Repair (リペア) 修理して長く使おう！
Recycle (リサイクル) 再び資源として利用しよう！	Rule (ルール) きまりを守ろう！

【施設周辺の清掃活動】Point

区では、「つながり清掃ウォーク」を実施し、街の美化をきっかけに地域のつながりを持った活動になるよう取組んでいます。

私たちは、職員のみならず、地域住民にも積極的に参加の呼びかけを行い、協働での地域清掃を実施し、**地域の美化・地域との絆の強化**に努めます。














地域の清掃活動への協力

本市の重要施策を踏まえた取組

【環境に配慮した具体的な取組み】Point

私たちは、新規採用者には、ヨコハマ 3R 夢プランに沿った研修を行います。省エネや環境負荷低減を行い、環境に配慮した商品・サービスの購入を推進し、また、廃棄に当たっては**資源の有効活用や適正処理**を図る等、利用者と一体となって環境保全に努めます。

項目	内容	
適切な空調温度の設定	バックヤードなどの運営に直接関わらない箇所は、空調負荷低減をするために、 設定温度を外気温度 に近づけて設定します。	
空調機器の時間差稼働	施設全体の電気使用量負荷の ピークカット を行うため、空調機の起動時間を時間差で起動します。	
外気冷房	春旬・秋旬時期のバックヤードの冷房には、冷房負荷を低減するため、 外気を多く取り入れる外気冷房 を積極的にを行います。	
照明の無駄の排除	バックヤードの照明は全点灯をせず、照明管球の間引きや 不要場所の消灯 をすることで、照明負荷を減らします。	
照明の反射板の清掃	照明の適正な照度確保のため、照明の 照射面の清掃 を定期的実施します。	
屋光利用	自然光を積極的に採光 することにより、照明負荷を低減させます。	
建物のデマンド抑制への協力	建物全体の電気基本料金は電気の ピーク使用量が影響 します。建物全体の電気使用量に合わせ、電力削減に努めます。	
給水量調整	多くの利用者が使用するトイレ等は、衛生面に影響がしない程度に、 給水量を調整 することで、水道使用量の低減に努めます。	
ペーパーレス活動	運営管理に関する 書類のデータ化 により、紙資源使用量を削減します。	
グリーン品購入の推進	消耗品や備品は、環境への負担が少ないものから優先して購入します。また、施設管理スタッフは、 リサイクル可能な作業着 を着用します。	
エコキャップ活動の実施	缶・ゴミ・ペットボトル、プラスチック容器等の資源ゴミの分別排出の徹底と、エコキャップ・プルタブの 積極的な回収 をします。	

【最新型ヒートポンプ方式自動販売機の設置】

自動販売機は、24 時間 365 日稼働し続けているため、電力消費量の低減は必要不可欠です。私たちは、**最新のヒートポンプ方式自動販売機**を追加で設置し、断熱性能が高く日中に冷却しないピークシフトで電力消費量削減に繋がります。

【資源回収ボックスの案内】

現在、南スポーツセンターの資源回収ボックスの利用は終了し、廃止されています。

私たちは、本施設周辺の資源回収ボックス設置施設（南地区センター・資源循環局南事務所等）を案内し、区民の資源回収に協力します。

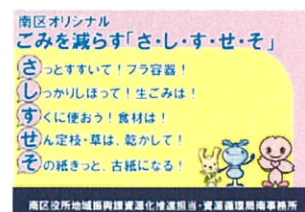


資源回収ボックスの案内

【南区オリジナル「ごみを減らす さ・し・す・せ・そ」に協力】Point

南区では、南区オリジナル「**ごみを減らす さ・し・す・せ・そ**」を作成しています。

私たちは、これらの取組みの遵守はもちろん、施設内に本取組みを掲示することで、利用者への周知を図ります。



POPの掲載

【横浜市自転車活用推進計画への協力】

自転車は、環境への負荷が少なく、健康増進にもつながるため、横浜市では「**横浜市自転車活用推進計画**」を策定しました。

私たちは、「横浜市自転車ライフポータルサイト ByCycle ヨコハマ」を活用し、ヨコハマサイクリングマップを本施設に掲載する等、自転車社会の形成に貢献します。



ヨコハマサイクリングマップ掲載

本市の重要施策を踏まえた取組

【緑のカーテンの実施】

南区では、**緑のカーテンプロジェクト**を実施し、「緑の力で地球を冷やそう！」を合い言葉に、「緑のカーテン」づくりを支援しています。

私たちは、全国の施設で緑のカーテンを実施しており、本施設においても同様に取組みます。



類似施設での事例

【横浜市環境教育出前講座の活用】

横浜市中期 4 ヶ年計画では、環境に対して関心があり、行動に結びついている人の割合は 52.8% (29 年度) で、目標値 (33 年度末) の 60%にはまだ届いていません。

横浜市では、生物多様性や地球温暖化といった環境問題への理解を深めるため、「**環境教育出前講座**」を実施しています。

私たちは、市の実施する出前講座を本施設でも実施することで、普及啓発を行います。

市内中小企業先発注

【委託の基本的な考え方】

私たちは、メーカー及び専門業者による点検が必要な業務や、作業のクオリティが損なわれずにコスト削減へと繋がる業務は、右図条件を参考に信頼性のある業者に外部委託を行います。

再委託先選定条件
1 法令遵守(個人情報保護法含む)している企業であること
2 経営的に安定している企業であること
3 委託業務に関する必要資格を有していること
4 緊急時に迅速な対応が取れる体制を有していること

外部委託を含め、取引の開始にあたっては、与信状況・経営状況等を確認する等、法令遵守を最低限の管理点としています。

また、これらの条件に合致した上で、区内業者の育成及び区内経済の活性化を図るため、協力を同意頂いている地域団体とも連携を図りながら、**優先的に区内業者を活用**します。

【優先発注する市内中小企業】

横浜市内中小企業振興基本条例を踏まえ、私たちは、市内の中小企業への優先発注の徹底に努めます。

スケールメリットがありながらも、**青葉スポーツセンターでは本社の東京体育用品(株)や(有)鈴木商店等の市内中小企業**への発注を行っており、本施設でも同様に取組みます。

保守点検・清掃業務一覧	
委託予定企業	業務名
駐車場監視装置	アマノ(株)
自動扉保守点検	神奈川ナブコ(株)
空調・給排水設備	区内点検業者(予定)
自家用電気工作物点検	関東電気保安協会(市内)
機械警備監視	区内機械警備業者(予定)
昇降機保守点検	区内点検業者(予定)
修繕工事	区内点検業者(予定)

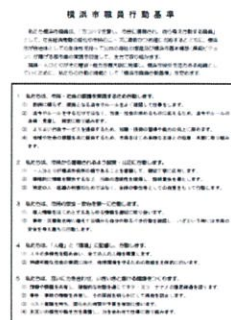
関係法令の遵守体制

本市の重要施策を踏まえた取組

【市の目指すコンプライアンスへの協力】Point

横浜市では単に法令を遵守するにとどまらず、市民や社会からの要請に全力で応えていくことをコンプライアンスと位置付け、職員行動基準を定め、コンプライアンスを重視する職場風土の醸成に努めています。

私たちは、市と方向性を合わせるべく、市の掲げる**職員行動基準**を**事務所内に掲示**し、本施設の職員に徹底します。



職員行動基準の掲示

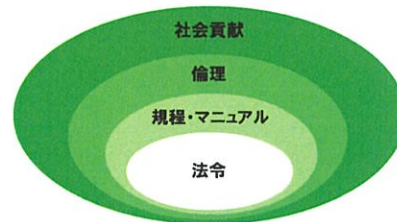
【関係法令の遵守】

法令を遵守すべき範囲は、ここまでという明確なもの無く、法令・規程・マニュアル・倫理・社会貢献等の範囲で、各団体の自発的な取組みとして行われます。

各団体での取組みも千差万別で、最低限の法令遵守を追求する団体から、社会貢献まで積極的に取り組む団体等、様々です。

私たちは、右図の通り、公の施設の管理者として、**社会貢献**までを意識して取組みます。

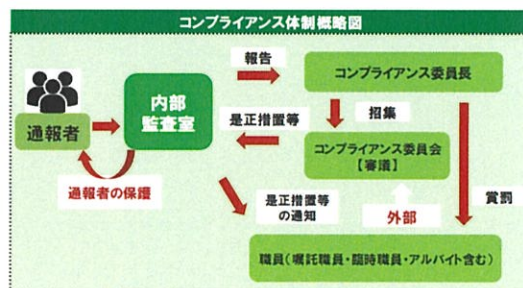
<法令遵守の範囲>



【代表企業のコンプライアンス体制】

代表企業は、企業理念の一つにコンプライアンスを掲げ、入社時にはコンプライアンス違反をしないことへの誓約書の提出を義務付けています。

さらに、コンプライアンス違反やハラスメントについて、内部通報制度を整備し、不適切な事案を見聞きした場合、誰でも通報でき、法令を遵守する体制を構築しています。



【代表企業のコンプライアンス研修】

代表企業では、毎月3日をコンプライアンスの日とし、職員の意識を高めるだけでなく、社内ネットワーク内にて、毎月**コンプライアンスの研修動画を配信**しており、全職員が視聴するよう義務付けられています。



また、コンプライアンスに関する通達文書の配信や、年3回コンプライアンス理解度テストの実施を全職員に徹底しています。

【コンプライアンスチェック表の作成】

本市の重要施策を踏まえた取組

施設の鍵の管理・金銭管理・法令に係る事項の対応状況をチェックする**コンプライアンスチェック表**を作成します。

公共施設を運営する者として厳格な自己管理を行います。

コンプライアンスチェック表(一部)

- ・法令を遵守し、全体の奉仕者として、誠実かつ公平に職務を行っている。
- ・個人情報収集するときは、個人情報保護条例に定める個人情報取扱事務登録簿を作成し、その目的を明示して、必要最小限の情報のみ収集している。
- ・鍵の管理は、台帳を作成し上長から許可をもらってから鍵の受け渡しを行っている。
- ・金銭管理を行う従業員は、社内研修を受けなければならない、金銭取扱は二名以上で行っている。

【構成企業のコンプライアンス体制】

構成企業は、社長直轄組織としてグループコンプライアンス本部を設置する等の取組みを行い、コンプライアンスを全般を管轄しています。

【本社部門による監査体制】

代表企業では、無作為に抽出した施設に対して、本社部門による施設への会計監査および内部統制の実施を行っています。

監査では、棚卸商品在庫の実査・固定資産の実査・適正な経理帳簿の運用の確認等を行っており、不正な経理処理が行われないよう、**本社部門からの牽制機能**の役割を果たしております。

本施設においても、現場の適正な運用のみならず、本社サイドから施設での運用を確認し、二重三重のセーフティーネットを構築します。

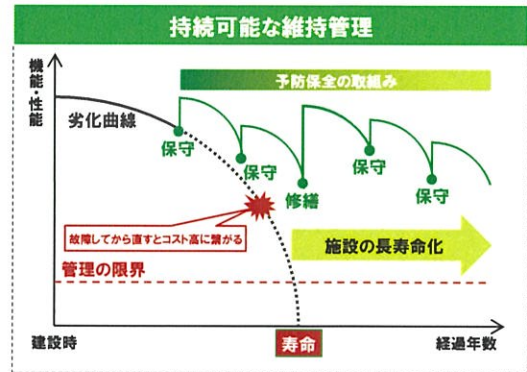
管理運営経費

(1) 利用料金等収入増及び経費縮減への取組

ライフサイクルコスト縮減・省エネへの取組

【予防保全を基礎とした維持管理】

一般に、建物の企画・建設から除却されるまでのライフサイクルコスト (LCC) のうち、約 81%を維持管理経費が占めます。特に公共施設は「利用目的の達成とそれ以上の高度利用」が求められ、その維持管理経費の効果を十分に反映させる必要があります。LCC をより効果的にするには、維持管理計画が非常に重要であり、その代表が「長期修繕計画」の「**予防保全計画**」です。



無計画のまま、故障時・必要時のみ対応では、本来の市民サービスに大きな影響を受けるだけでなく、LCCについても結果高コストになってしまいます。

私たちは、**計画的に予防保全を実施し**、定期的なメンテナンスを行うことで施設がもつ機能を最大限利用し、予算及び環境負荷の低減化を図ります。

【省エネマニュアルの作成】

本施設の水光熱費は約 12,000 千円/年となっています。

私たちは、過去の施設のエネルギー使用状況のデータを

エネルギー管理の実施	
項目	具体的な実施事項
①使用を減らす	施設全体の時間帯別、曜日別、季節別にエネルギーの使用量を把握し、外気温等の天候データを勘案して図表化
②消費を減らす	施設の運用上で発生する大量の情報を収集・分析・処理・活用して常に最小のエネルギーで施設を運用するための方法を模索
③利用効率を上げる	機器の延命化か更新によるランニングコストの低減化の選択
④調達方法を工夫する	総電気使用量と最大需要電力量低減のための設備の運転パターンの見直し

を分析し、その傾向を基に**省エネマニュアルを作成**します。

右表のようなメリハリをつけたエネルギー管理を行うことで、環境問題と利用者サービスを両立させ、効率的な管理を行い、経費縮減を図ります。

【品質、環境の両側面から管理運営への配慮】

構成企業は、品質マネジメントシステム ISO9001:2000 及び環境マネジメントシステム ISO14001:2004 を取得しており、右表の通り、①CO2 排出抑制、②排出汚水の水質管理、③廃棄物削減、④紙類の削減に取組み、ライフサイクルコストの削減、省エネへの取組を行います。

- ①CO2排出抑制への取組姿勢について**
 - ・月間、週間、日別の**光熱水使用予算を設定**、使用料検針を毎日行い統制管理
 - ・**季節に応じた標準温度管理**、照明設備の点灯・消灯の時間管理
 - ・定期的な**空調フィルター清掃**
 - ・**光熱水使用量をデータ化及びグラフ化し**、使用料推移を把握
- ②排出汚水の水質管理について**
 - ・法令を遵守した、排水水質基準の**徹底管理**
- ③廃棄物の削減について**
 - ・分別作業を徹底し、**100%資源ゴミを回収してリサイクルを推進**
 - ・**廃棄物の排出量をデータ化及びグラフ化し**、排出量を把握
- ④紙類の使用及び削減について**
 - ・紙類については極力、**再生紙を使用**

管理運営経費

【省エネルギー推進の体制】

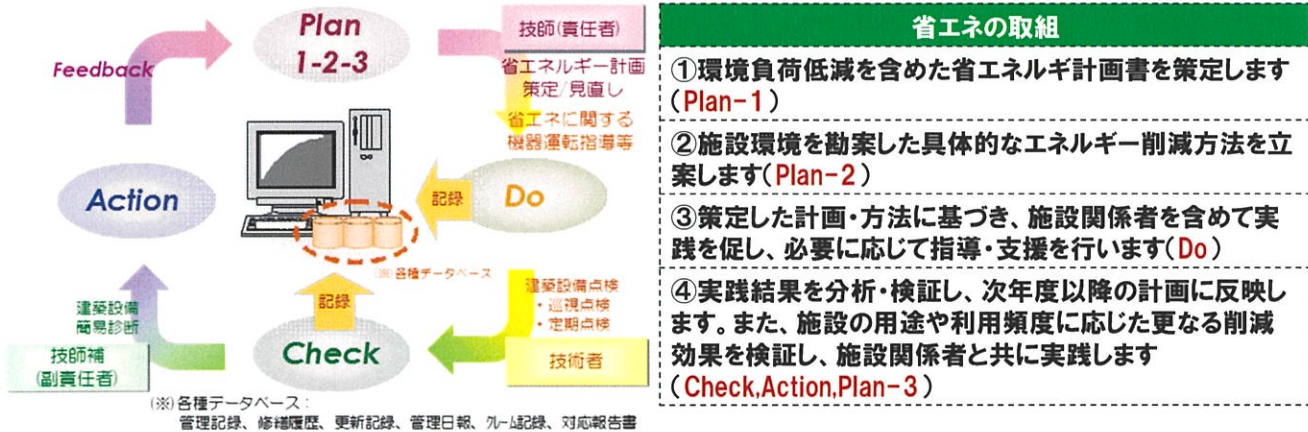
本施設での省エネ対策の強化は重要課題の一つと認識しています。一方で、コスト削減を追求した省エネ対策が、「施設環境の悪化をきたす」「利用者からのクレームや利用の低減をもたらす」「機器の劣化を早める」という結果では意味がありません。

私たちは、安易な省エネ提案を拙速に行うのではなく、上図の本施設に適した**実践的な省エネ管理手法**を積極的に取り入れます。

省エネルギー推進に向けた取組み	
STEP1 実施体制の確立	・省エネルギー推進責任者の決定 ・職員への環境教育の実施
STEP2 機器能力・設備効率・エネルギー使用の把握	・エネルギー消費状況の把握 ・熱源機器の能力チェック ・ポンプ・送風機の動力、配管・ダクトの断熱チェック
STEP3 目標の設定	・省エネルギー方針の明確化 ・数値目標の決定と計画骨子の策定
STEP4 省エネルギー活動の実施	・最適運転による省エネ推進の実施 ・節エネ型省エネ推進 ・省エネ課題の抽出と将来的な機器導入の検討
STEP5 効果の確認	・数値データの確認 ・専門技術者からの意見収集

【消費エネルギーデータの検証】

私たちは基本エネルギーや水光熱消費量の分析を行い、消費エネルギーの削減を実践します。また、設備の運転等に関する分析能力を活かした **PDCA サイクル** を活用し、以下の方法で省エネルギーを推進します。



【こまめな省エネルギー対策の実施】

私たちは、本施設の過去のエネルギー使用状況をデータ分析し、その傾向を基に**省エネマニュアル**を作成します。

また、温室効果ガスの排出削減に向けて、右図の**省エネルギー対策**を実施し、さらに省エネ法・省エネに関する手法等の知識・技術を学ぶ研修を行い、職員に省エネについての意識啓発を行い、環境に優しい施設を作り上げます。

項目	方策	電気	水道	燃料
1 (空調) フィルター等の定期点検	適正な頻度で点検、清掃を実施 ※目詰まりによる空調機器の効率低下防止	○		
2 無駄な照明の削減	職員・利用者が使用しない場所の消灯の啓発、昼光を積極的に採用し電力消費量削減	○		
3 PC不使用時の電源管理	待機電力を削減	○		
4 施設関係者への啓発	掲示物等で注意喚起(シャワー節水等)	○	○	

省エネを促す告知物の掲示	省エネルギー推進委員会の設置	省エネ・エネルギー管理研修

管理運営経費

【効率的な運転制御】

光熱水費は、サービスの水準とも関係するため、臨機応変かつ利用者目線の取組が求められます。

エアコン温度管理・冷却機器・照明機器の清掃等の節電対策を徹底します。

設備名/項目	光熱水費、使用燃料の節約に向けた取組みの具体的な内容
分散起動	順次起動させることにより、立上がり時のピーク電力を抑制
空調設備	中間期の外気冷房の実施 中間期は、外気によって自然冷房を実施 フィルター清掃 汚れによる目詰まりは、損失が大きく風量低下やファン動力が増大するため、年3回エアフィルターを清掃して空調効率を維持 管理温度の維持 温度計等を活用し、実温度と設定温度の差があれば変更して管理温度を極力維持
照明設備	照明制御盤の範囲表示 無駄な点灯や消し忘れ防止のため、点灯エリアを使用者が認識できるように表示 採光を利用した消灯 日中、外光で充分な明るさが確保できる場合は積極的に採光を利用し消灯を実施 外灯点灯時間の季節別管理 屋外照明(屋外灯、駐車場灯等)の季節に応じた点灯時間管理 事務エリアの管理 JIS照度基準を考慮し、可能な範囲で間引点灯、不在時には小まめな消灯を実施 自販機の管理 自販機は照明の消灯を実施 事務機器の管理 コピー・ファックス複合機等は省エネモードに設定、業務終了後は電源オフ 個人用端末(PC)は離席時や不在時は、待機電力削減のため、電源を小まめにオフ 冷気・暖気の流出防止 搬入口・バックヤードの扉を閉めて、冷気暖気の流出を防止

【節水システムの導入】

代表企業が運営する類似施設では**節水システムを導入**し、水の節約に取り組んでいます。

水道代の縮減はもちろん、お湯を節約することで燃料代の縮減も可能です。

私たちは、節水の専門企業であるアース&ウォーターに依頼し、節水効果のシミュレーションを依頼し、削減出来る場合は導入します。



節水システムによる経費縮減

【予防保全・日常点検の強化によるライフサイクルコスト削減】

点検により劣化を早期に発見し、壊れる前に修理する予防保全の考えのもと、維持管理経費の縮減を図ります。

トレーニング室においては、代表企業の**職員が機器の日常点検**を強化し、不備・不具合箇所の早期発見に努め、ライフサイクルコストの削減を図ります。

経費縮減方策の実効性

【経費縮減の方針】

横浜市中期4カ年計画の財政運営の取組みには、「市民ニーズに迅速かつ柔軟に対応する財政運営の推進」を掲げられています。

私たちは、セクショナリズムを排除し、職員の多能化を進めることで、業務の内製化を推進し、「**ムリ・ムダ・ムラのない**」効率的な管理運営コスト削減の工夫を図ります。

経費縮減の基本的な考え方

- ①施設の**設置目的**と指定管理業務の**安定性・継続性**を確保すること
- ②人員の**適正配置**を行い、**サービスの質**をしっかりと確保すること
- ③公の施設の**指定管理者**であり、**経費支出**についても**市民目線**で捉えること
- ④**労働者の雇用条件**を犠牲にするようなものでないこと

【スケールメリットを生かしたトレーニング機器等の物品調達】

上場企業の親会社を持つ代表企業のスケールメリットや構成企業の専門業種のネットワークを活かし、各種事務用品・備品等、あらゆる分野で安価に調達します。

代表企業の業界 NO.1 の運営施設数を活かした**スケールメリット**により、トレーニング機器等のスポーツ関連備品を業界最安値で調達することが可能です。

管理運営経費

【本社経理部門との連動による徹底したコスト管理】

代表企業では、本社経理部門と各施設が常に連動し、徹底したコスト管理を行います。

総括責任者は、支出発生時には本社経理部門への報告・相談を行い、その支出と収支計画とを照らし合わせ、適切な支出であることを確認・判断します。

また、必要な備品・消耗品等を、適正なコストで効率的・計画的に購入するよう、本社部門が一元的にチェックできる電子決裁・資産管理システムを導入しています。

【経費縮減策実行のプロセス】

経費縮減策の実行にあたり、利用者への影響が懸念される場合は、複数の目で確認を行った上での導入とします。

必要に応じて、代替案や激変緩和策を講じ、利用者への影響を最小限となるよう、万全の注意を払います。内容により、試験期間を設け、必ず効果検証を行い、有効であれば継続する仕組みを構築します。



【コストダウンからバリューエンジニアリングへ】

管理運営経費縮減にあたり、単純な減額であるコストダウンでは、結果的に利用者サービスの低下を招きます。

私たちは、コストあたりの**性能・満足度を最大化するバリューエンジニアリング**の考えに基づき、対応します。

各業務における専門家が、全国の管理運営施設で培った実績に基づき、知恵を出し合うことで、置かれた環境の中で、利用者サービスを最大化するよう努めます。

収入増加方策の実効性

【現サービスの継続】Point

今まで積み上げられてきたサービスを0にするのではなく、指定管理者の変更によりサービス水準が低下することがあってはなりません。

私たちは、現在本施設で実施されている右記サービスを新たに実施・継続することで増収を目指します。

私たちは、**毎年度指定管理者の引継ぎを経験**していることや、全国の民間スポーツクラブと公共施設の双方を多数管理運営しており、事業を継続できるだけの経験とノウハウがあります。

現サービス及び事業一覧	
・スポーツ用具レンタル	・スポーツタイム(個人開放)
・教室のWEB申し込み	・Wi-fi環境整備
・契約ロッカー	・様々な運動教室
・物販事業	・全職員へのCPR・AED研修

【新たなサービス向上利用促進策】

私たちは、効果的な増収策として、右図の新たなサービス向上利用促進策を実施します。

特に、本施設は工事休館を予定しているため、様々な取組みにより収入を増加させます。

新たなサービス向上利用促進策	
・トレーニング室リニューアル	・レスミルスプログラム提供
・キャッシュレス券売機	・トイレウォッシュレット化
・駐車場機器更新	・トップアスリートイベント
・トッププロチームによる教室	・タウンニュースSNS広報

(様式 12)

共同事業体名 みなみスポーツ共創パートナーズ
施設名 横浜市南スポーツセンター 提案書

管理運営経費

【地域ニーズを捉えたスポーツ教室を営業時間外に自主事業として開催】

私たちは、スポーツ教室を開催することで収入増加を図ります。

本施設でも大人気のレズミルズプログラムや、女性に人気のヨガ教室、子ども向けダンス教室等、現在好評の教室を継続します。

新たに地元プロスポーツチームによる教室も開催し、地域のスポーツ振興に貢献します。

【開館時間延長の実効性／個人利用・教室】

21～23 時の開館時間延長については、代表企業が現指定管理者として管理運営している青葉区スポーツセンターの取組みを参考にしており、高い実効性が見込まれます。

青葉スポーツセンターも、同じ様に月曜～土曜日の開館時間を 23 時まで延長しており、個人利用については、**スポーツタイムの平均参加者が毎回 20 人以上**、教室については、実施している 17 種類の**教室の平均参加者が 12 人以上**であり、十分な収益性が確保できています。

本施設周辺のマーケット情報を分析した結果、右上表の通り、周辺人口は青葉スポーツセンターと比較すると 150%を超えています。

さらに、南区の夜間人口は昼間人口より高くなっているため、本施設でも**高い潜在ニーズ**があり、後述する自主事業の収入は実効性が高いと言えます。

■施設周辺人口(周辺3km圏)

	1km	2km	3km
①本施設	48,176名	181,761名	393,635名
②青葉スポーツセンター	26,878名	115,714名	255,331名
①/②	179%	157%	154%

【開館時間延長の実効性／団体利用】

本施設の稼働率は右表のように、1 日の平均でも非常に高い数値となっています。

特に新たに G 区分として提案する 21～23 時の前である**F 区分(19～21 時)の稼働率は平均値以上**です。

この数値は夜間のニーズの高さを示しており、実効性の高さに繋がっています。

H30年度稼働率		
居室	平均	F区分
第1体育室	95%	97%
第2体育室	98%	99%
第3体育室	94%	93%
研修室	90%	91%

【新たなサービスの効果を高める幅広い広報の充実】

私たちはタウンニュースとの連携を始め、下記の通り**メディアミックス**により、多くの施設情報を市民に届け、新たな提案を効果を最大限発揮します。

幅広い広報手段						
媒体	ホームページ	パンフレット	チラシ	SNS	広報よこはま南区版	タウンニュース神奈川新聞
対象	全利用者	来館者	各施設周辺居住者	若年層	高齢者	地域住民
内容	施設内容や事業等全般の情報	施設内容	事業トピックス	利用者からの発信	事業トピックス	施設内容トピックス
頻度	随時	随時	年4回以上	随時	毎月	随時

(様式 12)

共同事業体名 みなみスポーツ共創パートナーズ
施設名 横浜市南スポーツセンター 提 案 書

管理運営経費

(2) 施設の課題等に応じた費用配分

事業収支計画の根拠

■指定管理収入

【利用料金収入／団体利用】

団体利用は、新型コロナの影響の無い**平成 30 年度の実績**を基準に計画しました。

各居室の利用料金実績は、事業報告書等でも報告されていないため、各居室の利用区分ごとに、稼働率と団体数に利用料金単価を掛け合わせ、市の利用等の減免利用も考慮に入れて算出しています。

本施設は稼働率が非常に高いですが、空き枠の可視化や研修室へのプロジェクター設置等により、さらなる利用増加を目指します。

(千円)

	R4	R5	R6	R7	R8
第一体育室	6,297	6,485	6,517	6,549	6,581
第二体育室	1,861	1,954	1,963	1,972	1,981
第三体育室	1,881	1,890	1,899	1,908	1,917
研修室	1,144	1,201	1,261	1,286	1,311

【利用料金収入／個人利用】

個人利用は、新型コロナの影響の無い**平成 30 年度の実績**を基準に、SNS 等の広報強化やトレーニング機器更新等のサービス向上策により、利用を伸ばすことができると考えています。

体育室は令和 5 年度以降、毎年 1～1.5%増、トレーニング室は 2～3%増としています。

(千円)

	R4	R5	R6	R7	R8
トレーニング室	15,125	15,578	15,889	16,206	16,530
体育室	2,066	2,096	2,127	2,148	2,169
駐車場	10,457	10,770	10,931	11,094	11,260

【スポーツ教室等事業収入】

スポーツ教室事業収入に関しては、**平成 30 年度実績**を参考に、現在の教室内容をほぼ全て引き継ぐ計画です。

令和 4 年度は、講師の引継ぎ等に係る一時的な利用減少を見込んでいますが、令和 5 年度以降は、レスミルズプログラム等、**代表企業だからこそできる集客力の高いプログラムの実施**を予定しており、収入は年々増加し、現指定期間の実績を大きく上回る計画です。

(千円)

	R4	R5	R6	R7	R8
スポーツ教室等収入	57,429	58,577	59,162	59,753	60,350

(様式 12)

共同事業体名 みなみスポーツ共創パートナーズ
施設名 横浜市南スポーツセンター 提 案 書

管理運営経費

■自主事業収入

【スポーツ教室等事業・利用料金収入(時間外)】

私たちは、現指定期間行われていない、**21時から23時までの利用時間延長を実施**するため、自主事業として実施するスポーツ教室等収入・利用料金収入を計上しています。

積算に当たっては、代表企業が運営しており、既に同様の時間延長を実施している青葉スポーツセンターの実績を基にしています。

さらに、本施設近隣は住宅が多いため、音の出やすいスポーツ教室を少なくしたり、19時から21時までの稼働率が99%と非常に高い第二体育室を貸館として運用する等、本施設の特性に合わせて**最も効果的な活用方法**を予定しています。

区民のスポーツ実施機会を格段に向上させるとともに、大きな収入増加を計画し、ひいては指定管理料削減を実現させています。

なお、令和4年度については、本施設の安定した引継ぎや利用者への案内等の準備期間が必要であるため、**6か月分の収入計画**となっています。

絵に描いた餅ではなく、実績に基づく、地に足のついた収入計画です。

(千円)

	R4	R5	R6	R7	R8	参考:青葉SC H30
スポーツ教室等収入 (時間外)	1,037	2,220	2,264	2,309	2,355	5,239
利用料金収入 (時間外)	4,483	9,034	9,214	9,398	9,585	5,359
駐車場利用料金収入 (時間外)	650	1,396	1,409	1,423	1,437	—

※青葉スポーツセンターの利用料金収入(時間外)は施設使用料を含んでいません。

【物販事業その他】

現在実施している自動販売機、物販、レンタル等は、利用者サービスの継続のため基本的に踏襲します。

また、自動販売機については、食品自販機の導入も検討しており、さらなるサービスの向上についても積極的に導入していきます。

飲食事業・物販事業ともに、施設利用者数の増加に伴い、毎年1%ずつ増加する計画です。

(千円)

	R4	R5	R6	R7	R8
飲食事業	1,975	1,994	2,013	2,033	2,053
物販事業	1,267	1,279	1,291	1,303	1,316

(様式 12)

共同事業体名 みなみスポーツ共創パートナーズ
施設名 横浜市南スポーツセンター 提案書

管理運営経費

■支出

【支出計画:人件費】

人件費は、次期指定期間より賃金スライドを反映させる仕様となるため、5ヶ年同額の設定としています。(43,687千円/年)

代表企業・構成企業の類似施設のノウハウを活用した**効率的かつ効果的な配置**とし、必要なポストに適切な人員を配置します。☞様式 10 「人員配置計画」参照

	現指定期間	R4	R5	R6	R7	R8
人件費	44,640	43,687	43,687	43,687	43,687	43,687

【支出計画:その他経費】

主な支出の詳細は次ページの「予算配分」に記載しています。

全て項目は以下の通り、直近の実績を踏まえた妥当性の高い支出計画としています。

科目	H30実績	R4計画	詳細
人件費	43,713	43,687	本施設の職員の給与・法定福利費・通勤費・福利厚生費・確定拠出年金等です。 マルチジョブ化の取組や地元雇用の推進により、経費削減に努めます。
修繕費	7,323	6,600	施設・設備の修繕に係る費用です。 進行する老朽化や令和元年度の実績値をもとに仕様(5,500千円)を上回る金額で積算しています。 予防保全の取組、適切な時期に修繕を行うことで、施設の長寿命化を図ります。 なお、H30年度の実績額は、LED化992千円が含まれているため増加しています。
設備管理費・保安警備費	6,305	5,921	施設・設備の保守点検(5,327千円)及び警備(594千円)に係る費用です。 快適な利用環境を提供するため、適正な維持管理費用を見込んでいます。 第三者委託に関しては、地元業者を最優先とし、地元経済活性化に貢献します。
備品購入費・消耗品費	4,465	5,983	備品購入費(2,500千円)は、PCや複合機等の事務備品や、一部体育備品の調達費用を見込んでいるため、高額になっていますが、R5年度からは、経年劣化に伴う備品更新費用として300千円～900千円で計上しています。 消耗品費(3,483千円)は、実績に基づき、コロナ対策も含めて積算しています。 代表企業・構成企業のスケールメリットを活かしたコスト削減に努めます。
外構・植栽管理費・廃棄物処理費	952	1,060	外構・植栽管理(460千円)及び廃棄物処理(600千円)に係る費用です。 現指定期間の実績を参考に適切に積算しています。
広報費・印刷製本費	2,441	2,127	ホームページ・パンフレットの作成費用、チラシやタウンニュースと連携した広報に係る費用です。 紙媒体ネットニュース、SNS等多岐に亘る質の高い広報を行い、施設の周知度を向上させます。
光熱水費・燃料費	12,420	13,019	施設の管理運営に係る電気代・ガス代・水道代です。 直近3年間の実績や単価変動等を参考に積算しています。
保険料	2,444	2,397	施設利用者に係る賠償責任保険や教室利用者の傷害保険に係る保険料の費用で、南区を被保険者としています。 代表企業のスケールメリットを活用します。
使用料・賃借料	7,376	10,735	HP等のサーバー使用料(254千円)や教室実施に係る施設利用料(2,896千円)を積算しています。 また、トレーニング機器やキャッシュレス券売機等の賃借料・減価償却費(7,585千円)を積算しています。
委託料・謝金	33,415	32,426	委託料(7,600千円)は、機器の更新も含めた駐車場の管理委託費と清掃業務の委託費を積算しています。 謝金(24,826千円)は、教室実施に係る外部講師への委託費用を積算しています。
公租公課	5,501	6,974	仮受消費税と仮払消費税の差額(4,368千円)と事業税(2,606千円)を見込んでいます。 現指定管理者は公益財団法人で、事業所税が免除されているため実績を上回っています。
旅費	48	26	職員の研修等に係る交通費用です。代表企業が運営する近隣の青葉スポーツセンターの実績から積算しています。
通信運搬費	405	426	電話代、ネットワークに係る通信費です。 現指定期間の実績から積算しています。
支払手数料	544	882	利便性向上のためのキャッシュレス手数料を計上しています。 券売機・駐車場精算機等、現指定期間よりも格段にキャッシュレス化を実施するため、実績よりも利用増と想定して積算しています。
会費及び負担金	122	123	区スポーツ協会や商店街、区主催行事等への協賛金を積算しています。
事務経費本部分	---	6,887	本施設の運営に係る本社経費を見込んでいます。 本公募から設定された科目であるため、現指定管理者との比較はできませんが、社内の規定に沿って適切に積算しています。
その他	70	1,634	NHKやJASRAC等のコストを積算しています。 また、初年度はサイン更新の費用を見込んでおり、R5年度以降は500千円となる見込みです。

(様式 12)

共同事業体名 みなみスポーツ共創パートナーズ
施設名 横浜市南スポーツセンター 提案書

管理運営経費

予算配分(人件費、設備管理費、修繕費等)

【費用配分の考え方】

私たちは、右表の通り直近4ヶ年の実績を基に、求められる仕様を確実に履行するための費用を確保します。

そして利用者サービスを一層向上させるため、総収入の中から適切な費用を予算化し、事業計画書に示した提案事項を実施します。

算出根拠・項目	
仕様	公募資料
+	
実績	直近4ヶ年
+	
課題提案	・時間延長 ・トレーニング機器全更新 ・キャッシュレス決済導入 等

【各経費の配分】

様式 22 に記載している経費の予算配分を、人件費、設備管理費、光熱水費、修繕費等の主な項目を割合で見ると右表のようになります。

人件費や教室講師料といった賃金面は、事業の核であるため、合計で31%と最大の割合になっています。

光熱水費は約9%となっていますが、実績比約100%と適切に積算しています。

修繕費は、区の仕様で5,500千円を最低予算と設定されていますが、実態を鑑みると不足が想定され、私たちは仕様を上回る6,600千円で積算しています。

このように**根拠に基づいた経費配分**により、安定した運営をお約束します。

各経費の配分		
業務内容	金額	割合
人件費	43,687千円	31%
設備管理費	5,327千円	4%
修繕費	6,600千円	4%
光熱水費	13,019千円	9%
教室講師料	24,826千円	18%
使用料・賃借料	10,735千円	8%
委託料	7,600千円	5%
公租公課	6,974千円	5%
その他	22,139千円	16%
支出合計	140,907千円	100%

【提案費用の内訳】

前述の経費縮減方策、収入増加方策から得られた予算にて、本施設のサービスを持続的に向上させるための費用も右表の通り確保します。

民間活力を発揮し、継承と改革を実行していくことで、本施設が区のスポーツ拠点として今後も永く地域に愛される施設を目指します。

新たな提案費用(5年総額)		
提案内容	5年総額	目的・効果
トレーニングマシン更新	17,211千円	安全・サービス向上
ホームページ	1,000千円	広報・きっかけづくり
サイン改修	1,400千円	利便性の向上
キャッシュレス券売機	1,800千円	サービス向上

【設備管理費の内訳】

設備管理費の内訳は右表の計画です。

私たちは、委託料削減のため常駐職員で対応可能な業務は、出来る限り委託せずに実施します。

保守点検・清掃業務一覧			
業務内容	5年平均	業務内容	5年平均
エレベーター保守点検	804千円	空調機保守点検	450千円
自家用電気工作物保安管理	360千円	消防設備保守点検	380千円
可動床保守点検	240千円	自動制御・中央監視設備保守点検	300千円
放送及び音響設備保守点検	120千円	空調用フィルター清掃	200千円
清掃業務(定期)	580千円	夜間警備(機械警備)	540千円

管理運営経費

効率的な経費の執行

【効率的な人員配置(マルチジョブ)】Point

各業務を担当する職員は、多岐に亘る業務に責任を持って遂行できる専門能力を身につけるマルチジョブ化(多能化)を図り、各部門の繁忙時や緊急時等にも柔軟に業務を行います。

過剰な人員体制のような**業務の無駄を作らず**、必要な業務に必要な人員を配置し、スリム化した組織を構築します。

そのことにより、**繁忙期や非常時等にも柔軟に業務に当たる**ことができ、ムリ・ムダ・ムラのない柔軟な体制を創り出し、利用者に対してより良質なサービスを提供します。



【代表企業のライセンス制度による人件費の抑制】

代表企業では、各インストラクターの品質維持・向上のため、ライセンス制度を導入しています。ライセンス制度の導入により、インストラクターのやる気・実力を伸ばし、高品質なサービスを提供するとともに、ランクに応じた適切な人件費算定を行っています。

提供するプログラムの**インストラクターを自社で育成**することで、**一口コストを実現**します。

この仕組みは、直営施設を有する代表企業だからこそできる強みです。



内部指導者の育成

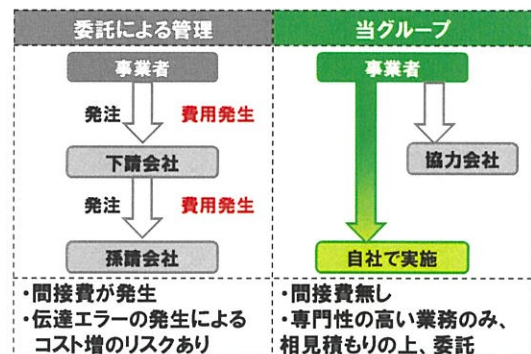
【区内在住者・在学者の積極的雇用】

私たちは、周辺地域の経済活性化のため、**地元雇用を優先**します。

地元雇用を行うことで、給与以外の通勤費等のコストが抑えられ、経費の縮減に貢献します。

【維持管理の内製化】

法定点検や機器の保守点検等の専門性を要する業務を除き、日常的な設備管理等は、構成企業の職員自身で行い、業務水準の維持・向上に努めながら、経費の縮減を図ります。



【電気料金の見直し】

本施設では現在、東京電力と契約しており、毎年 7,000~8,000 千円の電気代がかかっています。

業務分野の特定規模電気事業者(PPS)のシェアは年々伸び続けており、代表企業は全国 372 の運営施設において、様々な電力会社と契約しており、**電気料金の見直し**を行っています。

本施設においても、契約内容や使用量の実態を把握し、精度の高い試算を取得でき次第、区と相談の上、PPSを導入します。

管理運営経費

(3) 適正な委託・調達・雇用

委託費用縮減の取組

【第三者委託の基本的な考え方】

施設の管理運営に関連する業務を一部委託する際には、右記条件に基づき選定します。

第三者委託を含め、取引の開始にあたっては、与信状況・経営状況等を確認する等、法令遵守を最低限の管理点としています。

さらに、これらの条件に合致した上で、市内業者の育成及び市内経済の活性化を図るため、**可能な限り、市内業者**を活用します。

委託先選定条件
①法令遵守(個人情報保護法含む)している企業であること
②経営的に安定している企業であること
③委託業務に関する必要資格を有していること
④緊急時に迅速な対応が取れる体制を有していること

【相見積りでの取得による経費の低減】

私たちは、経費が最小限となるよう、**市内企業を優先**することを念頭に、最低 2 社から見積もりを取得し、仕様基準を満たしかつ安価な企業を採用することとしています。

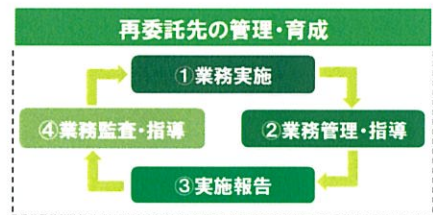
ただし、やみくもな削減による第三者委託先の収益悪化に繋がらないよう、配慮します。

【第三者委託先の管理・育成】

私たちは、第三者委託先との定期的な打合せを行い、業務実施⇒業務管理・指導⇒実施報告⇒業務監査・指導の**サイクルを徹底し**、スムーズな管理運営に努めます。

万一の際に対応できるよう業務マニュアル化、業務日誌で各業務の実施状況を記録し、委託先が変わっても業務移行できる体制を構築します。

また、再委託先の過失により生じた損害及び増加費用については、すべて指定管理者が損害及び増加費用を負担します。



市内中小企業を活用する取組

【市内中小企業への優先発注】

市は、平成 22 年 4 月 1 日より横浜市内中小企業振興基本条例を施行し、市内中小企業への優先発注の徹底に努めています。

本施設においても、本条例の趣旨を踏まえ、修繕等の発注、物品及び役務の調達等にあたって、市内中小企業への優先発注に努めます。ただし、やみくもな委託は施設の管理運営に支障をリスクもはらむため、委託先選定条件に基づき発注します。

現時点で以下の業務の再委託を予定しており、委託先については、**市内・区内の協力会社に積極的に委託**を行います。

保守点検・清掃業務一覧	
委託予定企業	業務名
駐車場監視装置	アマノ(株)
自動扉保守点検	神奈川ナブコ(株)
空調・給排水設備	区内点検業者(予定)
自家用電気工作物点検	関東電気保安協会(市内)
機械警備監視	区内機械警備業者(予定)
昇降機保守点検	区内点検業者(予定)
修繕工事	区内点検業者(予定)

(様式 12)

共同事業体名 みなみスポーツ共創パートナーズ
施設名 横浜市南スポーツセンター 提 案 書

管理運営経費

(4) 指定管理料の額

区が想定した金額以下の指定管理料

【5ヶ年の指定管理料】

私たちは、公募が始まる前から、これまでの利用者数動向や類似施設の実績、周辺のマーケット分析を積み重ねつつ、現指定期間の収入・支出を基に試算しました。

初年度は、指定管理者交代に伴う、一時的な利用者減、各種備品、設備の導入コスト等がありますが、2年目には整備を行い、**6,500千円を削減**します。

なお、公募条件のとおり、新型コロナウイルスの影響はないと想定した場合の収入試算としており、感染対策に伴う臨時休館や時間短縮が発生した場合は区と協議致します。

これまで提案した利用者へのサービス向上策を図り、職員への日常的なコスト意識の徹底、長期的なコスト削減計画を実現していく事により、5ヶ年の指定管理料総額は、区想定金額内の192,445千円から**6,000千円削減した186,445千円をご提案**します。

■5ヶ年の指定管理料

(千円)

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	提案総額	区想定額 ※5年総額
42,489	35,989	35,989	35,989	35,989	186,445	192,445

【想定を上回る収入となった場合の還元】

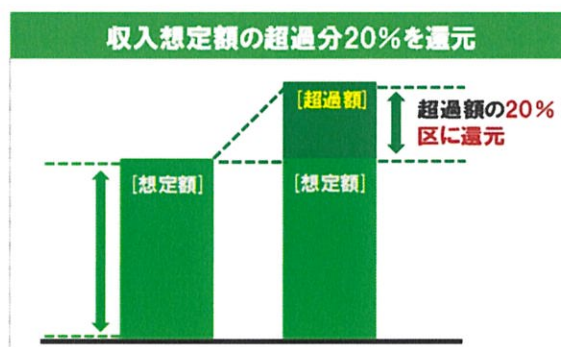
私たちは、無理のない収入計画による持続可能な管理運営を前提としながらも、成果が出た場合には、区・区民に還元します。

毎年度の収入実績（利用料収入＋自主事業収入）が、収支計画額を超過した場合、その**超過額の20%を区に還元(返還)**することをご提案します。

還元の手法は様々考えられ、区への納付、備品購入や修繕等の施設への投資、区の大会や団体への協賛や物品の寄贈等、区と協議します。

川崎市とどろきアリーナでは、還元実績として、サウナ改修、消火器全台更新、非常灯LED化を実施しており、本施設でも同様に還元が実現できるよう取組みます。

※利益額に基づく還元は、意図的な経費処理による利益額のコントロールが可能な為、あくまで収入に基づいた還元とします。



施設管理

(1) メンテナンス及び環境保持・環境配慮

施設管理の方針

【維持管理業務における優先順位の明確化】

私たちは、維持管理業務における優先順位を、4つのキーワード「あ（安心・安全）せ（清潔）か（快適）こう（効率）」と定めており、優先順位の明確化により、**高品質な施設管理**を行います。

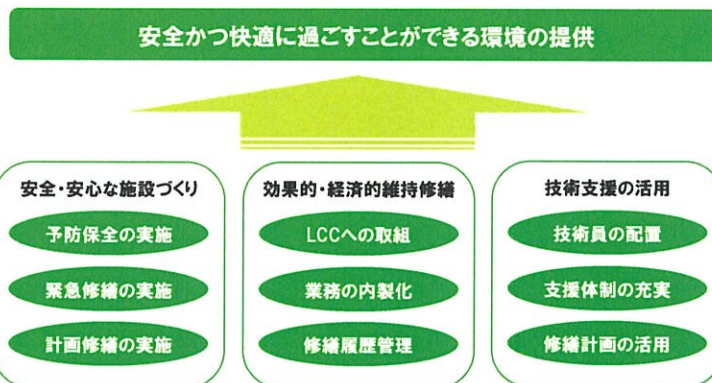


【建物維持管理基本方針】

区民に安全・安心・快適に利用して頂くために、施設・設備の機能・性能を適切に維持し、常に良好な状態に保つ必要があります。

私たちは施設・設備の故障・異常・不具合の発生を未然に防ぐ「**予防保全**」を基本的な考え方とした維持管理業務を実施します。

全国の類似施設で培ったノウハウを活用し、施設・設備の長寿命化を図り、美観の維持を意識し、安全・安心・快適な施設環境を提供します。



【複合施設における維持管理の重要性】

大岡健康プラザは、本施設と大岡地区センター、大岡地域ケアプラザからなる複合施設です。

機能が複数に亘る施設の集合体である複合施設においては、同居する団体に配慮した**様々な維持管理業務**を行う必要があります。

私たちは、全国の施設で培った、豊富なノウハウを有しており、本施設の維持管理においても、そのノウハウを存分に発揮します。



大岡健康プラザ

【スポーツ施設ならではの維持管理】Point

スポーツ施設は、通常のビル管理とは異なり、パフォーマンスを左右するプレー環境の整備や、怪我を防止する安全環境等、**特性に応じた管理**が必要です。

長時間スポーツで汗をかいたりすると、液体による汚れが多く発生するという特性があり、濡れた場所をそのまま放置すると転倒事故が発生するばかりか、衛生的にも悪い状態になるため、発見次第すぐに清掃を行います。

さらに、事務所やトレーニング室の日常清掃は代表企業が実施する等、**運営・維持管理の職員が相互に連携**することで、過剰な人員配置を撤廃し、コストの削減を図ります。



スポーツ施設ならではの維持管理

施設管理

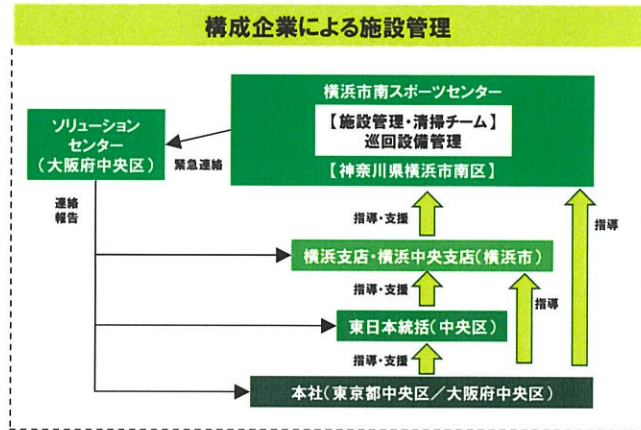
メンテナンス体制等の予算

【ISO9001 に準拠した万全の維持管理体制】Point

本施設の維持管理は、豊富な実績を有する構成企業が実施します。

構成企業では全社で「ISO9001 品質マネジメントシステム」の認証を取得しており、本施設の施設運転管理においても適用します。

代表企業との連携はもちろん、本社関連部署とも連携しながら、高品質の維持管理を実現します。



【専門性の高い維持管理体制】

構成企業の維持管理職員は、電気工事士をはじめとする設備管理に必要な資格取得を推進しています。

本施設においても、マネジメントの経験・実績がある職員を維持管理責任者として配置します。

また、緊急時には、構成企業のソリューションセンターより **24 時間 365 日対応**できる体制が整っており、1 次対応から 1.5 次対応まで可能な、**専門性の高い維持管理体制**です。



専門性の高い維持管理

【共同事業体によるスピーディーで明確な業務】 Point

単独団体が指定管理者となった場合、1 団体が事業における全ての業務を背負う体制であり、専門知識を有さない場合、右図のとおり複数のステップを踏む必要があり、スピーディーな業務対応や状況判断ができません。

私たち 2 社の業務分担は、各企業の得意分野を明確に分ける体制であり、**安定且つスピーディーな維持管理業務**を行うことが可能です。

	単独団体の場合	共同事業体の場合
事象発生	トラブル	トラブル
STEP ①	A社 施設責任者	A社 施設責任者 ↔ B社 維持管理責任者
STEP ②	再委託先	一次対応 (A社) / 一次対応 (B社)
STEP ③	一次対応	一次対応

【本施設の維持管理の課題】

構成企業の調査により、右図の通り本施設の課題が見つかりましたので、私たちは、この課題解決に取り組めます。

課題	改善策
設備の老朽化	・設備毎に老朽化をランク付 ・優先度の高い設備から計画的に更新
新型コロナウイルス感染症	・CO2濃度計等導入の提案
駐車場、外周	・老朽化設備の調査と対策案を検討

【維持管理に関する定例ミーティングの実施】

一体的な維持管理を行うため、安全・安心に関する情報共有が必要です。

大岡地区センター、大岡地域ケアセンターの館長と原則月 1 回の**定例ミーティング**を実施し、情報共有を行います。

施設管理

【業務品質監査のポイント】

設備運転管理業務の品質は技術員の知識や技術レベルが直接影響することから、徹底した社員教育により常に技術者のレベル向上を図ります。

右図の項目により品質監査を行うこと

で、常に**上位組織が現場の業務レベルを掌握**し、必要に応じて効率的な管理手法の伝承や新技術の登用も視野に入れ、技術サポートを行います。

業務品質監査の4つのポイント

- ・業務が規定(基準、仕様、マニュアル)通り遂行されているか
- ・業務の内容が質的に所定の水準にあるか(要員の技術水準含む)
- ・業務の成果(省エネ、LCC管理、美観等)が質的に正しく評価されているか
- ・常に改善と工夫の努力がなされているか

日常点検・法定点検等の履行の計画

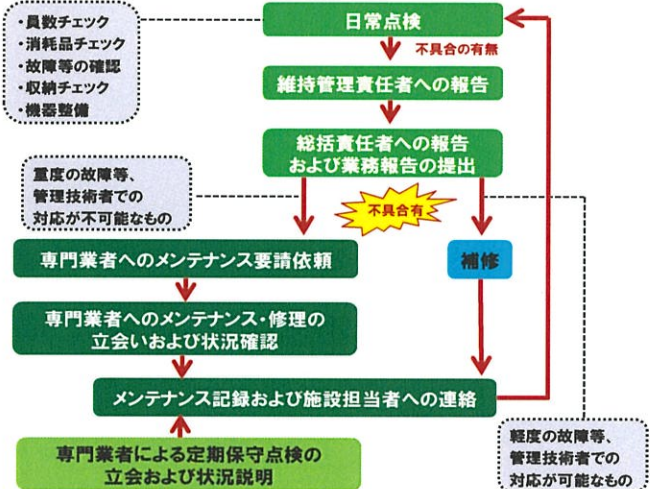
【きめ細かな設備点検】

設備の維持管理は、小さな変化がその後の正常な稼働にも影響し、ひいてはサービスの低下にもつながるため、繊細な業務が求められます。

構成企業は、日々の点検結果を定期的に精査し、施設と専門部署が連携しながら現場を確認・現場担当の声を直接確認し、設備管理を行います。

また、事故発生の危険性を有するポイントを「**重点チェック項目**」として抽出し、リストに基づき、施設常駐の設備員が日常点検を実施します。

設備点検フロー



【体育備品・トレーニング機器のメンテナンス】

体育備品やトレーニング機器は、不具合によって、利用者の事故が発生してしまう危険性を秘めています。

私たちは、マット、セノックフロア、防球ネット等の体育備品を日常的に点検、消毒します。また、代表企業は、57項目にもものぼる、トレーニング機器ごとの安全基準チェック表を作成し、毎日始業前に点検を行います。

日常点検に加え、メーカー基準以上の年1回のワイヤー交換等、先手を打った対応で、**安全な環境を提供**します。

【市の規則に則った備品管理】

市・区所有備品と指定管理者の負担において購入等を行った備品を明確に区別して適正に管理を行います。

区の備品（Ⅰ種備品）と指定管理者の備品（Ⅱ種備品）を明確に区分し、品名・規格等が記載された備品台帳を作成及び更新します。



備品台帳に基づく適正な管理

施設管理

【具体的な設備の点検方法(年間スケジュール)】

本施設の主な設備管理の点検一覧は右記の通りです。

点検方法については、これまでの実績から策定していますが、実施後に振り返りを行いながら更新していきます。

項目	周期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
設備巡回点検	6回/年	○		○		○		○		○		○	
自家用電気工作物保安管理	6回/年		○		○		○		○		○		○
受水槽設備保守点検	1回/年			○									
汚水槽設備保守点検	2回/年												
給水加圧装置保守点検	1回/年		○										
消防設備保守点検	2回/年								○				
自動扉設備保守点検	4回/年	○			○			○			○		
冷温水発生機保守点検	4回/年		○			○			○			○	
冷却塔保守点検	6回/年			○	○	○	○	○	○				
フィルター清掃	4回/年		○			○		○		○		○	
フロン排出規制法簡易点検	4回/年		○			○			○			○	
昇降機保守点検	12回/年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
温水ヒーター保守点検	2回/年				○						○		
機械警備	365日/年	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
植栽剪定管理清掃	2回/年			○					○				

●…日常業務 ○…定期業務

清掃及び外構植栽管理計画

【本施設の特徴を踏まえた清掃業務】

きめ細やかな清掃を実施し、誰がいつ利用しても清潔な施設を提供し、利用者が「この施設を使い続けたい」と感じる施設づくりに努めます。

体制	時間	役割	人数
常勤	8:00~11:00	清掃業務	1名
	13:00~16:00		1名

清掃職員を右上記の通り配置し、開館前の時間帯に、エントランスやトイレを中心とし、各諸室も含めた一斉清掃を行い、開館時には利用者に清掃の行き届いた空間を提供します。

また、下記の通り多様な床材・用途の特性に合わせ実施します。

対象床材	注意点	実施方法、ポイント
フローリング(研修室)	・水使用による木材の腐食	・ダスタークロス掛けによるほこり除去 ・無水エタノールによる拭き掃除 ・再度ダスタークロス掛けによる確認清掃
塩ビタイル	・ワックスの不十分な乾燥による効果の低減	・洗浄による汚れ除去後、ワックス掛け ・作業後の送風機による乾燥
タイルカーペット	・作業後の不十分な換気による臭気の発生	・ポリッシャーによる洗浄後、汚れを吸引 ・作業後の乾燥、十分な換気

【清掃業務の教育】

構成企業では、清掃職員の意識と技術両面の教育を重視し、**清掃職員教育プログラム**を組んでいます。

また、清掃業務責任者には、建築物環境衛生管理者又はビルクリーニング技能士の**有資格者**を配置し、清掃職員の教育を行います。

清掃職員教育プログラム			
	内定者	清掃職員	維持管理責任者
階層別教育	新規雇用時教育 ・施設概要、特徴等教育 ・セキュリティ遵守教育 ・コンプライアンス遵守教育 ・接遇、マナー教育	OJT(職場内教育) ・日常清掃技法基礎教育 ・定期清掃技法教育 ・清掃品質、点検教育 ・作業手順、作業計画教育 ・安全衛生教育 ・セキュリティ遵守教育(フォロー) ・コンプライアンス遵守教育(フォロー)	管理者研修 ・人事、労務管理研修 ・積算、予防管理研修 ・契約業務研修
	選抜制	・次世代班長・拠点管理者研修	
	応募制		・最新技術研修、講習
目的別研修(選択)	・清掃技法の応用、活用 / ・清掃品質の考え方や点検方法 / ・環境衛生の知識 ・石材メンテナンスの専門知識 / ・カーペットメンテナンスの専門知識		
資格取得支援	・建築物環境衛生管理技術者 / ・ビルクリーニング技能士 ・清掃作業監督者資格 / ・清掃作業従事者研修指導者資格		

施設管理

【日常清掃・定期清掃】

日常清掃では、作業による危険を伴うものや、利用者への影響が大きいものを行うことができないため、休館日等、利用者への影響がない日程でそれらの作業を定期的を実施します。

項目	周期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日常清掃(毎日)	359日/年	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
日常清掃(週1)※一部エリア	52回/年	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
定期清掃(毎月)床洗浄、ワックス、ガラス	12回/年	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
定期清掃(年4回)武道室床面、畳面水拭き清掃	3回/年		○				○				○		
定期清掃(年2回)カーペットクリーニング	2回/年						○						○
定期清掃(適宜)ポリッシャー、ワックス剥離	適宜												
防鼠防虫業務	6回/年		○		○		○		○		○		○
簡易専用水道検査	1回/年				○								

●…日常業務 ○…定期業務

【清掃業務のインスペクション(履行確認)の実施】Point

インスペクションは、清掃業務責任者だけでなく、構成企業による抜き打ちチェック等、月に一度、様々な形で実施します。

日常清掃や定期清掃において、指示通り行われているか、作業品質が保たれているか、利用者や職員の安全が保たれた作業となっているかのインスペクションを行います。

品質管理チームの視覚、臭覚、触覚（見る、匂いを嗅ぐ、手で触れる）だけでなく、**機材を用いて汚れ具合の数値化**を図る事により、適宜有効かつ効率的な清掃作業の仕様見直しを行います。

同じフロアでも歩行量とワックスの摩耗には違いがあるため、数値を確認する事により、ワックスの塗布頻度を検討することが出来ます。



光沢度計

【第一印象を高める植栽管理】

エントランス前や駐車場周辺に植栽が位置しているため、施設に来館された利用者が最初に目にする部分です。

対象敷地内の植物、芝生の状態を良好に保つことはもちろん、**敷地周りの緑地にも気を配り、快適な環境づくり**に取り組めます。



植栽管理の実施

ごみ排出量削減や地球温暖化対策等の計画

【「法令に基づく管理計画」と「施設の特徴にあわせた管理計画」】

「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」を筆頭に、本施設運営においては複数の法律に基づいた基準で測定・検査・清掃をしなければなりません。

建築物環境衛生管理技術者が測定・検査結果を分析し、**本施設の傾向・特徴に合わせた管理計画を策定**することで、健康被害に繋がるリスクを解消します。

施設管理

【品質、環境の両側面から管理運営への配慮】

構成企業は、品質マネジメントシステム ISO9001:2000 及び環境マネジメントシステム ISO14001:2004 を取得しており、品質・環境の両側面から管理運営への配慮を行います。

① CO2排出抑制への取組姿勢について

- ・月間、週間、日別の光熱水使用予算を設定、使用料検針を毎日行い統制管理
- ・季節に応じた標準温度管理、照明設備の点灯・消灯の時間管理
- ・定期的な空調フィルター清掃
- ・光熱水使用量をデータ化及びグラフ化し、使用料推移を把握

② 排出汚水の水質管理について

- ・法令を遵守した、排水水質基準の徹底管理

③ 廃棄物の削減について

- ・分別作業を徹底し、100%資源ゴミを回収してリサイクルを推進
- ・廃棄物の排出量をデータ化及びグラフ化し、排出量を把握

④ 紙類の使用及び削減について

- ・紙類については極力、再生紙を使用

【適切な廃棄物処理】

廃棄物処理については、施設から発生する廃棄物の抑制に努めるとともに、横浜市の分別ルールに沿って適切に分類を行い、可能な限り資源化していきます。横浜市一般廃棄物処理基本計画等に沿って「市役所ごみゼロ」の取組みを推進します。

【クリーニング&リフォームによる環境負荷低減】Point

私たちは、什器・備品が汚れたり痛んだ場合に、廃棄せず、クリーニングやリフォームをすることにより、耐用寿命を延ばします。

廃棄物を抑制することにより、CO₂ 排出量および産業廃棄物経費を縮減し、新品購入時の1/10程度のコストダウンを達成することができます。

【ペットボトルリサイクル事業への協力】

横浜市では、2020年より、セブン-イレブン・ジャパン及び公益財団法人日本財団とともに、新たなペットボトルリサイクル事業を開始しました。

私たちは、本施設で、近隣のセブンイレブンの案内を行うほか、自動回収機の設置を検討する等、市のペットボトルリサイクル事業に協力します。



ペットボトルリサイクル事業

【子どもたちへの健全な心づくりと環境問題への関心化の取組み】

横浜市は、「SDGs 未来都市」として、事業者とのパートナーシップのもと、日本の「Zero Carbon」に貢献しています。

私たちは、スポーツを通じて、未来への環境課題を考えるきっかけづくりを担う場にしていきます。

受付にて清掃道具（箒・モップ等）の貸し出しを行い、汗や砂等で汚してしまった利用者等への簡単な清掃を館内掲示で促します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【環境に配慮した洗剤・薬剤の使用】

運営・維持管理業務において使用する資機材、薬品について、環境に配慮したエコプロダクツや JIS マーク商品等の使用に努め、薬品類・ケミカル洗浄材等は MSDS を取得し、安全性を確認したうえで施設の環境及び利用者の健康に影響を与えないものを使用します

また、環境マネジメントシステム規定に基づく環境ラベルのある商品を積極的に活用します。

施設管理

(2) 修繕等への取組

指定期間 5 年間を見据えた計画的な修繕

【PDCA を取り入れた修繕業務実施手順】

修繕履歴や類似施設のデータを活用し、故障・異常・不具合等を未然に抑制するために運転監視業務計画書・日常巡視点検業務計画書等を作成します。

また、「安全・安心・快適な施設づくり」「効果的・経済的維持修繕」「技術支援の活用」等のノウハウを通じて、適切な施設・設備の修繕計画も作成します。

予防保全・予知保全の考えに基づき「**PDCA サイクル手法**」を取り入れた修繕の実施により、本施設の利用を最大限確保しながら、最小コストで維持していきます。

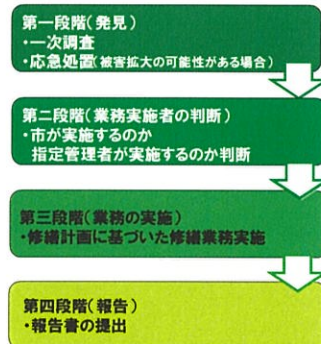
【的確な修繕業務実施手順】

修繕が必要となる劣化・故障・不具合を発見した場合、職員による一次調査を行い、状況の判定を行います。

修繕の内容について、指定管理者の業務か区の業務かの一次判定を行い、修繕を実施する場合は、**修繕計画を策定**し、預り金による修繕の実施にあたっては、「工事依頼書」、「修繕・修理伺い」を提出し、区のご了解を頂き作業を実施します。

修繕の結果は、施工前や施工後の写真を交えながら分かりやすい工事完了報告書にまとめ、**区へ報告します**。

修繕業務実施手順



【安全かつ高品質な修繕業務の実施】

構成企業は、日本の流通業界最大手グループの総合ファシリティマネジメントサービス業を担う会社として数多くの修繕業務実績を有しています。

40 年超にわたって培ってきた施設管理のノウハウを活かし、建物の価値向上・長寿命化に寄与します。



高品質な修繕業務

【軽微な故障・修繕の内製化】

発見された軽微な故障や修繕については、原則、即日修理を実施しています。また、即日修理できない場合は修理ができるまで施設利用者に迷惑がかからないよう応急的な処置を施すほか、交換可能な部材については**予備品を確保**し、迅速な対応ができるようにします。

【仕様書を上回る修繕費予算】Point

現指定管理者の実績や今後さらなる修繕件数増加を見据え、次期指定期間の修繕費予算は、**仕様を大きく上回る 6,600 千円を計上**しています。限られた予算の中で、優先順位をつけたコントロールを行っていきます。

「悪くなってから補修する」という対症療法的な維持管理ではなく、「悪くなる前に補修する」という、**予防保全型の維持管理**を心がけることで、長寿命化と費用の縮減を可能にします。

また、修繕業務の委託に当たっては、地元企業を優先し、地元経済の活性化にも貢献します。

安全管理

(1) 平常時の体制

施設特性を理解した提案

【複合施設の管理運営実績】Point

代表企業は、市内では青葉区の公会堂、また、墨田区や品川区では学校施設、豊島区で文化施設との複合施設の施設運営を行っています。また、直営施設では大型複合施設である、**mioka(上大岡)**、**ラゾーナ川崎**をはじめ、大型ショッピングセンター内や、オフィスビル・高層住宅・駅ビル内等、数多くの複合施設にて施設運営を行っています。

構成企業は、複合商業施設をはじめ、宿泊施設、病院、研究所

等、全国の多種多様な施設管理の実績を 50 年近くに亘り行ってきました。施設管理のプロフェッショナルな人材と最新テクノロジーの活用で、建物の「ライフサイクルコストの低減」と「安全・安心・快適」を提供しています。

機能が複数に亘る施設の集合体である本館においては、多岐に亘る様々な維持管理業務を行う必要があるため、管理運営実績がある 2 社による体制で安全・安心の確保を行います。

施設名	スポーツセンター (横浜市内)	公共体育館 (東京都豊島区)	公共温水プール (東京都墨田区)
管理企業	代表企業	代表企業	代表企業
外観			
特徴	区役所、公会堂との複合施設	地域文化創造館、図書館等との複合施設	中学校と併設
施設名	公共体育館 (東京都品川区)	公共体育館 (大分県大分市)	民間複合施設 (横浜市内)
管理企業	代表企業	代表企業	代表企業
外観			
特徴	小学校と併設	産業活性化プラザ 総合社会保健センターとの複合施設	大型複合施設

【館全体の連携】

複合施設の管理運営に当たっては同居する他施設との日常的な連携が非常に重要です。

駐車場混雑時に影響のある大会、イベント情報の連携を行う他、館全体の防災訓練等は、

大岡地区センター、大岡地域ケアセンターの館長と連携し、各施設の利用者が安全・安心に利用できる体制を整えます。

本施設以外に影響が及ぶ安全・安心に関わる**緊急性が高い情報は随時連携**を行います。



【住宅に配慮した対応】

本施設は、住宅に近接していることから、教室は**音や振動について常に注意を払い**、近隣住民に配慮した施設づくりを行います。

また、時間延長を行います。利用者には施設外で大きな音を出さないよう速やかな帰宅を促す等、地域に根差した運営を行います。

地域との共生の求められる施設特性を鑑み、サービス提供に努めます。



地域への配慮

安全管理

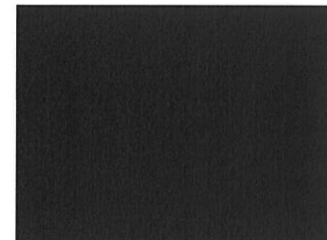
保安警備の実施体制

【運営経験を活かした徹底した防犯対策】

代表企業は、全国の類似施設での運営経験を踏まえ、日頃より防犯の取組みを意識的に実施します。

利用者自身に防犯への意識を高めて頂くことが、最も効果的な防犯対策のため、職員の声かけや放送により、繰り返し啓発を行います。

私たちは受付で全利用者に対し、**貴重品、所持品の管理の注意喚起**を行います。特にスポーツ教室中等は盗難予防のため、貴重品等の自己管理を利用者に徹底して頂くようご案内します。



安全の日の研修

【所管警察との連携】

安全・安心なまちづくり・施設づくりのため、犯罪・事故が発生した場合には、**直ちに所管警察へ届出**を行います。

近隣の警察署とパトロール体制の確認、取得物の取扱いの手順の確認を行う等の協力体制を構築し、地域の防犯等に努めるだけでなく、「南警ファックス」という南警察署管内で発生した犯罪情報を掲示し、タイムリーに利用者へ情報をお伝えします。



近隣警察署との連携

【万全な警備体制・方針】

警備業務は、開場時間中の不審者対策、閉場時は、設備の不具合や火災等、24時間365日対応する必要があります。

構成企業は、横浜市内に事業所があり、本施設までは**車で約15分**と非常に近い立地であることから、万が一の緊急時にも出動可能な体制を整えます。

運営業務の職員による有人巡回、機械警備、緊急時の対応と多方面から警備体制を構築し、**効率的で効果的な警備**を行います。

【警備員への教育体制】

構成企業は、東京都公安委員会より「**警備業の認定証**」を受けており、警備業法について熟知しています。また法定の警備員への教育の際には「**警備員指導教育責任者**」による実施を徹底し、関連法の他、マナーや緊急時対応等、警備員として必要な教育の徹底を行います。

【防犯関連備品の設置】

誰もが安心・安全に施設利用頂ける環境を構築することは指定管理者の責務のため、不審者から利用者を守る対策も必要不可欠です。

私たちは、防犯対策用の備品を常備するほか、警察署にご協力の基、職員に訓練を実施し、非常時に**誰でも使用できる体制**を構築します。



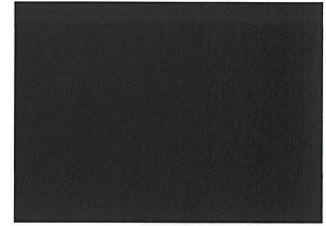
防犯備品の設置
(さすまた・カラーボール)

安全管理

【巡回による安全点検】

施設内及び施設周辺において、特に死角になりやすい場所等、犯罪に結びつきかねない箇所は、**重点的に巡回**し、防犯に努めます。

職員が不審者や危険人物と思われる者、入館者等に対し迷惑をかけている人物を発見した場合、一般利用者へも配慮し、速やかに外へ連れ出す、警察へ通報する等の処置を行います。



徹底した巡回

【キャッシュレス券売機の設置】Point

券売機を導入することで、人による金銭の取り扱いが最低限となり、**盗難防止や正確な金銭管理による金銭の授受のトラブル防止**が可能になります。

さらに私たちは、キャッシュレス対応の券売機を導入することで、金銭の取り扱いを少なくし、更なる安全管理に努めます。

有資格者配置、教育体制

【代表企業・構成企業が保有する有資格者】

運営を担当する代表企業は**スポーツ施設の運営に必要な資格と経験を有する職員**を配置します。

また、全職員が救命救急及び AED 操作講習を指定期間開始までに修了します。

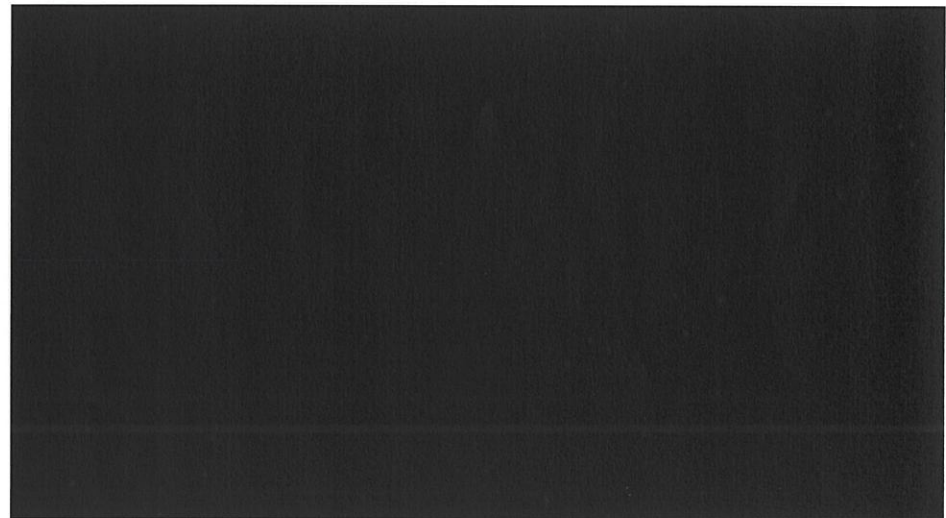
維持管理を担当する構成企業は、建物・設備管理はもちろんのこと、本施設の業務に必要な資格と経験を有する職員により、利用者サービスの向上に努めます。

本施設の業務に関わる当グループの主な保有資格		
構成員	資格名	
代表企業	健康運動指導士	障害者スポーツ指導員
	健康運動実践指導者	ユニバーサルマナー検定
	スポーツプログラマー	安全衛生推進者
	水上安全法救助員	衛生管理者
	救急法救助員	防火管理者
	クラブマネージャー	危険物取扱者(乙種第4類)
構成企業	水泳指導管理士	他
	1級ボイラー技士	第2種電気工事士
	2級ボイラー技士	自衛消防技術試験合格者
	建築物環境衛生管理技術者	エネルギー管理士
	建築設備診断技術者	1級建築士
	第1種電気工事士	2級建築士 等多数

【ライセンス制度を用いた教育体制】

代表企業では、職員のスキル評価制度としては「**基礎ライセンス制度**」という、スタンダードからアドバンスまで 6 段階制とした等級制を導入しています。

3 ヶ月ごとに面談し、職員としての行動評価及び担



当業務内容のスキル評価を行った結果、基準をクリアしている場合は昇格・昇給します。

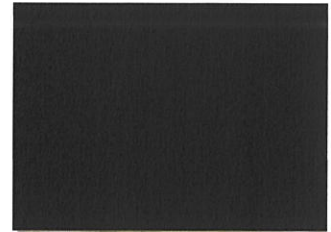
受付にもライセンスがあり、**高い接客レベル**で利用者対応を行います。

安全管理

【トレーニング指導員の配置】

私たちは、運動初心者の方でも安全・快適・効果的に利用頂けるよう、**トレーニングルームに職員を常時配置**します。

トレーニング機器の利用方法の案内はもちろん、安全に運動を実施して頂ける環境を整え、利用者の方に安心できるサービスを提供します。



利用者の安全を最優先

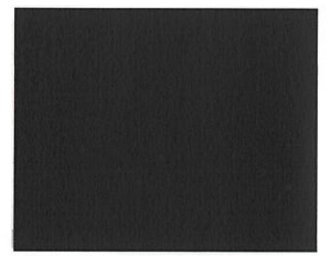
【障がい者スポーツ指導員の資格取得】Point

私たちは本施設の職員に、**障がい者スポーツ指導員の資格を取得**させます。代表企業のエリア統括マネージャー及び神奈川県指定管理施設の責任者が、当該資格の講義を既に受講しており、本施設の障がい者スポーツ振興に向けた協働体制がすでに構築できています。

【本施設の管理運営に適した維持管理責任者】

構成企業は、全国でスポーツ施設の管理を多数実施しており、想定されるトラブルやリスクを予見できる実績のある事業者です。

専門的な技術を要する維持管理業務においては、専門資格を有した**維持管理責任者**により、高い業務品質・水準を確保します。



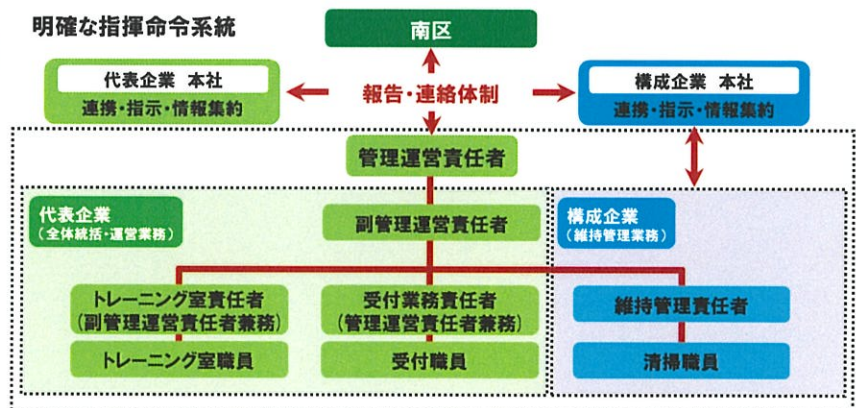
専門資格を有する維持管理責任者

区との連絡体制

【明確な連絡体制・指揮命令系統】

本施設は複合施設という特性から、**多種多様な業務**が求められ、総括責任者を中心とした明確な業務体制が必要です。

私たちは、各種法令・仕様書を遵守し、安定的な業務を遂行できる体制を構築します。



【区との定例会の実施】

私たちは区との信頼関係を築き、透明性の高い運営を行うため、**区と月1回の定例会**を実施し、利用者数や修繕の実績はもちろん、苦情対応の内容や自主事業売上等を毎月報告します。

定期的に区とのコミュニケーションを図ることで、区と足並みを揃えた運営を行います。



区との緊密なコミュニケーション

安全管理

その他事件、事故防止策

【安全の日の制定・休館日に点検の実施】

代表企業は、毎月 17 日を安全の日と定め、安全研修を実施します。

全国 372 施設の事故報告・改善点の情報を共有し、職員全員が安全に関する共通認識を持つ仕組みを構築します。

また、利用者に迷惑をかけないように、休館日に施設や設備・備品等の財産の点検を実施し、安全に利用できる施設を目指します。

【安全推進テーマの配信】

代表企業では、施設の安全を実現するため、本社より安全推進テーマの配信を毎月行っています。

事例を基に、季節ごとに起こり得る事象を予見し、未然防止を目的に作成しています。

月	安全テーマ	月	安全テーマ
4月	不審電話対応	10月	雇用契約、消費期限
5月	備品点検、盗難	11月	ヒートショック、インフルエンザ
6月	消費期限、レジオネラ	12月	レジオネラ、盗難
7月	熱中症、詐欺	1月	雇用契約、備品点検
8月	水難事故、個人情報	2月	プール補給水、水難事故
9月	避難訓練、落下物	3月	避難訓練、個人情報

※類似施設での配信例

【利用者への注意喚起の徹底】

不特定多数の方が出入りする本施設では、事故を未然に防ぐための利用者へのきめ細やかな注意喚起が必要です。

子どもへの注意喚起として、ひらがなで記載された掲示を行う等、誰もが理解できる言葉遣いでの注意喚起を行います。

また、職員による定期巡回や館内放送を活用した注意喚起を実施し、事故の未然防止に努めます。



【熱中症対策】

スポーツ施設は熱中症への注意が必要です。

熱中症は、正しい知識とこまめな水分補給があれば防ぐことができるため、掲示物や館内放送で、水分補給を促します。第1体育室は空調が無いので、スポットクーラーを設置して、安全性を高める対応を行います。



スポットクーラーの設置

【熱中症対策アドバイザーの取得】Point

私たちは、熱中症対策アドバイザー養成講座を受講します。

環境省が後援する熱中症予防のための講義を受け、テストに合格することで熱中症対策アドバイザー認定証が授与されます。

私たちは、本施設に熱中症対策アドバイザーの認定者を配置し、利用者の安全を守ります。



【設備・備品利用の安全対策】

体育備品等は取り扱いを誤ると、大きなケガにつながるため、備品を安全に使用して頂くための案内を掲示します。特にバスケットゴールを使用する時は、安全確認の要員を配置し、安全確認と細心の注意を払い、設置者の怪我、施設破損防止の対策を講じます。

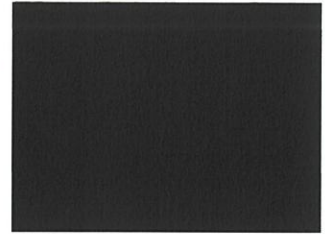
安全管理

【トレーニング室における安全対策】

トレーニング室を初めて利用される方が安全に運動できるよう、適切な指導・器具の取扱い説明ができる人材を配置し、**初心者講習会を常時実施**し、適切な機器の利用方法を説明します。

トレーニング機器や体育備品は、専門メーカーと連携し定期点検を実施するほか、特に危険が大きいトレーニング機器については、**メーカー推奨を上回る基準の年1回以上のワイヤー交換**を実施します。

毎朝開館前に総点検を実施し、先手を打った対応で、安全な環境を提供します。



トレーニング機器の安全点

【教室開催時の主な安全対策】

教室開催時には、**衝突事故を防止**するため、キャパシティに応じた定員設定をし、新型コロナウイルスに伴う三密回避のため、定員数の見直しにも柔軟に対応を行います。

また、各個人の体力や能力に合った教室を受講頂けるよう、分かり易く説明します。

教室経過時間	指導・安全管理のポイント
開始15分前	参加者への挨拶、体調確認
開始	教室内容の説明、初心者確認、体調確認
ウォーミングアップ	参加者のレベルにあわせて指導・声かけ
終了前	教室強度に適したクールダウン
終了後①	参加者への声かけ、体調確認
終了後②	実施報告書の記載 (参加者数、運営ポイント、次回実施事項等)

【床はがれ事故の予防】

近年、体育館での競技中、はがれかけの床板により大けがを負う事故が増えています。未然に防止するために、日々の目視点検だけでなく、ストックングをかぶせたモップ掛けでささくれを発見します。

また、定期清掃では、床の反りを誘発する水拭きは行わず、専用のワックスを使います。

平成27年12月スポーツ庁による注意喚起	
・床板に傷や割れ、ささくれ、そり、浮き、目違い、床鳴り等がないかどうかを点検し、発見された場合は速やかに修繕等を行うこと。	
・体育館等の床材による軽傷事故の発生状況を常時確認し、重大事故につながるおそれがないか検証すること。	
・床置き式のバスケットゴールやバレーボールのネット支柱、トレーニング機器、パイプ椅子の収納台車等の設置や利用、移動の際に、床板に傷や破損等が生じないように注意すること。	

【施設管理面における安全対策】

安全な利用環境を提供するため、設備や施設の適切な点検・修繕に加え、日々の地道な清掃により、危険箇所の**早期発見と迅速な初期対応**を行い、予防保全に努めます。

【安全基準の整備】Point

代表企業は、全国 372 施設の運営経験を基に、居室毎の独自の**安全基準を整備**しています。

この安全基準は、紙媒体で事務所内に保管し、職員が常時確認できるようにしており、内容の更新があった際には、職員ミーティング等で適宜共有します。

業務・施設	主な安全基準	業務・施設	主な安全基準
体育室	・施設・備品の点検(開館前・閉館後) ・ご利用者に守っていただくこと ・暑さ指数(WBGT)に応じた対応の検討	トレーニング室	・機器・備品の点検(開館前・閉館後) ・掲示物等、安全管理の注意喚起 ・ご利用者に守っていただくこと ・機器の使い方チェック・指導 ・転倒防止のための汗の拭きとり
運動教室	・施設・備品の点検(開館前・閉館後) ・ご利用者に守っていただくこと ・監視・安全への配慮・指導職員の心得と務め	駐車場	・施設・備品の点検 ・巡回の際の心得と務め

【アイシング用氷の準備】

スポーツ施設は常に怪我の可能性と隣り合わせであり、指定管理者は有事の際の備えをしておく必要があるため、アイシング用の氷を常備し、利用者が怪我をした際に無料で提供します。

安全管理

(2) 緊急時の体制

予防管理体制 (マニュアル、避難訓練等の実施、研修の実施、警察・消防との連携等)

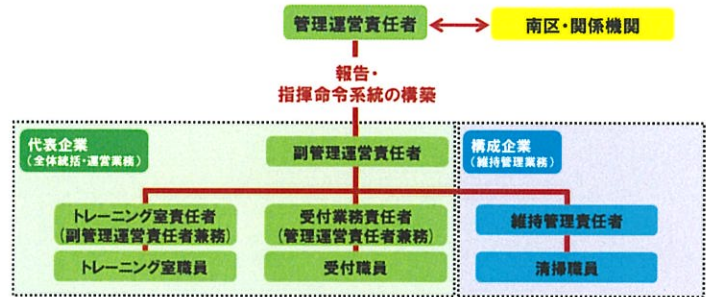
【窓口を一本化した管理体制】

緊急時には、速やかな対応はもちろん、どんな小さな不具合でも区へ報告・連絡・相談し、適切かつ迅速な対応・解決に繋がります。

緊急時の連絡体制については**窓口を一本化**し、区への報告体制を確立し、即座に連絡を取れる体制を構築します。

また、管理運営責任者は、業務専用の携帯電話を貸与し、緊急時にも連絡が取れる体制とします。

緊急連絡体制



【緊急時対応マニュアルの作成】

横浜市では、局地的な大雨等や、近い将来に発生が危惧されている大規模地震から市民の生命と財産を守るため、「災害に強いまちづくり」「自助・共助の取組み」に力を入れ、防災・減災機能の強化を進めています。

私たちは、横浜市の「指定管理者災害対応の手引き」を確認した上で、施設独自の**緊急時対応マニュアル(危機管理マニュアル)**を策定し、スポーツセンター共通で防災対策計画表を作成します。

代表企業では、あらゆる不測の事態に備えることを目的とし、報告される事故・施設不備・トラブル等に関する情報が集約された危機管理マニュアルを整備しており、本施設でも**独自の危機管理マニュアル**を作成し、利用者の安全向上に努めます。

危機管理マニュアルの内容

- 設備異常時対応
- 火災時対応
- 地震時対応
- 危険物等対応
- 風水害時対応
- 緊急対応業務報告書(サンプル)

【緊急連絡先の整備】

緊急時に関連機関等へ少しでも早く連絡出来るよう、**緊急連絡網を整備**します。

緊急時の連絡先を、施設内事務所の誰もが確認できる場所に掲示し、緊急時に迅速な対応ができる体制とします。

医療機関名	所在地	電話番号
横浜市立大学付属市民医療センター	神奈川県横浜市南区蒲舟町4-57	045-261-5656
南警察署	神奈川県横浜市南区大岡2丁目31番4号	045-742-0110
南消防署	神奈川県横浜市南区蒲舟町2丁目33	045-253-0119

【各施設内での役割の明確化】Point

緊急時に総括責任者が不在になるケースも想定し、通常の指示命令系統とは別に、緊急時の役割を定めておく必要があります。

私たちは、自衛消防組織を作り、各職員の緊急時の役割を決め、安全・安心な施設を提供します。

自衛消防組織	対応内容
通報連絡班	消防機関への通報、館内への非常放送、関係官庁への連絡
消火班	災害・火災時の初期消火作業(消火器等)、消火の誘導
防御措置班	防火戸の閉鎖、消防活動、電気絶美、機械警備、ガス、危険物施設の安全装置
避難誘導班	来場者の誘導、避難完了の確認、非常口の解放など避難路の確保と警備
救護班	救護所の設置、負傷者の救出、応急処置、救急隊への内容報告

安全管理

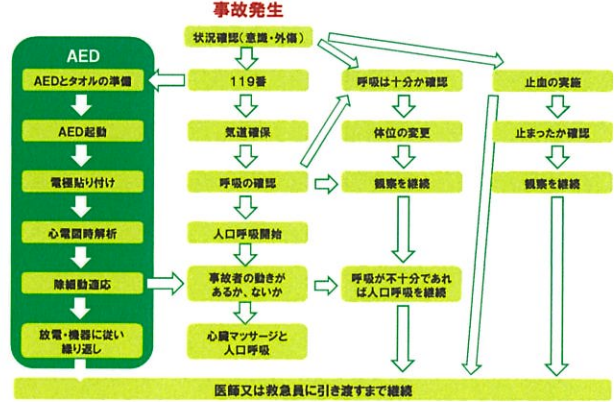
【傷病者への応急処置対応フロー】

傷病者が発生した場合には、右図フローに従い、的確な応急処置を施します。

応急処置を実施する際には、医師または救急と連携の上、利用者の状況に応じた対応を行い、救急隊員に確実に引き渡しを行います。

また、救急隊を要請した場合は、職員の対応や今後の対策について**救急隊の方にフィードバック**を頂き、専門家の見地を加え、更なる改善に努めます。

事故発生時の対応フロー



【市・区と足並みを揃えた防災情報提供体制】

災害時は、災害情報・一時滞在施設の開設情報・鉄道等の運行状況等、**多岐に亘る情報がまさに生命線**です。

私たちは、地域の避難所一覧、ハザードマップ、横浜市の危機管理室の防災情報 E メールサービス等を施設内に掲示し、利用者が有事の情報を入手できるよう提供します。



【南消防署・大岡健康プラザの合同防災訓練】Point

私たちは、**大岡健康プラザ全体の合同防災訓練**を実施します。

また、南消防署と連携し火災シミュレーション・地震シミュレーション等、各災害を想定し、実効性の高い訓練を実施します。訓練の講評や消火器の実習等消防署職員の方の見地から、精度を高め、地域の連携を深めることで、素早い初動体制を構築します。

【ユニバーサル防災訓練】Point

横浜市中期計画では、災害時要援護者や外国人等に対する地域での自主的な支え合いの取組支援の充実を図ることが掲げられています。

私たちは、障がい者の利用時を想定した**ユニバーサル防災訓練**を実施するほか、多言語対応の館内放送やポケットクを活用します。



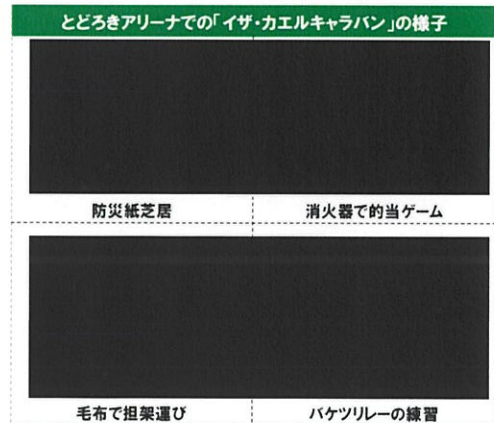
ユニバーサル防災訓練

【楽しく学べる防災イベントの開催】Point

横浜市 4 か年中期計画では、「公助」と「自助」の推進を掲げ、幅広い世代への防災研修・教育を進めることで、市民・企業等の防災意識の向上を図っています。

私たちは、NPO 法人プラス・アーツと連携し、**防災スポーツ体験型イベント**を開催します。

同団体と連携した防災イベントを、代表企業が運営する川崎市の公共施設で開催した際には、参加人数が 800 名を超え、日頃、防災訓練等に参加されていない方々に多数参加頂き、地域の防災意識の醸成を図り、地域防災力の強化に取り組むことができました。



安全管理

【災害等を想定した職員非常召集訓練】

災害で交通機関が麻痺を起こした場合を想定し、職員に徒歩・自転車で施設に通勤させ、自宅から施設までのルートと所要時間の確認を実施し、災害時のシミュレーションを行います。

【緊急時対応シミュレーション】Point

発生する様々な事故を想定し、各施設の居室ごとに、多様な緊急時対応シミュレーション研修を行います。



私たちは、月 1 回、

避難誘導シミュレーション

応急手当シミュレーション

居室別対応シミュレーション

条件設定を変えて、あらゆるシチュエーションを想定して実施することで、想定外を無くしていきます。

事故発生時の安全確保・応急処置等の一連の流れを確認し、誰でも、どのような状況にも対応できる万全な体制を構築します。

【地域住民向けCPR・AED操作講習会】

私たちは、救急体制の充実を図るべく地域住民向けの CPR・AED 操作講習会を実施します。

本施設周辺は、高齢者の方も多いため、地域住民の方にも輪を広げることで、安全・安心なまちづくりに貢献します。

【横浜市民防災センターでの防災知識習得】

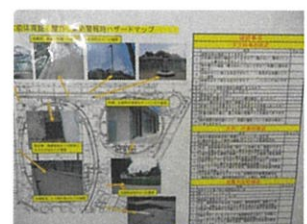
横浜市民防災センターは、風水害体験ツアーや地震・火災体験ツアー等を行い、横浜市民への防災知識の普及啓発を行い、幅広い世代に防災教育が進んでいます。

私たちは、職員自身が防災に関する知識を深め、今後の施設運営に活かすため、工事休館中に同センターでの体験ツアーに参加します。

【館内ハザードマップ】

私たちは、独自の館内ハザードマップを作成します。

これは、施設利用中に地震等が起きたときに、どの避難経路を通ればいいのか分かるように、各居室に掲示します。



館内ハザードマップ

【警報・注意報等の発令時の対応】

災害発生時には、常にテレビ・ラジオ等による警報・注意報等の発令情報を収集し、施設利用制限も予見回避の観点で対応します。

特に、子どもを対象にした教室については、学校の休校時や警報発令時点で開催を中止する等の基準を設け、教室の中止連絡や、既に施設に到着した子どもは保護者への連絡をする等、安全に留意し対応します。

安全管理

【代表企業の全国での実績の活用】

本施設は災害時には遺体安置所と位置付けられています。

代表企業は、全国の施設で様々な災害対応を経験しており、これらの生きた経験を基に、本施設でも役割を果たします。

代表企業の災害対応実績		
事例	所在地	対応
令和元年 台風19号	神奈川県 川崎市	メインアリーナ・事務所が浸水する中、影響度の優先順位を考慮し、長期的影響を及ぼす 機械室の防御を最優先とした対応 を行い、被害を最小限に食い止めました。 この教訓を基に、土木工学の専門家と市・指定管理者を交えた専門家会議を経て、 施設独自の防災計画が策定 され、水が流れる場所や土嚢の置き場所等、詳細のマニュアルを整備しました。
平成30年度 西日本豪雨	岡山県 総社市	地域住民の避難所対応および復旧活動を行う自衛隊の宿営地の受け入れを行いました。 避難所においては、 ペット同伴の方の部屋 を用意する等、きめ細かな気配りで、避難される方のストレス緩和に努めました。
平成30年度 台風21号	大阪府 松原市	平成30年8月台風21号で被災し体育館の天井が崩落しました。市による大規模修繕が始まるまでの間、雨漏りをうけるため体育館に ビニールプールを設置 し、天井に防水シートを張る臨時対応を行うとともに、体育館が利用できなくなった市民に適切に案内を行い、他の 小体育室で代用 できる場合は提案を行いました。

AEDの設置計画及び点検内容、利用研修

【AEDの適切な点検・管理】

私たちは、毎日使用可能な状態であることを確認する上、バッテリー交換日・電池残量・電極パッド次回交換期限を毎月確認し、万が一の際に確実に使用できるように管理します。

点検項目	頻度	内容	イメージ
AED点検	年2回	<ul style="list-style-type: none"> 通常の日常点検では、インジケータの表示の確認や記録、電極パッドやバッテリーの寿命などを確認します。 実践を交えた点検では、これらの内容を確認しつつ、人形を使い実践的に使用方法を確認しながらの訓練を併せて行います。 	

【心肺蘇生法(CPR)・AEDの操作資格取得】

代表企業は、**全職員にCPR・AEDの資格取得**を義務付けています。

代表企業の施設内外での救命救急により、消防署から表彰を頂く事例も多数あります。

補償体制

【万が一に備えた保険への加入】 Point

施設内で想定される管理運営上の事故等への対応として、施設賠償責任保険に加入します。

被保険者に区を追加し、躯体等に起因する区の帰責事由による事故にも保険が適応されるようにしています。

保険種	被保険対象	代表企業支払限度額	仕様書に記載の保険内容
施設賠償責任保険	身体	1名につき 3億円	1億円
	財物	1事故につき 30億円	—
		1事故につき 4億円	—

その他事件、事故防止策

【無料 WiFi 導入等各種災害対策備品の設置】

本施設は避難場所には指定されておりませんが、災害時には地域住民等が来館されることも想定されます。

私たちは、**無料 WiFi、飲料水の備蓄、レスキューベンチ**等、様々な**災害対策備品**を新たに設置します。



地域との協力

(1) 地域支援

区民のスポーツ実施の支援

【適切な減免利用への対応】

横浜市スポーツ施設条例施行規則第 11 条に基づき、知的障がいと判定を受けている方、身体障がい者手帳及び精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方は、事前に手帳を提示頂ければ、本人と介護者の個人利用について、利用料金を半額、駐車場利用料金の全額を免除します。

【横浜市スポーツ施設無料開放への協力】

横浜市では、週休 2 日制の導入を契機に、毎週土曜日は、高校生以下への開放利用を行っています。

この取組みに協力し、**市民のスポーツ活動の普及に貢献**します。

【横浜マラソン大会参加者に向けた支援】

私たちは、地域住民が多数参加するスポーツイベントである横浜マラソン大会の参加者への支援を行います。

青葉スポーツセンターでは、マラソンに向けた身体づくりや正しいランニングフォームに関する講習・実技を実施しており、本施設でも開催します。



【総合型地域スポーツクラブの活動支援】Point

南区内唯一の総合型地域スポーツクラブである「**弘明寺くらぶ**」と連携します。

既に「弘明寺くらぶ」とは面談しており、基本的な活動は、大岡公園での各種ゴルフであること、主に高齢者を対象としたクラブであり、会員数も増加していることを確認しております。

私たちは、本施設で「弘明寺くらぶ」の広報や、イベント時にスポーツ吹き矢の体験会を実施頂くほか、代表企業職員による CPR・AED 操作研修等、**同クラブの活動支援**を行います。

【横浜スポーツパートナーズ応援コーナー】

令和 2 年 10 月に横浜市をホームとするトップスポーツチーム 11 チームによる「**ヨコハマスポーツパートナーズ**」が発足しました。

私たちは、横浜スポーツパートナーズの応援コーナーを施設内に設置し、市民の関心を高めます。

代表企業の運営施設では、地元スポーツチームの試合日には、当該チームの**ユニフォームを職員が着用**する等、施設を挙げて応援しており、本施設においても、ユニフォーム着用による機運醸成を図ります。

横浜スポーツパートナーズ	
チーム	種目
横浜DeNAベイスターズ	野球
横浜F・マリノス	男子サッカー
横浜FC	男子サッカー
横浜ビー・コルセアーズ	男子バスケットボール
Y.S.C.C.	男子サッカー
Y.S.C.C.	フットサル
日体大FIELDS横浜	女子サッカー
ニッパツ横浜FCシーガルズ	女子サッカー
日立サンディーバ	女子ソフトボール
YOKOHAMA TKM	女子ラグビー
横浜GRITS	アイスホッケー

(様式 15)

共同事業体名 みなみスポーツ共創パートナーズ
施設名 横浜市南スポーツセンター 提案書

地域との協力

【オリンピックレガシーコーナー設置】Point

東京 2020 オリンピック・パラリンピックというまたとない地域のスポーツ振興の機会を一過性に終わらせることなく、レガシーを継承していくために、オリンピックの**レガシーコー**

ナーを設置します。オリンピックで生まれた世界新記録や、横浜市内で行われた競技の結果等、市民がいつまでもオリンピックのレガシーを味わえる環境を整備します。



【区民の自発的な活動を支援】

地域住民の**自主的な活動を支援**するため、サークルの活動を紹介・支援し、各団体の活動を紹介するコミュニティボードを設置します。ホームページやコミュニティボードを見た方が自分も参加したいと思える団体を見つけ、住民同士のコミュニティ形成をサポートすることで、地域住民の団体活動への参加を促します。



コミュニティボード

【託児サービスによる子育て世代の支援】Point

本施設では、ベーシックピラティス・骨盤コンディショニングの教室で「**保育ボランティアみなみ**」による託児を実施しています。

私たちは、「さくらザウルス」等の区内の保育関係団体にヒアリングを行いました、「保育ボランティアみなみ」と引き続き連携することがベストと判断しています。

定期的に協議しながら、教室の増加も検討していきます。



保育ボランティアみなみとの連携

【子育て家庭支援サイト「ハマハグ」への登録】

横浜市では、子育て家庭支援として、子育て中の方（小学生以下の子どもがいる家庭の方）、妊娠中の方が、ハマハグに協賛しているお店・施設で登録証を見せると、安心・便利な設備・備品の提供、お得な割引・優待まで、子育てを応援する様々なサービスを受けられます。

私たちは、**ハマハグに協賛**することで、子育て世代が利用しやすい環境を整えます。



子育て家庭支援サイトハマハグへの登録

【全国健康福祉祭(ねんりんピック)かながわ 2022 への協力】

全国健康福祉祭(愛称:ねんりんピック)は、スポーツや文化種目の交流大会をはじめ、健康や福祉に関する多彩なイベントを通じ、主に 60 歳以上の高齢者を中心とする国民の健康保持・増進、社会参加、生きがいの高揚等を図る大会です。

令和 4 年は神奈川県で開催されるため、施設内での告知を行う等、本事業の開催に全面的に協力します。



ねんりんピックかながわへの協力

地域との協力

【近隣の企業の健康経営を支援】

代表企業が運営する横浜市および川崎市の施設において、神奈川県警警友会と、県警職員が安価で利用できる契約を締結し、**県警職員の健康づくり**に貢献しています。

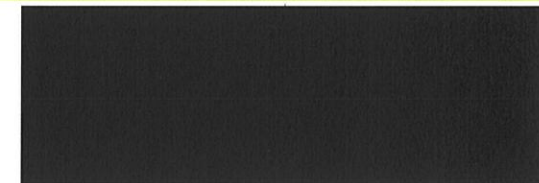
本施設においても同様に、関内周辺に事業所を置く企業を中心に営業活動を行い、積極的な地域のスポーツ支援を行います。

【施設外での地域との交流】

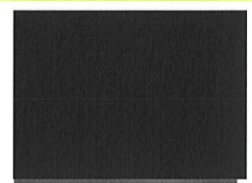
私たちは、**積極的に出張運動指導**を行い、地域のスポーツ振興に貢献します。

南区全域を意識した地域活動を行い、ノウハウを地域に還元していきます。

施設外での地域との連携(青葉区での事例)



デイケアサービス「オハナたまプラーザ」でのダンスパフォーマンス



子ども達からの感謝状

黒須田小でのキンボール体験

【施設外でのスポーツ活動を支援】Point

代表企業には、ラジオ体操指導員の資格を所有している職員が在籍しており、定期的にラジオ体操のイベントを実施します。

青葉スポーツセンターでは、区役所前の**広場でラジオ体操**を行い、職員や地域住民の方が参加されています。

施設内に留まらず、積極的なアウトリーチを行い、地域の健康の輪を広げます。



施設外でのラジオ体操

【スポーツボランティアの支援】

横浜市スポーツ推進計画では、「スポーツボランティアの支援」を推進し、スポーツボランティアが行ったことがある市民の割合が10%以上となることを目標としています。

青葉区民マラソン大会では、ランナーの到着を待つご家族に「スーパーボールすくい」「バルーンアート」のサービスを提供する等ボランティア活動が行っています。

市内・区内のイベント等、ボランティアセンターが募集するボランティアを本施設館内で募集する等、様々な形で**地域住民のスポーツボランティアへの参加**を促します。

【横浜市スポーツ医科学センターとの連携】

横浜市には、スポーツ医科学に関する専門機関である横浜市スポーツ医科学センターが設置され、多くのアスリートや本格的にスポーツに取り組む方の支援を行っています。

私たちは、本施設利用者で、医科学的なサポートを求められる方には、同センターの紹介をし、様々な**区民ニーズに沿った対応**を行います。

地域との協力

市・区スポーツ協会との連携

【横浜市スポーツ協会との連携】

代表企業は、横浜市スポーツ協会とは横浜国際プールで共同事業体を組成し、関係性を構築しており、同協会が運営する情報サイト「ハマスポ.com」での教室・イベントの紹介等を行って頂きます。

また、**スポーツフェスティバル**内で、プログラム体験会を行い、協力する等、共創・協働を図ります。



【南区スポーツ協会の賛助会員としての支援】Point

南区スポーツ協会に対し、代表企業は**賛助会員**として年会費を払い、協会の支援を行います。
地域におけるスポーツ振興の課題を協議し、その解決に向けて、双方の強みを活かした協働事業を展開し、区民のスポーツ振興に貢献します。

【南区スポーツ協会の事業報告の広報協力】

南区スポーツ協会の年間活動報告が、同協会のホームページに掲載されていますので、私たちは本施設のホームページにリンク設定し、積極的な広報協力を行います。

一人でも多くの南区民に対して、南区のスポーツニュースを届けることで、区民のスポーツ振興に貢献します。

【南区みなっちランニングフェスタへの協力】

南区みなっちランニングフェスタは、約 200 名ものランナーが集う、毎年恒例の地域の一大スポーツイベントです。

私たちは、南区スポーツ協会と連携した広報はもちろん、本イベントに合わせて、代表企業の職員による走り方教室を開催やトップアスリートの誘致等を行い、本イベントがより充実したイベントになるように協力します。



みなっちランニングフェスタへの協力

【スポーツボランティアセンターの案内】

横浜市では、スポーツボランティアセンターを活用し、「横浜マラソン」等の大規模スポーツイベントから地域スポーツイベントに積極的・自発的に関われる体制づくりが行われています。



私たちは、同センターが募集されているボランティア活動に関して、館内での募集協力を行うとともに、本施設で開催されるイベント・大会においても、準備・撤去等のボランティア協力を募り、様々な形で、地域住民のスポーツ関与を促します。

(様式 15)

共同事業体名 みなみスポーツ共創パートナーズ
施設名 横浜市南スポーツセンター 提案書

地域との協力

(2) 地域連携・地域貢献

市・区および関連機関との連携

【区との定例会の実施】

私たちは区との信頼関係を築き、透明性の高い運営を行うため、**区と月 1 回の定例会**を実施します。

利用者数や修繕の実績はもちろん、苦情対応の内容や自主事業売上等を毎月報告します。定期的に区とのコミュニケーションを図ることで、区と足並みを揃えた運営を行います。

月 1 回の定例会時の報告内容

名称	内容
事業報告書	業務実績・利用実績・施設の保全状況(修繕工事報告含む)、イベント状況報告、利用者からの意見・苦情内容
収支報告書	収支状況の報告(自主事業の収支報告含む)
履行チェック表	公募資料・提案資料から指定管理者として実施する事項を漏れなくピックアップ

【区内関係部署との連携内容】Point

本施設は、地域振興課はもちろん、その他イベントの連携等、**区の関連部署と密な連携**を取る必要があります。

私たちは、これらに関連する様々な区の関連部署の方と連携を取りながら、区のため、区民のために、全力で取り組みます。

区の関連部署との協力体制

関連部署	連携内容
スポーツ課	・本施設の所管課、各種事業の協力
高齢・障害支援課	・濱ともカード等の連携、各種事業の協力
子ども家庭支援課	・マタニティチケット等での連携、各種事業での協力
福祉保健課	・出張運動指導等での連携、各種事業での協力



【横浜市や南区主催事業への協力】

現在、本施設は新型コロナウイルスのワクチン接種会場となっています。代表企業が運営する施設においても、ワクチン接種会場として、経路を示す掲示を自主的に作成したほか、公共交通機関の案内作成、通常時よりも早く開館対応、終了後の消毒・清掃等を行っています。

本施設においても、公の代行者として、市や区の事業に対する**自発的な協力**を行います。

【南区情報掲示板の設置】

周辺住民の皆様に必要な情報をお知らせする南区情報掲示板を館内に設置します。

区の情報を紹介することで、区民サービスの認知度を高めたり、地域団体の事業を支援します。



地域情報コーナー

(様式 15)

共同事業体名 みなみスポーツ共創パートナーズ
施設名 横浜市南スポーツセンター 提 案 書

地域との協力

【「よこはま健康スタイル」への協力】

横浜市が健康寿命日本一を目指し、健康福祉局が実施する「よこはま健康スタイル」について、スポーツセンターのスポーツ教室をスタンプラリー対象事業にエントリーします。

その他、よこはまウォーキングポイント等の案内を、施設内に掲示する等、**横浜市全体の健康づくり**に貢献しています。

【濱ともカード】

スポーツセンターは、横浜市健康福祉局が実施する「**濱ともカード**」(65歳以上の市民優待サービス)の対象施設です。

毎月5日にトレーニング室が半額利用できる特典ですが、毎月15日も同条件でご利用できる日に設定します。



「濱ともカード」

【近隣警察・病院・消防署との連携】

緊急時には、近隣の警察署や病院・消防署と密な連携を行います。

類似施設では消防署と**合同の防災訓練**を実施しているほか、警察署とは日々の拾得物の管理や防犯活動で連携しています。

【転入者への「ウェルカムチケット」】Point

横浜市中期4ヵ年計画では、人口減少社会の到来、超高齢社会の進展の対策として、子育て世代の転入を重要視しています。

南区は、転入者が多いため、転入をきっかけに本施設の利用促進を図ります。

私たちは、区と相談の上、区への転入者に対し、本施設のトレーニング室を1回無料で利用できる**ウェルカムチケット**を配布します。

【よこはまウォーキング事業の紹介】

第2期横浜市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、よこはまウォーキングポイント新規参加登録者数15,000人以上のKPIを設定されているため、本施設内でこの事業の紹介を行います。

市内に在住する職員自身も登録を行い、健康経営に取り組めます。

青葉スポーツセンターでは、「**桜ウォーキングイベント**」を開催し、スポーツセンターから約3.5キロを、桜を見ながらウォーキングを行い、本事業の支援を行いました。



桜ウォーキングの様子

【横浜市スポーツ・レクリエーション人材養成講座】

横浜市では、地域のスポーツ振興のために活動できる人材を養成する「横浜市スポーツ・レクリエーション人材養成講座」を実施しています。

スポーツセンター職員が本講座に参加し、**横浜市と目線を合わせた**スポーツ振興に取り組めるような人材育成を行います。

地域との協力

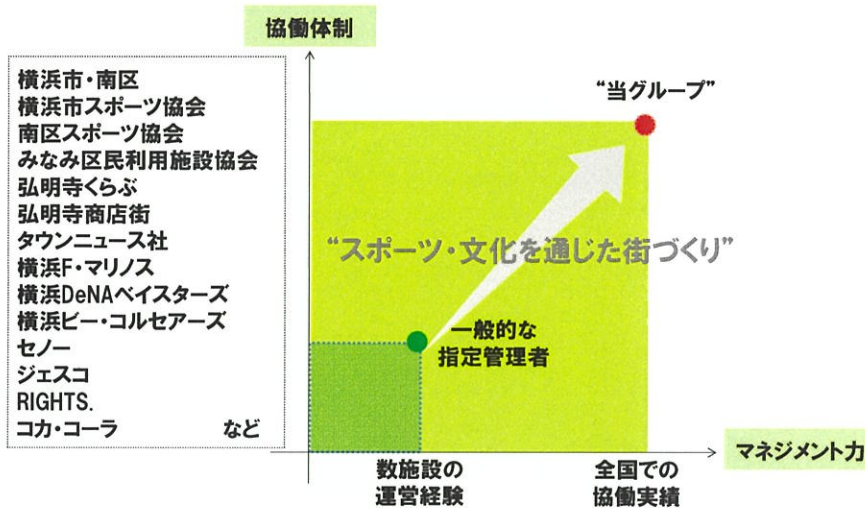
地元教育機関や商工団体等との地域連携

【地域団体との共創・協働】

地域団体との協働体制は、施設を運営する上で、不可欠です。

私たちが、横浜市内で運営する施設では、地域団体と相互理解を深め、**強固な協働体制**を構築しており、さらには各団体と協働を図ることができる**マネジメント力**を有しています。

地域団体との共創・協働により、地域と賑わい拠点を作ります。



【大岡地区センター・大岡地域ケアプラザとの協働】Point

本施設の管理運営において、同じ大岡健康プラザ内に存在する大岡地区センター・大岡地域ケアプラザとの連携は欠かせません。

また、防災訓練等、合同での職員研修にも積極的に取り組み、**合築施設として一体感のある運営**を目指します。

【弘明寺商店街との共創】Point

私たちは、本施設の近隣に位置し、大岡・弘明寺エリアの活性化の拠点である弘明寺商店街との連携を計画しています。

商店街連合会に加盟し、本施設を個人利用すると商店街で使えるポイントが貯められる仕組みを整えることで、普段商店街を利用する地域住民が、本施設でスポーツをする大きなきっかけになり、また、本施設利用者が弘明寺商店街を知り、利用するきっかけにもなります。

また、飲食店の注文サービスや、整骨院の出張施術等、店舗ごとの連携も打診していきます。

現在のようなイベント時に限らず、**日常的に連携**することで、本施設も地域も活性化し、好循環を生み出します。

【南区商店街サポーターへの登録】

南区商店街では、商店街の活性化並びに地域の活性化のため、商店街を応援する「サポーター」（ボランティア）を募集しています。

私たちは、**南区商店街サポーターに登録**し、商店街の実施するイベント運営、アシスタント業務等に協力します。



(様式 15)

共同事業体名 みなみスポーツ共創パートナーズ
施設名 横浜市南スポーツセンター 提 案 書

地域との協力

【市・区保健活動推進員との協働】

横浜市保健活動推進員は「健康横浜 21」の地域における推進役として、区役所と協力しながら地域の健康づくりの推進のために活躍しています。

私たちは、「保健活動推進員だより」を本施設に設置するほか、横浜市保健活動推進員の実施する事業に積極的に協力します。

【近隣大学との協働】

代表企業は、平成 29 年に横浜市内にキャンパスを有する日本体育大学と**体育・スポーツ・健康分野における活動全般での連携協定を締結**しました。青葉スポーツセンターでは、同大学の陸上部コーチによる走り方教室を開催したほか、令和元年には、ラグビー部によるラグビー教室も開催しました。



本施設においても、横浜国立大学等、**地域ネットワークを活用**した取組みを積極的に開催します。

【近隣医療機関との共創】Point

青葉スポーツセンターでは、近隣の昭和大学リハビリテーション病院と連携した「心臓リハビリ教室」を実施し、医療機関と連携した好事例として、スポーツ庁からの視察も頂きました。

地域住民の健康増進に向けて、近隣の医療機関との提携を図り、普段はスポーツセンターを利用されない方も参加され、幅広い地域住民の健康増進に貢献します。



近隣医療機関との連携

【区民利用施設との協働】

青葉スポーツセンターでは、地区センターの指定管理者である青葉区区民利用施設協会と連携を行い、**相互の利用促進**を行っています。

また、近隣の町内会にご協力頂き、回覧板による地域住民の方に告知を行っています。

南区内でも同様に、区民利用施設等の施設同士のコミュニケーションを深め、共存共栄となるよう、積極的にコミュニケーションを行います。

【地域メディアとの共創】

横浜市内本社の**タウンニュース**や**神奈川新聞社**等の地域に根差したメディアを活用し、多くの区民に情報を届けます。

神奈川県全域・東京多摩地域の地域情報紙



青葉スポーツセンターでは、区のコミュニティ FM に総

括責任者が出演しており、本施設においても地元メディアへの積極的な連携を図り、広く区民に情報を届けます。

(様式 15)

共同事業体名 みなみスポーツ共創パートナーズ
施設名 横浜市南スポーツセンター 提 案 書

地域との協力

【青葉スポーツセンターでの地域団体との連携実績】

地域に根ざした施設にするために、類似施設の実績を生かし、**様々な地域団体との連携**を行います。

地域団体との主な連携実績					
団体	連携内容	写真	団体	連携内容	写真
神奈川県 ラジオ体操連盟	ラジオ体操 無料講習会		NPO法人 三味線普及の会	体験イベント開催	
青葉区スポーツ協会・ 市が尾連合会	イベント企画運営		青葉区老人連合	「歌って健康～歌声コ ンサートイベント」招待	
青葉区 ショートテニス協会	体験会開催		JA横浜	野菜出張販売	

【職場体験の受け入れ】

職場体験として、区内中学校等の生徒受け入れに協力します。

体験した生徒には、修了証をお渡しし、達成感を味わって頂く演出を行います。

地域特性を理解した事業

【利用者懇談会の実施】Point

私たちは、事前に「**弘明寺くらぶ**」をはじめとした、地域団体と面談する中で、「もっと地域の顔を見て運営してほしい」という意見を頂き、地域と一体となった管理運営の必要性を感じています。

私たちは、施設を利用する団体の代表者や個人利用者から施設運営に関する意見を頂く、**利用者懇談会**を実施します。

代表企業が運営する全国の施設でも実施しており、本施設でも同様に実施します。



他の施設での利用者懇談会

【利用者との協働による館内の装飾】

利用者と協働で、季節に応じた**館内の装飾**を施します。

類似施設では、施設を利用されている地域住民の方から七夕用の笹をご提供頂き、そのお礼として、代表企業から感謝状を贈呈しました。

本施設においても、地域と一体となった施設づくりを進めていきます。



地域との協力

【地域住民参加型の防災訓練】

災害時には指定管理者だけでなく、利用者・近隣住民の協力が必要です。

代表企業の運営する類似施設では、地域防災力を向上させるため、**地域住民を交えた防災訓練**を行っています。

本施設でも同様の取組みを行い、地域と協働で防災力を高めます。

様々な場面を想定して行われる防災訓練			
同じ建物で活動する社会福祉協議団体と合同の訓練		幼児預かりサービス担当事業者との合同訓練	
レスキューベンチを使った搬送訓練		構成企業へのCPR&AED講習の実施	
消火担当者による初期消火対応		川の氾濫を想定した防水方法の訓練・検証	

【小学生向け夏休みイベント】

私たちは、夏休みに入った区内の小学生向けに「**夏休み子ども向けイベント**」を実施します。

休みに入ると生活のリズムが乱れ、運動する機会も減ってくるため、運動・学習・お祭り等のイベントを計画したり、会議室では宿題やっつけタイムを実施し、地域のコミュニティ拠点としての役割を果たします。

【横浜ビー・コルセアーズによる教室の開催】 Point

横浜市中期4ヵ年計画では、地元プロスポーツチームとの連携を通じ、市民が一流のプレーを観戦する機会や、夢や感動を共有する機会を創出するとともに、集客促進や地域経済活性化を目指しています。

私たちは、**横浜ビー・コルセアーズと連携**したバスケ教室やチアダンス教室に加え、選手によるイベントを開催します。

また、夏休みの短期教室やバスケ大会の連携も検討しています。

横浜ビー・コルセアーズとは既に調整を行っており、実現可能なご提案です。



横浜ビー・コルセアーズによる教室

【ラポール上大岡との連携】

横浜市では、障がい者のスポーツや文化活動を通じた健康支援等をさらに充実させるため、障がい児者のスポーツ・文化活動の新たな支援拠点として、「障害者スポーツ文化センターラポール上大岡」を整備しました。

障害者スポーツ文化センター



私たちは、**ラポール上大岡と連携**し、障がい者スポーツイベントの開催や講師派遣等の連携を行います。

【代表企業上大岡店との連携】

代表企業は、上大岡で直営スポーツクラブを運営しており、本施設周辺から通っている方も非常に多いため、上大岡店で**本施設の広報**を行います。

また、上大岡店と連携した研修会の実施や、職員の相互活用により、直営スポーツクラブと同様、高品質のサービスと指導を提供し、地域スポーツに貢献します。

(様式 15)

共同事業体名 みなみスポーツ共創パートナーズ

施設名 横浜市南スポーツセンター 提案書

地域との協力

【南区内他施設との連携】

私たちは、六ツ川スポーツ会館や各地区センター等の、体育室を有する**区内施設と情報連携**し、チラシやイベント案内の相互配架を行うことで、地域のスポーツ情報を広く届けます。

【民間スポーツクラブとの共生】

代表企業は、全国で自社の直営スポーツ施設と公共スポーツ施設を**それぞれ 200 近く運営している唯一の企業**であり、それぞれの特徴や棲み分けを誰よりも理解しています。

本施設周辺にもコンビニフィットネス等が立地していますので、それら民間施設の事業に配慮した内容としていきます。



【みなみラウンジと連携した多文化共生コミュニティづくり】

横浜市では、急増する外国人とそれを受け入れる地域社会が共に暮らしやすいまちづくりを目指し、外国人のための生活情報提供、相談を多言語で実施するとともに、日本語教室の開催、通訳ボランティアの派遣、日本人との交流活動等を行う国際交流ラウンジを設置しています。



南区においても、**みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ(みなみラウンジ)**にて、市民活動に関する相談・情報提供、団体の活動拠点としての場の提供、外国人市民のための生活相談や情報提供、多文化共生ボランティアの登録・派遣・活動支援等行われています。

私たちは、施設内にパンフレットを設置する等の**本ラウンジの紹介**はもちろん、本施設に講師を派遣頂く等の連携を検討します。

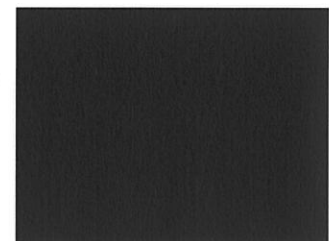
地域還元策

【施設周辺の清掃活動】

横浜市中期計画では、「まちの美化の推進」を掲げ、きれいなまちの推進のため、市民の主体的な美化活動等を進めています。

私たちは、**本施設周辺の清掃活動**を主体的に実施します。

利用者にも参加を呼び掛け、地域と協働で活動に取組みます。



地域清掃活動への参加

【地域住民向けCPR・AED操作講習会】

私たちは、地域住民向けの CPR・AED 操作講習会を実施します。

地域住民の方にも輪を広げ、**安全・安心なまちづくり**に貢献します。

【想定を上回る収入となった場合の還元】

毎年度の利用料収入実績が、利用料収入想定額を超過した場合、その**超過額の 20%を区民に還元(返還)**します。

地域との協力

【障がい者団体によるお弁当販売】

代表企業の運営する青葉スポーツセンターでは、毎週木曜日に、青葉区内の障がい団体によるお弁当販売を実施しています。

本施設においても、区内の障がい者団体と協力したお弁当販売を行う等、障がい者の社会参加活動に引き続き協力します。



障がい者団体によるお弁当販売

【区民還元イベントの開催】

私たちは、日頃から施設を利用頂いている区民の方に、感謝の想いを込めて、**区民還元イベント「ファミリースポーツデー」**を開催します。

代表企業の運営する施設では、施設を無料開放し、自治体の首長にもお越し頂き、地元の各団体やトップアスリートにより、様々なイベントを行い、地域の皆様に楽しんで頂いています。

本施設においても、**トレーニングルームを新たに無料開放の対象とする**等、本施設にふさわしいイベントを計画・実施します。

【施設近隣の飲食店のご案内】

横浜市では、新型コロナウイルスの感染拡大により、厳しい状況にある飲食店を応援するため、横浜市内のテイクアウトやデリバリーができる店舗を紹介する「**テイクアウト&デリバリー横浜**」に取り組んでいます。

私たちは、本施設に、南区内の一覧を掲示する等、本事業に協力し、利用者の利便性向上及び地域経済の活性化に努めます。



地元住民の雇用計画

【地元雇用の創出】 Point

私たちは、地元の人的資源を活かし、地域に密着したサービスの提供を目指します。

青葉スポーツセンターで、職員 27 名中 22 名 (81.5%) は横浜市民を雇用しており、代表企業の横浜市内の直営施設では合計で**約 400 名の市民を雇用**しています。



地元雇用の創出

【地元事業者の積極的活用】

横浜市中小企業振興基本条例を踏まえ、私たちは、**市内の中小企業への優先発注**の徹底に努めます。

代表企業・構成企業の有するスケールメリットを活かしつつ、市内企業育成の観点を持ち、横浜市内・南区内の中小企業への発注を行います。

地元事業者への優先発注	
委託予定先	業務内容
南区内点検業者(予定)	空調・給排水設備
南区内機械警備業者(予定)	機械警備監視
南区内点検業者(予定)	昇降機保守点検
南区内点検業者(予定)	修繕工事
神奈川ナブコ(市内)	自動扉保守点検
関東電気保安協会(市内)	自家用電気工作物点検

モニタリング

(1) 自己評価・第三者評価

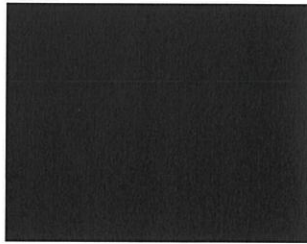
自己評価

【職員ミーティング・職員アンケートでの自主的な改善】

私たちは、休館日を利用し、職員によるミーティングを行い、各職員が改善提案を出し合い、**施設運営のレベルアップ**に取り組めます。

また、年 1 回、本施設の職員が施設の運営に関するアイデアを出す職員アンケートを実施します。

これまでも類似施設では、施設と地域の両方を良く知る職員だからこそ生まれるアイデアから、地域・施設に合った取組みを実現し、**施設活性化に大きく貢献**しています。



職員ミーティングの開催

【自主事業実施時のチェック体制】

私たちが実施する自主事業において、**安全管理等に適切に配慮**できているか、他の職員が抜き打ちで確認を行います。

また、講師からの指導報告書にて、教室実施の状況を細かく確認しており、今後も同様に自らのチェック体制により、品質向上に努めます。

【運営統括部門による巡回モニタリング】

代表企業は、業務の履行確認・評価を行うモニタリング方法をシステム化しています。

エリアを統括する部門による**月 1 回の巡回モニタリング**にて、コンプライアンスを含め、継続的に改善状況を確認・指導を行っています。

また、事業計画書で提案した事項についても、履行チェック表による確認を行います。

【代表企業専門部署による監査】

代表企業では、全国からランダムに施設を抽出し、**内部監査室**による監査を実施しています。

不適切な会計処理は無いのか、適正に管理が行われているか、確認する体制を構築しています。

【コンプライアンスチェック表】

代表企業では、施設の鍵管理・金銭管理・法令に係る事項を厳格に守っているかチェックする**コンプライアンスチェック表**を作成しています。

公共施設を運営する者としての厳格な自己管理を行います。

コンプライアンスチェック表(一部)

- ・法令を遵守し、全体の奉仕者として、誠実かつ公平に職務を行っている。
- ・個人情報収集するときは、個人情報保護条例に定める個人情報取扱事務登録簿を作成し、その目的を明示して、必要最小限の情報のみ収集している。
- ・鍵の管理は、台帳を作成し上長から許可をもらってから鍵の受け渡しを行っている。
- ・金銭管理を行う従業員は、社内研修を受けなければならない、金銭取扱は二名以上で行っている。

【類似施設の事例共有】

私たちの最大の強みは全国の施設における成功事例・失敗事例を共有できることです。

代表企業は、定期的に類似施設の好事例をデータベースに提案内容に共有される仕組みが構築されています。

本施設の履行においても、他施設の実施事例を基に遂行できる体制を構築しています。

モニタリング

提案内容の実施管理体制

【履行チェック表による提案内容の実施体制】

代表企業では、本事業計画を確実に実行するため、提案事項の**履行チェック表**を作成し、進捗管理を行います。

事業計画が、絵に描いた餅に終わることのないよう、履行状況を可視化し、指定期間の4年目からは本社開発部門の応援の下、**未履行事項を確実に実施**します。

また、代表企業では、提案内容の履行状況を、**人事評価の目標に組み込み**、実行に対するモチベーションを喚起され、自発的な実施を促進しています。

履行チェック表の活用による漏れのない業務

【初年度振り返り会議】

代表企業では、新たに運営開始した施設について、1年目の運営終了後に、担当職員・本社企画開発部門・運営部門・施設が集まり、**初年度振り返り会議**を開催しています。

当初立てた計画に対して差異が生じていることはないか、その要因は何か、代替策はないか等、詳細に亘り、管理運営状況に関するチェックを行います。

初年度終了時にこれを実施することで、早期の軌道修正を行うことができ、その後の安定した運営に繋がります。

利用者モニタリング

【多角的な利用者満足度の調査】

私たちは、利用者の要望・意見を、**多角的・積極的に収集**し、的確に対応します。

多角的な収集を行うことで、サイレントマジョリティーと呼ばれる、普段声を挙げない方の満足度も確認できます。

私たちは、このご意見を施設運営へ反映させる仕組みが構築しており、この仕組みに基づき実現してきた利用者本位の運営を本施設でも実現します。



【利用者属性に応じたアンケート】 Point

本施設は、個人利用や団体予約、教室参加等、様々な利用パターンが存在し、共通のアンケートを行ったとしても、課題や打つべき方策等が明確にならないため、私たちは、**利用者属性別にアンケート**を実施します。

利用者アンケート計画		
対象者	回数(頻度)	アンケート内容
個人利用	年1回	施設全体、受付対応、施設設備、サービス内容
団体利用	利用後随時	専用利用対応、受付対応、施設設備
教室参加者	年4回	教室内容、講師対応、受付対応

代表企業が運営する**神奈川県内のスポーツ施設**は、年間利用者数約100万人を記録する団体利用が非常に多い施設のため、団体の満足度向上に積極的に取り組んでいます。利用当日の受付時にアンケート用紙をお渡しし、利用後に回収することで、専用利用を含む**全団体から日常的にアンケートを回収**しています。要望の反映や不具合対応にも迅速に対応した結果、満足度を実現しています。

モニタリング

【お客様の声BOXの設置】

私たちは、利用者からの要望・苦情は「情報の宝庫」という認識の基、施設内に「**お客様の声BOX**」を設置します。

現指定管理者も、アンケートを実施されていますが、その回答はファイリングされ、目立たない場所に置かれているため、**利用者の目には留まらない状況**です。

私たちは、頂いたご要望・ご意見に対しては、毎日の職員ミーティングで共有し、1週間以内に回答を**施設内の回答ボード**に掲示し、広く情報公開していきます。



お客様の声BOXの設置



お客様の声 回答ボード

【利用者懇談会の実施】

私たちは、事前に「**弘明寺くらぶ**」をはじめとした、地域団体と面談する中で、「もっと地域の顔を見て運営してほしい」という意見を頂き、地域と一体となった管理運営の必要性を感じています。

私たちは、施設を利用する団体の代表者や個人利用者から施設運営に関する意見を頂く、**利用者懇談会**を実施します。また、地域コミュニティの活性化を強く推進するため、「特定非営利活動法人みなみ区民利用施設協会」やその他近隣の公共施設管理者に参加頂く計画です。

代表企業が運営する全国の施設でも実施しており、本施設でも同様に実施します。

【プログラム実施後の意見聴取】

私たちは、プログラムの受講者に対し、**プログラム実施後の意見聴取**を定期的に行います。特に、新規で導入するプログラムに関しては、きめ細やかな意見聴取を行い、必要に応じて、軌道修正を行い、利用者ニーズに対応します。

参加者のご意見を基に、内容は**3か月に1回の見直し**を行います。

【利用者意見の積極的な反映】

利用者ニーズを収集するだけでなく、寄せられた意見への期待に応えるべく、すぐに**実現可能なものは現場で迅速に対応**します。

私たちの運営施設では、右図の通り、積極的に利用者からの声の反映をしており、本施設でも同様に利用者意見を取り入れます。

その場で対応の難しいものについては、随時区と相談の上で対応します。

利用者からの要望に対する対応(一例)	
利用者からのお声	対応内容
・自動販売機に飲むゼリー飲料を入れてほしい。	・ベンダーと調整を回り、ゼリー飲料を導入するとともに、LED仕様のエコロジータイプの自動販売機に更新。
・トレーニングマシンを使用後に汗を拭かない利用者があるので注意して欲しい。	・利用者への声掛けとともに、トレーニングマシン使用後の汗拭きをお願いするPOPを掲出。
・授乳室が欲しい。	・幼児室、多目的トイレ、ロッカー、会議室等、居室の空き状況を踏まえ、授乳スペースとして活用頂けるよう、臨機応変に対応。
・腹筋、腹斜筋に利くトレーニングマシンを導入して欲しい。	・設置している腹筋台を使用し、角度や体の使い方によって効果が変わること丁寧に説明。また、合わせて 体幹を鍛えるプログラム があることもご案内。
・自転車利用者が駐車場車路に駐輪し通行の妨げになる。	・駐車場車路に駐輪禁止の掲示と、コーンとポールを設置し、駐輪車への注意喚起の案内文を配布。
・運動に必要な私物を保管できるロッカーを設置して欲しい。	・月極の契約ロッカーを設置。
・スタジオプログラムの時間を変更して欲しい。	・新しいプログラム導入時に 要望の多い時間帯へ時間変更 を実施。
・ロッカーに泥だらけの靴を入れてる人がいて不衛生。	・ロッカー入口付近に注意喚起を掲示し、靴入れの袋を受付で配布。

モニタリング

【未利用者へのアンケート実施】 Point

私たちは、施設の利用者だけでなく、未利用者からもアンケート評価を頂くことで、**潜在的なニーズに対応**します。併設する大岡地区センター・大岡地域ケアプラザはもちろん、**代表企業及び構成企業の近隣施設**にて、本施設に対するアンケート調査を実施します。

施設利用者のみを対象とした偏った評価ではなく、客観的な評価を得ることで、より多くの区民の施設利用を実現します。

第三者モニタリング

【行政モニタリングへの協力体制】

横浜市では、指定管理者制度導入施設における管理運営状況の把握・チェックを行うため、全施設の管理運営状況の評価を実施しています。

次期指定期間においても、本モニタリングが適切かつ効率的に実施できるよう、準備等を含めた**全面的な区への協力**はもちろん、頂いた結果は確実に運営に反映していきます。

【第三者モニタリングの実施】 Point

私たちは、横浜市で行う第三者評価とは別に、**独自の第三者機関によるモニタリング**を実施します。

委託する第三者機関は、横浜市の第三者モニタリングの実施機関であり、横浜市の重要事項を把握している事業者を予定しています。

行政の要求水準と合致した評価項目を点数化することで、業務の実施状態が客観的に分かる仕組みとし、指摘された項目については業務改善に努めます。



第三者機関によるモニタリング

モニタリング情報の開示

【アンケート結果・対応実績の公表】

利用者から頂いた声は、利用者のプライバシーに配慮しパソコンで打ち換えた上で、1週間以内に掲示板に回答を公開します。

また、アンケートやモニタリングの結果に対する対応実績を掲示することで、**自身の声が反映されることを実感**して頂き、さらなる満足度向上に繋げていきます。

利用者から常に意見を頂ける環境を構築し、すぐに施設運営に反映できる体制を整えます。



アンケート結果の公表

【事業計画書・報告書の公開】

区に提出する年度事業計画書及び報告書は、施設内においても、希望者が閲覧できるよう準備します。

また、ホームページ上にリンク設定をして、広く公開します。

新型コロナウイルス感染症等の対策に関する取組

(1) 新型コロナウイルス対策感染症等への対策

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に係る具体的な取組や考え方

【施設混雑状況の公開】 Point

私たちは、インターネット上で施設の混雑状況がリアルタイムにわかる**ネコの目システム**を導入します。

混雑状況をリアルタイムで更新し、何曜日の何時くらいに混雑する傾向にあるのかを把握できるようにすることで、利用者が密を回避でき新型コロナウイルス感染症の拡大防止に繋がります。

さらに、受付や入口付近に混雑状況を示す掲示板等を設置し、随時職員が手動で更新します。

このように**混雑状況を可視化**することで、施設が空いている時間に来館できるようになり、利用者が快適な環境で利用できるよう努めます。



【トレーニング室の人数制限の運用】

現在、トレーニング室は 22 名までと定員が定められており、定員に達した場合、1 人が退出すれば 1 人が利用できる運用です。

私たちは、全国の施設において同様の運用を行っており、本施設においても、同様に定員制を継続して実施します。

利用者が密集することを防止し、利用者の**安全性を向上**させます。

【館内の清掃・換気の徹底】

代表企業の運営施設では、**消毒液を設置・増設**し、利用者が必要な時に消毒を行える環境を整備しているほか、**2 時間毎にクリーンタイム**を設け、館内の清掃と消毒、換気を行います。

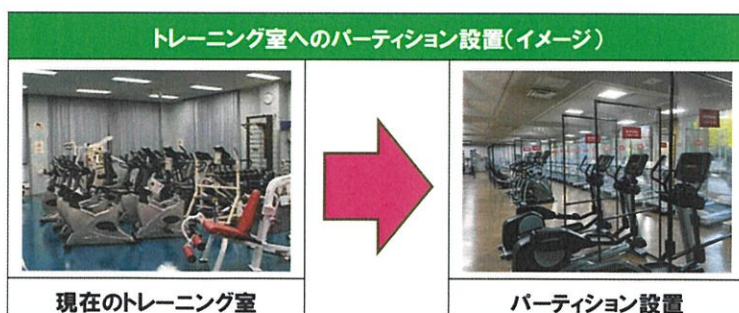
特にドアノブや手すり、ロッカーの取っ手等の利用者が頻繁に触れる箇所については、巡回時に除菌消毒を徹底し、安心してご利用頂けるよう努めます。



【トレーニング室にパーティション設置】 Point

現在、トレーニング室には、飛沫防止のためのパーティションが設置されておらず、**十分な感染症対策ができていない**状況です。

私たちは、パーティションによる感染症対策を実施し、飛沫防止の対策を講じます。



新型コロナウイルス感染症等の対策に関する取組

【ホームページ等での横浜市・南区オリジナル運動動画紹介】 Point

横浜市では、外出機会の減少による高齢者の運動不足解消及びロコモの予防のため、市のホームページ上で、自宅でもできる運動「**ハマトレ**」を紹介しています。

南区では、区のホームページ上で、親子や高齢の方まで楽しく運動することができる南区オリジナル体操「**みなっち体操**」や手軽にできるウォーキング、健康づくりのための「**健康ウォーキングマップ**」を紹介しています。

また、代表企業では、緊急事態宣言の前後に自宅等で簡単にできる**オリジナル運動動画を毎日配信**してきました。

私たちは、代表企業作成動画に加え、「ハマトレ」や「みなっち体操」を**本施設のホームページに掲載**するほか、**館内にパンフレットを設置**する等、一人でも多くの区民が施設外でも運動に取組めるよう、後押しします。

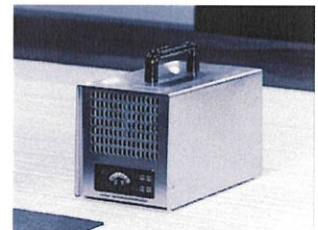
さらに、イベント時には、本施設において、代表企業の職員が「ハマトレ」や「みなっち体操」を用いた教室の開催を行います。

各種運動動画の紹介				
代表企業オリジナル動画の掲載	施設独自の運動動画の掲載	ハマトレの掲載	みなっち体操の掲載	健康ウォーキングマップ等のパンフレット設置

【空間殺菌を行うオゾン発生器の導入】 Point

私たちは、新型コロナウイルスの99%不活性化が確認された、**館内の空間殺菌を行うオゾン発生器を導入**します。

オゾンは、強い殺菌力・消臭力・脱臭力があるほか、次亜塩素酸水やアルコールのような液体ではなく、気体で行う殺菌のため、施設内の手の届かない隅々まで消毒可能です。



オゾン発生器の導入

【非接触式のキャッシュレス決済の対応】

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、人と人との接触機会を極力減らすことが重要です。

私たちは、クレジットカード・交通系ICカード等の**キャッシュレス決済を導入**し、現金の受け渡し機会を減らします。



キャッシュレス対応

【二酸化炭素濃度計の導入】

ウイルス飛沫はアクリル板等で防止できますが、室内を漂うウイルスには効き目が少なく、対策とされるのが三密の防止や換気の励行です。

ウイルスは呼気の中に含まれているため、空気中のCO₂濃度を測定することで感染リスクを推し量ることができます。

私たちは、**トレーニング室に二酸化炭素濃度計を設置**し、換気の状態をリアルタイムでお知らせします。



二酸化炭素濃度計

新型コロナウイルス感染症等の対策に関する取組

【自動検温システムの導入】 Point

構成企業のグループ会社が運営する映画館やショッピングモールでも導入されている、自動検温システムを本施設に導入します。設置した小型端末により、来場者の体温を 0.5 秒で測定することで、新型コロナウイルス感染拡大の予防につなげます。

AI (人工知能) による画像認識と赤外線カメラによって、対象者の体温を測ることができ、端末から 1.2 メートル離れていても測定可能です。



自動検温システム導入

【構成企業の対策例】

構成企業は、職員の安全と健康を確保しながらお客さまのクライシスマネジメントを担う立場から、下図の通り様々な防疫対策を実施しています。

【構成企業】 新型コロナウイルス感染拡大防止に関する対応	
従業員を守るための取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・協力会社を含め、全従業員の体調管理と感染予防策を実施 ※検温機器や飛沫防止シート、アルコールの設置等 ・時差出勤やテレワークの推進等 ・会議の頻度や環境の見直し
お客さま(管理物件)に向けた対応	<ul style="list-style-type: none"> ・商業施設やオフィスではアルコールによる予防清掃を実施 ・陽性反応者が確認された施設では専門性を有する協力会社と連携し、迅速かつ適切に対応 ・飛沫防止シート、業務用マスク、手袋、アルコール等、防疫関連資材を安定的に供給
ニューノーマル構築に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生清掃をベースとした貿易・消毒方法の確立 ・非接触型施設環境の確立 ・空調管理による省エネ化と換気・空調の改善等

【教室事業等実施時の工夫】

代表企業が運営する施設では、FIA(日本フィットネス産業協会)の**新型コロナウイルス感染拡大対応ガイドライン**に基づき、スポーツ教室の定員の制限、換気等を徹底して実施しています。

本施設でも、利用者が安心して、スポーツを実施できるよう、新型コロナウイルスの対策を徹底します。

FIA フィットネス関連施設における 新型コロナウイルス感染拡大対応ガイドライン ～スポーツ教室～ (一部抜粋)	
・指導者並びに参加者のマスクやネックゲイター等の着用を原則とする	
・密になる人数でのレッスンは行わない	
・マスク等の着用を前提として、対面となるような配置を避ける	
・できるだけ2m(最低1m)の間隔を確保	
・参加者には事前に位置取りを確認して指定すること周知	
・プログラム中に距離が接近している参加者には距離を確保するよう指導	
・道具等は複数人で使い回すことを禁止し、毎度適切に消毒	
・過度な大きさ、頻度の声出しを禁止。	
・ハイタッチや握手等のスキンシップは禁止	

【料金収入減に対する対応策】 Point

今般のコロナ禍により、本施設のようなスポーツ施設では、運営再開後も利用者離れが生じています。

私たちは、全国の運営施設における事例を活用し、**可能な限り収入減への対応策**を講じます。

コロナ禍でも実施可能な収入減少への対応策		
収入増加策	▲施設利用時間の延長	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>現状 ～21:00</p> <p style="color: red; font-weight: bold;">時間延長</p> <p>提案 ～23:00</p> </div>
	▲営業時間外(延長時間)でのスポーツ教室実施	
	▲幅広い広報の展開(タウンニュースによるSNS)	
	▲屋外でのスポーツ教室	
コスト削減策	▼水光熱費の徹底管理	
	▼利用者数に応じた効率的な人員配置	

新型コロナウイルス感染症等の対策に関する取組

with/after コロナを見据えた施設運営、事業展開の方針

【横浜市作成ガイドラインの遵守】 Point

横浜市では、市民の皆様へのお願い（新型コロナウイルス関連）として、スポーツ観戦時の注意をホームページ等で掲示されています。

私たちは、本ガイドラインの遵守はもちろん、**施設内に掲示**することで、市民の感染症対策への理解を高めます。

また、今後も変異型への対応等、次々と情報がアップデートされることが想定されますので、タイムリーに対応します。



【感染症対策宣言ステッカーの取得】

横浜市では、「新しい生活様式」普及推進事業として、事業者が取組む新型コロナウイルス感染症対策の事例を発信し、**感染症対策宣言ステッカー**を作成し、配布しています。

私たちは、「新しい生活様式」の事例で紹介される取組みを、本施設にも採り入れ、ステッカーの申込みを行います。**施設内にステッカーを掲示**することで、利用者に安心感をもたらします。

【スポーツ庁「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」に基づく対応】

スポーツ庁は、体育施設を開館する基準や感染拡大予防のための留意点について、「**社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン**」(令和3年2月17日改訂)をまとめています。

私たちは、このガイドラインに基づき、対策を下表の通り定めており、ガイドラインに準拠した施設の管理運営を行います。

内容	ガイドライン記載内容	当グループの対策
社会体育施設の再開に当たっての基本的な考え方	・当該施設が立地する都道府県の方針に従うことが大前提であり、再開の判断に迷われた際は、施設が所在する都道府県の衛生部局等への御相談をお願いします。	・指定管理者での判断が困難な場合は、 市・区に相談 します。 ・その際、運営する他施設の事例や直営施設の 事例を共有 します。
社会体育施設の再開時の感染防止策	・各事項については、チェックリスト化し、施設内の適切な場所(管理事務所や各施設の入口等)に掲示するとともに、各事項がきちんと遵守されているか施設内を定期的に巡回・確認する。 ・障がい者や高齢者など利用者の特性にも配慮する必要があります。	・本施設入口や受付、居室等にチェックリストを掲示し、利用者が遵守できているか、 定期的に巡回して確認 します。 ・従来行っている障がい者・高齢者対応研修に、 新型コロナウイルス感染拡大を防ぐための内容 を盛り込みます。
施設の予約受付時の対応	・施設管理者は、施設の予約受付に際し、感染拡大の防止のために利用者が遵守すべき事項を明確にして、協力を求めることが必要。 ・これを遵守できない利用者には、他の利用者の安全を確保する等の観点から、施設の予約を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあり得ることを周知することが必要。	・チェックリスト等の内容を遵守頂く必要がある旨を 施設内で周知徹底 します。 ・ 施設ホームページにも遵守事項を掲載 し、施設を訪れる前に確認頂ける環境を整備します。 ・予約の取り消し、途中退場によるトラブルを招かないよう、 丁寧な説明を徹底 します。
施設の予約受付時の対応(大規模イベント等の場合)	・施設を利用した全国的かつ大規模なイベントの開催が見込まれる場合は、事前にイベント主催者に感染リスクへの対応状況を確認し、感染リスクへの対応が整わない場合は、利用許可しないなど、慎重な対応をとることが必要。	・ 市・区と事前に相談 を重ね、開催する場合は徹底した対応を行います。

新型コロナウイルス感染症等の対策に関する取組

【全国の運営施設における実例の活用】

代表企業では業界団体である、スポーツ庁や FIA (一般社団法人日本フィットネス産業協会) が示すガイドラインに準拠しつつ、更にそれを**上回る対策**を策定しました。

構成企業も、全国のスポーツ施設、宿泊施設、ホール等、多くの用途の管理運営をしており、ノウハウを共有することにより、施設の用途や運営方法等に合わせた対応を実施します。

新型コロナウイルス対応事例



【フィットネスニュースタンダード宣言】

代表企業では、with/after コロナを見据え、「コロナ禍こそ運動を。コロナ禍だから安全・安心に」という理念の基、『**フィットネスニュースタンダード宣言**』をしています。感染対策&衛生管理を徹底し、施設の外でも運動をサポートしています。

代表企業では、自社施設の会員向けに、**オンラインプログラムを週約 90 本を配信**しており、これら業界のリーディングカンパニーとして積み上げた **with/after コロナのノウハウ**を本施設においても最大限に活用します。

FITNESS New Standard 宣言

宣言1	宣言2	宣言3
Withコロナだからこそ健康を見つめ直します	感染対策&衛生管理の徹底でコロナに打ち克ちます	スポーツクラブの外でも運動をサポートします
	 01 オゾン発生器の導入  02 スタッフの衛生管理  03 換気・清掃の徹底  04 煙の禁止  05 スタジオ・プールの対策  06 子どもスクールの対策	

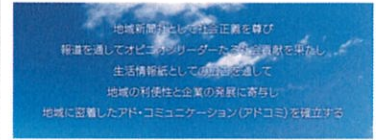
その他

関心表明書

本施設の管理運営に関わる地域団体から、私たちの取組む事業に対する関心表明書を頂きました。

この団体からの期待に応えるべく、全力で取組むことをお約束します。

株式会社タウンニュース社 (協力関係: 広告・イベント)



- タウンニュース
- ・「超地域密着」の価値ある地元の情報を無料で各家庭に配布。
 - ・神奈川県全域を含む約190万部発行
 - ・神奈川県内各地でイベント開催

社会貢献

【代表企業／水泳競技部所属選手の東京オリンピック出場】

代表企業では、水泳競技部、体操競技部を設置し、**世界に通用する選手を育成・輩出**することを目標に活動しています。

水泳競技部では代表企業所属の選手が、ポルトガル・セチュバルで行われた、「東京五輪世界最終予選 マラソンスイミング女子10km」に出場し、世界の強豪と熱戦を繰り広げた結果、日本人では最上位となり、見事に**東京 2020 オリンピック出場権を獲得**しました。



東京 2020 オリンピック内定

また、体操においても令和3年6月に開催された「第75回全日本体操種目別選手権」で、代表企業の体操競技部所属選手が平行棒、つり輪でそれぞれ日本一に輝きました。

今後もアスリートを支援することでスポーツ界の発展に貢献します。

【構成企業／社会貢献活動】

構成企業は、国内外で様々な社会貢献活動に取り組んでいます。

<p>1%クラブへの参加活動</p> <p>企業の業績に関わらず、継続的に活動するため構成企業Aが属するグループ企業各社が税引き前利益の1%を提出し、「環境保全」「国際的な文化・人材交流」「地域の文化・社会の振興」「支援事業及び寄付」を柱に事業を行っています。</p>	<p>防災訓練の実施</p> <p>避難訓練・避難誘導訓練や消火器等を使用した消火訓練、ハルーンシェルターの設置など、お客様の施設での総合防災訓練の計画・実施を支援。消防署をはじめ、警察署・行政とも密に連携し、市の防災拠点としての機能の確保、施設の安全性向上に取り組んでいます。</p>
<p>植樹活動</p> <p>構成企業Aが属するグループの植樹活動を10年以上続けております。代表的なものでは、2010年度は中国・北京、2011・2012年度はインドネシア・ジャカルタの植樹に参加しました。2012年度のジャカルタ植樹では、日本からの従業員ボランティアに加え、活動に賛同した取引先の参加も支援しました。</p>	<p>自動販売機を通じた安全・安心な街づくり</p> <p>自動販売機からの収益を活用し、小学校の通学路に防犯カメラを設置する「防犯カメラ及び自動販売機の設置に関する協定」を東京都東久留米市と締結しました。</p>
<p>クリーンデー</p> <p>毎月11日を「クリーンデー」と定め、就業時間前に従業員それぞれが働いている就業先の周辺道路のクリーン活動を行っています。</p>	<p>AED体験会を開催</p> <p>施設を利用される方々に「安全・安心・快適」な環境を提供する企業として、グループ会社の商業施設で訓練用の人形を使用した心臓蘇生法・AED操作等の「防災・応急手当講習」を実施。多くの方々に参加して頂いています。</p>
<p>ラオスに学校を建設</p> <p>自社グループで募金活動を行い、日本ユニセフ等の関係機関を経由してラオスに学校を1校建設・寄贈しました。</p>	<p>カゴ洗浄を授産施設に委託</p> <p>グループ会社の商業店舗で使用された買いかゴを全国6施設の授産施設内「洗浄センター」に配送し、洗浄装置でクリーニングと抗菌コーティングをしています。</p>
<p>お子さま向け職業体験</p> <p>日本や中国の構成企業Aが属するグループ会社の商業施設において、専門店と協働でお子さま向けの「お仕事体験イベント」を開催しています。同社が日常的に行っているさまざまな業務を体験してもらい、子どもたちに施設を運営するための各種業務の大切さや面白さについて感じて頂いています。</p>	<p>ランドセキヤディー</p> <p>ランドセキヤディー</p>

(様式 19)

共同事業体名 みなみスポーツ共創パートナーズ
施設名 横浜市南スポーツセンター 提 案 書

収支計画について

事業予算の計画

【収入計画:利用料金収入】

新型コロナの影響の無い**平成30年度実績**を基準に、提案による利用者増を見込んでいます。

	R4	R5	R6	R7	R8	(千円)
第一体育室(団体利用)	6,297	6,485	6,517	6,549	6,581	
第二体育室(団体利用)	1,861	1,954	1,963	1,972	1,981	
第三体育室(団体利用)	1,881	1,890	1,899	1,908	1,917	
研修室(団体利用)	1,144	1,201	1,261	1,286	1,311	
トレーニング室(個人利用)	15,125	15,578	15,889	16,206	16,530	
体育室(個人利用)	2,066	2,096	2,127	2,148	2,169	
駐車場	10,457	10,770	10,931	11,094	11,260	
スポーツ教室等収入	57,429	58,577	59,162	59,753	60,350	

【収入計画:自主事業収入】

充実した物販事業に加え、**利用時間の延長**による各種収入を計上しています。

	R4	R5	R6	R7	R8	(千円)
スポーツ教室等収入 (時間外)	1,037	2,220	2,264	2,309	2,355	
利用料金収入 (時間外)	4,483	9,034	9,214	9,398	9,585	
駐車場利用料金収入 (時間外)	650	1,396	1,409	1,423	1,437	
飲食事業	1,975	1,994	2,013	2,033	2,053	
物販事業	1,267	1,279	1,291	1,303	1,316	

【支出計画:指定管理事業】

現指定期間の実績に加え、類似施設の実績を踏まえた、適切な計画としています。

	R4	R5	R6	R7	R8	(千円)
人件費	43,687	43,687	43,687	43,687	43,687	
修繕費	6,600	6,600	6,600	6,600	6,600	
設備管理費	5,327	5,327	5,327	5,327	5,327	
保安警備費	594	594	594	594	594	
備品購入費	2,500	300	500	700	900	
消耗品費	3,483	3,483	3,483	3,483	3,483	
外構・植栽管理費	460	460	460	460	460	
廃棄物処理費	600	600	600	600	600	
広報費	1,627	800	800	800	800	
印刷製本費	500	0	0	0	0	
光熱水費	13,019	13,149	13,411	13,679	13,952	
燃料費	0	0	0	0	0	
保険料	2,397	2,454	2,484	2,512	2,541	
使用料・賃借料	10,735	10,735	10,735	10,735	10,735	
委託料	7,600	7,700	7,877	7,957	8,037	
謝金	24,826	25,074	25,575	26,086	26,607	
公租公課費	6,974	6,974	6,974	6,974	6,974	
旅費	26	26	26	26	26	
会議旅費	0	0	0	0	0	
通信運搬費	426	430	434	438	442	
支払手数料	882	908	935	963	991	
会費及び負担金	123	123	123	123	123	
事務経費本部分	6,887	6,838	6,901	6,960	7,019	
その他	1,634	500	500	500	500	

【支出計画:自主事業】

飲食、物販事業等に加え、**利用時間の延長**による各種支出を計上しています。

	R4	R5	R6	R7	R8	(千円)
スポーツ教室等事業(時間外)	2,442	4,409	4,453	4,497	4,541	
飲食事業	391	394	397	400	404	
物販事業	886	894	902	911	920	
利用料金(時間外)	1,628	3,256	3,275	3,294	3,313	
その他	440	440	440	440	440	

収支予算書

1 総括表

(1)収入 ※ 指定管理料を除いた金額。 (千円、税込み)

項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	合計	備考
①施設運営収入 (A)	98,418	100,773	102,037	103,215	104,409	508,852	
項目	利用料金収入	30,532	31,426	31,944	32,368	32,799	159,069
	利用料金収入(駐車場)	10,457	10,770	10,931	11,094	11,260	54,512
	スポーツ教室等事業収入	57,429	58,577	59,162	59,753	60,350	295,271
	広告業務収入	0	0	0	0	0	0
②自主事業による収入	9,412	15,923	16,191	16,466	16,746	74,738	
項目	スポーツ教室等事業(時間外)	1,037	2,220	2,264	2,309	2,355	10,185
	飲食事業	1,975	1,994	2,013	2,033	2,053	10,068
	物販事業	1,267	1,279	1,291	1,303	1,316	6,456
	利用料金収入(時間外)	4,483	9,034	9,214	9,398	9,585	41,714
	利用料金収入(駐車場)(時間外)	650	1,396	1,409	1,423	1,437	6,315
	その他	0	0	0	0	0	0
合計(①+②)	107,830	116,696	118,228	119,681	121,155	583,590	

(2)支出 (千円、税込み)

項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	合計	備考
③維持管理運営費用 (B)	140,907	136,762	138,026	139,204	140,398	695,297	
項目	人件費	43,687	43,687	43,687	43,687	43,687	218,435
	修繕費	6,600	6,600	6,600	6,600	6,600	33,000
	設備管理費・保安警備費	5,921	5,921	5,921	5,921	5,921	29,605
	備品購入費・消耗品費	5,983	3,783	3,983	4,183	4,383	22,315
	外構・植栽管理費・廃棄物処理費	1,060	1,060	1,060	1,060	1,060	5,300
	広報費・印刷製本費	2,127	800	800	800	800	5,327
	光熱水費・燃料費	13,019	13,149	13,411	13,679	13,952	67,210
	保険料	2,397	2,454	2,484	2,512	2,541	12,388
	使用料・賃借料	10,735	10,735	10,735	10,735	10,735	53,675
	委託料・謝金	32,426	32,774	33,452	34,043	34,644	167,339
	公租公課	6,974	6,974	6,974	6,974	6,974	34,870
	旅費	26	26	26	26	26	130
	会議賄い費	0	0	0	0	0	0
	通信運搬費	426	430	434	438	442	2,170
	支払手数料	882	908	935	963	991	4,679
	会費及び負担金	123	123	123	123	123	615
	事務経費本部分	6,887	6,838	6,901	6,960	7,019	34,605
その他	1,634	500	500	500	500	3,634	
④自主事業による経費	5,787	9,393	9,467	9,542	9,618	43,807	
項目	スポーツ教室等事業(時間外)	2,442	4,409	4,453	4,497	4,541	20,342
	飲食事業	391	394	397	400	404	1,986
	物販事業	886	894	902	911	920	4,513
	利用料金収入(時間外)	1,628	3,256	3,275	3,294	3,313	14,766
	その他	440	440	440	440	440	2,200
合計(③+④)	146,694	146,155	147,493	148,746	150,016	739,104	

(3) 指定管理料 (千円、税込み)

項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	合計	備考
指定管理料＝ (支出(B)－収入(A))	42,489	35,989	35,989	35,989	35,989	186,445	

※ 自主事業の内訳は、様式23、24の事業ごとに記載してください。 136

収支予算書

2 指定管理・収入の部(令和4年度) ※指定管理料を除く。

(1)収入

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
合計 (A)			98,418
利用料金収入			30,532
項 目	第1体育室(団体)	平成30年度の時間帯別利用団体数×居室の利用料金を参考に算出	6,297
	第2体育室(団体)	平成30年度の時間帯別利用団体数×居室の利用料金を参考に算出	1,861
	第3体育室(団体)	平成30年度の時間帯別利用団体数×居室の利用料金を参考に算出	1,881
	研修室(団体)	平成30年度の時間帯別利用団体数×居室の利用料金を参考に算出	1,144
	体育室(個人)	平成30年度の時間帯別利用団体数×居室の利用料金を参考に算出	2,066
	トレーニング室(個人)	平成30年度の時間帯別利用団体数×居室の利用料金を参考に算出	15,125
	附帯設備利用料金	現指定期間の実績に基づき算出	2,158
	利用料金収入(駐車場)	現指定期間の実績に基づき算出	10,457
スポーツ教室事業収入	現指定期間の実績に、講師の変更に伴う影響を見込む	57,429	
広告業務収入		0	
その他		0	

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

(2)指定管理料を含んだ収入合計

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
収入 (A)			98,418
指定管理料 (B)			42,489
収入合計 (A)+(B)			140,907

収支予算書

2 指定管理・収入の部(令和5年度) ※指定管理料を除く。

(1)収入

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
合計	(A)		100,773
利用料金収入			31,426
項 目	第1体育室(団体)	前年からの利用増を見込む	6,485
	第2体育室(団体)	前年からの利用増を見込む	1,954
	第3体育室(団体)	前年からの利用増を見込む	1,890
	研修室(団体)	前年からの利用増を見込む	1,201
	体育室(個人)	広報強化により、前年からの利用増を見込む	2,096
	トレーニング室(個人)	マシン更新等により、前年からの利用増を見込む	15,578
	附帯設備利用料金	前年からの利用増を見込む	2,222
	利用料金収入(駐車場)		前年からの利用増を見込む
スポーツ教室事業収入		広報強化・新規教室により、前年からの利用増を見込む	58,577
広告業務収入			0
その他			0

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

(2)指定管理料を含んだ収入合計

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
収入	(A)		100,773
指定管理料	(B)		35,989
収入合計	(A) + (B)		136,762

収支予算書

2 指定管理・収入の部(令和6年度) ※指定管理料を除く。

(1)収入

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
合計	(A)		102,037
利用料金収入			31,944
項 目	第1体育室(団体)	前年からの利用増を見込む	6,517
	第2体育室(団体)	前年からの利用増を見込む	1,963
	第3体育室(団体)	前年からの利用増を見込む	1,899
	研修室(団体)	前年からの利用増を見込む	1,261
	体育室(個人)	広報強化により、前年からの利用増を見込む	2,127
	トレーニング室(個人)	マシン更新等により、前年からの利用増を見込む	15,889
	附帯設備利用料金	前年からの利用増を見込む	2,288
	利用料金収入(駐車場)	前年からの利用増を見込む	10,931
スポーツ教室事業収入	広報強化・新規教室により、前年からの利用増を見込む	59,162	
広告業務収入		0	
その他		0	

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

(2)指定管理料を含んだ収入合計

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
収入	(A)		102,037
指定管理料	(B)		35,989
収入合計	(A) + (B)		138,026

収支予算書

2 指定管理・収入の部(令和7年度) ※指定管理料を除く。

(1)収入

	内 訳	合計金額 (千円、税込み)	
合計 (A)		103,215	
利用料金収入		32,368	
項 目	第1体育室(団体)	前年からの利用増を見込む	6,549
	第2体育室(団体)	前年からの利用増を見込む	1,972
	第3体育室(団体)	前年からの利用増を見込む	1,908
	研修室(団体)	前年からの利用増を見込む	1,286
	体育室(個人)	広報強化により、前年からの利用増を見込む	2,148
	トレーニング室(個人)	マシン更新等により、前年からの利用増を見込む	16,206
	附帯設備利用料金	広報強化により、前年からの利用増を見込む	2,299
	利用料金収入(駐車場)	広報強化・新規教室により、前年からの利用増を見込む	11,094
スポーツ教室事業収入	前年からの利用増を見込む	59,753	
広告業務収入		0	
その他		0	

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

(2)指定管理料を含んだ収入合計

	内 訳	合計金額 (千円、税込み)
収入 (A)		103,215
指定管理料 (B)		35,989
収入合計 (A)+(B)		139,204

収支予算書

2 指定管理・収入の部(令和8年度) ※指定管理料を除く。

(1)収入

	内 訳	合計金額 (千円、税込み)	
合計 (A)		104,409	
利用料金収入		32,799	
項 目	第1体育室(団体)	前年からの利用増を見込む	6,581
	第2体育室(団体)	前年からの利用増を見込む	1,981
	第3体育室(団体)	前年からの利用増を見込む	1,917
	研修室(団体)	前年からの利用増を見込む	1,311
	体育室(個人)	広報強化により、前年からの利用増を見込む	2,169
	トレーニング室(個人)	マシン更新等により、前年からの利用増を見込む	16,530
	附帯設備利用料金	広報強化により、前年からの利用増を見込む	2,310
	利用料金収入(駐車場)	広報強化・新規教室により、前年からの利用増を見込む	11,260
スポーツ教室事業収入	前年からの利用増を見込む	60,350	
広告業務収入		0	
その他		0	

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

(2)指定管理料を含んだ収入合計

	内 訳	合計金額 (千円、税込み)
収入 (A)		104,409
指定管理料 (B)		35,989
収入合計 (A)+(B)		140,398

収支予算書

3 指定管理・支出の部(令和4年度)

	積算内訳	合計金額 (千円、税込み)
③ 維持管理運営費用		140,907
人件費	・常勤職員報酬 職員A 年俸 〇〇〇〇円 職員B 年俸 〇〇〇〇円 ・非常勤職員給与 SC受付 35人×平均 〇〇〇〇円 SCTレーニング室 15人×平均 〇〇〇〇円 その他、通勤交通費等諸手当・設備管理職員巡回費等	43,687
修繕費		6,600
設備管理費	設備管理等	5,327
保安警備費	機械警備等	594
備品購入費	PC・複合機等の事務用備品・体育備品	2,500
消耗品費	新型コロナウイルス対策含む	3,483
外構・植栽管理費		460
廃棄物処理費		600
広報費	HP作成費・広報・SNS費用	1,627
印刷製本費	パンフレット作成費用	500
光熱水費	直近3年間の本施設実績を参考 電気代・・・8,264 ガス代・・・1,438 水道代・・・3,317	13,019
燃料費		0
保険料	施設賠償責任保険及び傷害保険	2,397
使用料・賃借料	教室実施に係る施設利用料・・・2,896 各種利用手数料・・・254 各種リース・・・7,585	10,735
委託料	駐車場管理(機器設置含む)・・・3,640 清掃業務・・・3,960	7,600
謝金	教室講師謝金	24,826
公租公課費	事業所税・・・2,606 仮受消費税と仮払消費税の差額・・・4,368	6,974
旅費		26
会議賄い費		0
通信運搬費		426
支払手数料	キャッシュレス決済手数料	882
会費及び負担金	諸会費	123
事務経費本部分	本施設の運営に係る本社経費	6,887
その他	サイン改修費用 NHK・JASRAC等	1,634

※1 次の例を参考に記載してください。

人件費・・・報酬、賃金、手当、社会保険料、福利厚生費など

※2 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書

3 指定管理・支出の部(令和5年度)

	積算内訳	合計金額 (千円、税込み)	
③ 維持管理運営費用		136,762	
項目	人件費	43,687	
	・常勤職員報酬 職員A 年俸 〇〇〇〇円 職員B 年俸 〇〇〇〇円 ・非常勤職員給与 SC受付 35人×平均 〇〇〇〇円 SCTレーニング室 15人×平均 〇〇〇〇円 その他、通勤交通費等諸手当・設備管理職員巡回費等		
	修繕費	6,600	
	設備管理費	設備管理等	5,327
	保安警備費	機械警備等	594
	備品購入費	経年劣化に係る更新を想定	300
	消耗品費		3,483
	外構・植栽管理費		460
	廃棄物処理費		600
	広報費	広報・SNS費用	800
	印刷製本費		0
	光熱水費	前年から単価増を見込む	13,149
	燃料費		0
	保険料	施設賠償責任保険及び傷害保険	2,454
	使用料・賃借料	教室実施に係る施設利用料・・・2,896 各種利用手数料・・・254 各種リース・・・7,585	10,735
	委託料	前年から清掃業務の単価増を見込む	7,700
	謝金	前年から単価増を見込む	25,074
	公租公課費	事業所税・・・2,606 仮受消費税と仮払消費税の差額・・・4,368	6,974
	旅費		26
	会議賄い費		0
	通信運搬費	前年から利用増を見込む	430
	支払手数料	前年から利用増を見込む	908
	会費及び負担金	諸会費	123
事務経費本部分	本施設の運営に係る本社経費	6,838	
その他	サイン改修費用 NHK・JASRAC等	500	

※1 次の例を参考に記載してください。

人件費・・・報酬、賃金、手当、社会保険料、福利厚生費など

※2 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書

3 指定管理・支出の部(令和6年度)

	積算内訳	合計金額 (千円、税込み)
③ 維持管理運営費用		138,026
人件費	・常勤職員報酬 職員A 年俸 〇〇〇〇円 職員B 年俸 〇〇〇〇円 ・非常勤職員給与 SC受付 35人×平均 〇〇〇〇円 SCTトレーニング室 15人×平均 〇〇〇〇円 その他、通勤交通費等諸手当・設備管理職員巡回費等	43,687
修繕費		6,600
設備管理費	設備管理等	5,327
保安警備費	機械警備等	594
備品購入費	経年劣化に係る更新を想定	500
消耗品費		3,483
外構・植栽管理費		460
廃棄物処理費		600
広報費	広報・SNS費用	800
印刷製本費		0
光熱水費	前年から単価増を見込む	13,411
燃料費		0
保険料	施設賠償責任保険及び傷害保険	2,484
使用料・賃借料	教室実施に係る施設利用料・・・2,896 各種利用手数料・・・254 各種リース・・・7,585	10,735
委託料	前年から清掃業務の単価増を見込む	7,877
謝金	前年から単価増を見込む	25,575
公租公課費	事業所税・・・2,606 仮受消費税と仮払消費税の差額・・・4,368	6,974
旅費		26
会議賄い費		0
通信運搬費	前年から利用増を見込む	434
支払手数料	前年から利用増を見込む	935
会費及び負担金	諸会費	123
事務経費本部分	本施設の運営に係る本社経費	6,901
その他	サイン改修費用 NHK・JASRAC等	500

※1 次の例を参考に記載してください。

人件費・・・報酬、賃金、手当、社会保険料、福利厚生費など

※2 必要に応じて小区分を設定しても構いません。 144

収支予算書

3 指定管理・支出の部(令和7年度)

	積算内訳	合計金額 (千円、税込み)	
③ 維持管理運営費用		139,204	
項 目	人件費	43,687	
	・常勤職員報酬 職員A 年俸 [] 円 職員B 年俸 [] 円 ・非常勤職員給与 SC受付 35人×平均 [] 円 SCトレーニング室 15人×平均 [] 円 その他、通勤交通費等諸手当・設備管理職員巡回費等		
	修繕費	6,600	
	設備管理費	設備管理等	5,327
	保安警備費	機械警備等	594
	備品購入費	経年劣化に係る更新を想定	700
	消耗品費		3,483
	外構・植栽管理費		460
	廃棄物処理費		600
	広報費	広報・SNS費用	800
	印刷製本費		0
	光熱水費	前年から単価増を見込む	13,679
	燃料費		0
	保険料	施設賠償責任保険及び傷害保険	2,512
	使用料・賃借料	教室実施に係る施設利用料・・・2,896 各種利用手数料・・・254 各種リース・・・7,585	10,735
	委託料	前年から清掃業務の単価増を見込む	7,957
	謝金	前年から単価増を見込む	26,086
	公租公課費	事業所税・・・2,606 仮受消費税と仮払消費税の差額・・・4,368	6,974
	旅費		26
	会議賄い費		0
	通信運搬費	前年から利用増を見込む	438
	支払手数料	前年から利用増を見込む	963
	会費及び負担金	諸会費	123
事務経費本部分	本施設の運営に係る本社経費	6,960	
その他	サイン改修費用 NHK・JASRAC等	500	

※1 次の例を参考に記載してください。

人件費・・・報酬、賃金、手当、社会保険料、福利厚生費など

※2 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書

3 指定管理・支出の部(令和8年度)

	積算内訳	合計金額 (千円、税込み)
③ 維持管理運営費用		140,398
人件費	・常勤職員報酬 職員A 年俸 [] 円 職員B 年俸 [] 円 ・非常勤職員給与 SC受付 35人×平均 [] 円 SCTトレーニング室 15人×平均 [] 円 その他、通勤交通費等諸手当・設備管理職員巡回費等	43,687
修繕費		6,600
設備管理費	設備管理等	5,327
保安警備費	機械警備等	594
備品購入費	経年劣化に係る更新を想定	900
消耗品費		3,483
外構・植栽管理費		460
廃棄物処理費		600
広報費	広報・SNS費用	800
印刷製本費		0
光熱水費	前年から単価増を見込む	13,952
燃料費		0
保険料	施設賠償責任保険及び傷害保険	2,541
使用料・賃借料	教室実施に係る施設利用料・・・2,896 各種利用手数料・・・254 各種リース・・・7,585	10,735
委託料	前年から清掃業務の単価増を見込む	8,037
謝金	前年から単価増を見込む	26,607
公租公課費	事業所税・・・2,606 仮受消費税と仮払消費税の差額・・・4,368	6,974
旅費		26
会議賄い費		0
通信運搬費	前年から利用増を見込む	442
支払手数料	前年から利用増を見込む	991
会費及び負担金	諸会費	123
事務経費本部分	本施設の運営に係る本社経費	7,019
その他	サイン改修費用 NHK・JASRAC等	500

※1 次の例を参考に記載してください。

人件費・・・報酬、賃金、手当、社会保険料、福利厚生費など

※2 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書

4 自主事業・収入の部(令和4年度)

	内 訳	合計金額 (千円、税込み)	
② 自主事業収入		9,412	
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)	時間延長に係る教室収入 ※6か月	1,037
	飲食事業	自動販売機	1,975
	物販事業	商品販売・レンタル等	1,267
	利用料金収入(時間外)	※6か月 時間延長に係る個人利用料金(トレーニング室)・・・1,226 時間延長に係る個人利用料金(体育室)・・・1,505 時間延長に係る団体利用・・・355 時間延長に係る教室の施設利用料・・・1397	4,483
	利用料金収入(駐車場)(時間外)	時間延長に係る駐車場利用料金 ※6か月	650
	その他		0

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

4 自主事業・収入の部(令和5年度)

	内 訳	合計金額 (千円、税込み)	
② 自主事業収入		15,923	
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)	時間延長に係る教室収入	2,220
	飲食事業	前年からの利用増を見込む	1,994
	物販事業	前年からの利用増を見込む	1,279
	利用料金収入(時間外)	時間延長に係る個人利用料金(トレーニング室)・・・2,465 時間延長に係る個人利用料金(体育室)・・・3,029 時間延長に係る団体利用・・・730 時間延長に係る教室の施設利用料・・・2,810	9,034
	利用料金収入(駐車場)(時間外)	時間延長に係る駐車場利用料金	1,396
	その他		0

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

4 自主事業・収入の部(令和6年度)

	内 訳	合計金額 (千円、税込み)	
② 自主事業収入		16,191	
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)	前年からの利用増を見込む	2,264
	飲食事業	前年からの利用増を見込む	2,013
	物販事業	前年からの利用増を見込む	1,291
	利用料金収入(時間外)	前年からの利用増を見込む	9,214
	利用料金収入(駐車場)(時間外)	前年からの利用増を見込む	1,409
	その他		0

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書

4 自主事業・収入の部(令和7年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
② 自主事業収入			16,466
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)	前年からの利用増を見込む	2,309
	飲食事業	前年からの利用増を見込む	2,033
	物販事業	前年からの利用増を見込む	1,303
	利用料金収入(時間外)	前年からの利用増を見込む	9,398
	利用料金収入(駐車場)(時間外)	前年からの利用増を見込む	1,423
	その他		0

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

4 自主事業・収入の部(令和8年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
② 自主事業収入			16,746
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)	前年からの利用増を見込む	2,355
	飲食事業	前年からの利用増を見込む	2,053
	物販事業	前年からの利用増を見込む	1,316
	利用料金収入(時間外)	前年からの利用増を見込む	9,585
	利用料金収入(駐車場)(時間外)	前年からの利用増を見込む	1,437
	その他		0

※ 必要に応じて小区分を設定しても構いません。

収支予算書

5 自主事業・支出の部(令和4年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
④ 自主事業による経費			5,787
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)	時間延長に係る教室の施設利用料・講師謝金 ※6か月	2,442
	飲食事業	自動販売機行政財産使用料等	391
	物販事業	商品販売原価等	886
	利用料金収入(時間外)	時間延長に係る人件費・水光熱費 ※6か月	1,628
	その他		440

5 自主事業・支出の部(令和5年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
④ 自主事業による経費			9,393
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)	時間延長に係る教室の施設利用料・講師謝金	4,409
	飲食事業	自動販売機行政財産使用料等	394
	物販事業	商品販売原価等	894
	利用料金収入(時間外)	時間延長に係る人件費・水光熱費のうち、水光熱費の単価増を見込む	3,256
	その他		440

5 自主事業・支出の部(令和6年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
④ 自主事業による経費			9,467
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)	時間延長に係る教室の施設利用料・講師謝金	4,453
	飲食事業	自動販売機行政財産使用料等	397
	物販事業	商品販売原価等	902
	利用料金収入(時間外)	時間延長に係る人件費・水光熱費のうち、水光熱費の単価増を見込む	3,275
	その他		440

収支予算書

5 自主事業・支出の部(令和7年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
④ 自主事業による経費			9,542
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)	時間延長に係る教室の施設利用料・講師謝金	4,497
	飲食事業	自動販売機行政財産使用料等	400
	物販事業	商品販売原価等	911
	利用料金収入(時間外)	時間延長に係る人件費・水光熱費のうち、水光熱費の単価増を見込む	3,294
	その他		440

5 自主事業・支出の部(令和8年度)

		内 訳	合計金額 (千円、税込み)
④ 自主事業による経費			9,618
項 目	スポーツ教室等事業(時間外)	時間延長に係る教室の施設利用料・講師謝金	4,541
	飲食事業	自動販売機行政財産使用料等	404
	物販事業	商品販売原価等	920
	利用料金収入(時間外)	時間延長に係る人件費・水光熱費のうち、水光熱費の単価増を見込む	3,313
	その他		440